

# 金沢大学関連年表

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1792/3/2	寛政 4年 加賀藩、藩学を設立。文学校を明倫堂と呼び、武学校を経武館と称する。 <sup>1・2・3</sup>	
1799/5/26	寛政11年	*金沢に強い地震、城の石垣くずれる。 <sup>3</sup>
1799/8/**	寛政11年 明倫堂に医学を開講する。 <sup>1</sup>	
1808/1/15	文化 5年	*金沢城二の丸御殿焼失。 <sup>3</sup>
1854/8/11	安政元年 加賀藩、洋式武学校として壮猶館を設置。 <sup>2・4・5</sup>	
1862/3/**	文久 2年 加賀藩、金沢彦三八番丁に種痘所(反求舎)をつくる。 <sup>6・7</sup>	
1862/3/**	文久 2年 壮猶館に付属の七尾軍艦所建設。 <sup>4</sup>	
1864/**/**	元治元年 種痘所、南町心学所に移転し金沢藩種痘所となる。 <sup>6・7</sup>	
1865/**/**	慶応元年 壮猶館に種痘所を設置。 <sup>8</sup>	
1867/10/**	慶応 3年 加賀藩、卯辰山養生所(病院部門)を建設。これに医学館、薬園を付属する。 <sup>6・7</sup>	
1868/4/**	明治元年 英仏学塾所を設立して道斉館と称する。 <sup>9・10</sup>	
1868/8/**	明治元年 学制改革により明倫堂に寄宿舎竣成。 <sup>9・(10)</sup>	
1868/9/13	明治元年 英式兵制度が採用され壮猶館と経武館が合併。経武館の旧式武術は全て廃止。 <sup>10・(9)</sup>	
1868/12/**	明治元年 明倫堂の句読師を廃止し、新たに済々館・雍々館(ともに明治2年12月まで存続)を設けて素読生をこれに移す。 <sup>11</sup>	
1868/12/**	明治元年 明倫堂に一般平民の入校を許可する。 <sup>11</sup>	
1869/1/**	明治 2年 壮猶館内に英学所を設置、致遠館と称する。 <sup>10・11</sup>	
1869/6/15	明治 2年	昌平学校を大学校(国漢学部)とし、開成(洋学部)・医学両校を大学校分局とし、これらを総合して大学校を設立。 <sup>654・655</sup>
1869/7/8	明治 2年	大学校の官制を定める(大学校は学校であると同時に政府の教育行政官庁となり、府藩県の学校をも統括)。 <sup>657・658</sup> 版籍奉還。 <sup>656</sup>
1869/7/25	明治 2年	
1869/**/**	明治 2年 藩、鉤深館を設け、航海測量の術を教授する。 <sup>12</sup>	
1869/**/**	明治 2年 道済館の英学部を独立、旧金沢城内に挹注館が設置。 <sup>13</sup>	
1869/12/17	明治 2年	大学校を大学、開成学校を大学南校、医学校を大学東校と改称。 <sup>654・659</sup>
1870/2/**	明治 3年 金沢大手町旧津田玄蕃邸(加賀藩家老)に金沢医学館と病院が開設。卯辰山養生所は貧病院となり貧困患者の治療を行う( <sup>897</sup> には明治3年12月に病院付設とある)。 <sup>13・14・16・897・(15)</sup>	
1870/3/**	明治 3年 金沢藩学政所、医学館に百姓町人の入学許可を布告。 <sup>13</sup>	
1870/7/12	明治 3年	大学本校(旧昌平学校)閉鎖、大学南校及び東校は存続。 <sup>660</sup>
1870/10/**	明治 3年 藩学明倫堂(寄宿舎を含めて)中学西校と改称、致遠館・挹注館が合併されて中学東校となる。 <sup>10</sup>	
1870/11/**	明治 3年	*卯辰山、小橋、梅本町、高岡町、河原町、小立野に小学所が設立。 <sup>13・15</sup>
1870/12/12	明治 3年 中学西校が仙石町の旧明倫堂と経武館を校舎として開校。 <sup>13・15</sup>	
1870/12/17	明治 3年 中学東校が出羽町の成巽閣を校舎として開校(洋学を教授)。 <sup>13・15</sup>	
1870/**/**	明治 3年 兼六園内に皷山学所が設置。 <sup>10</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1871/3/19 1871/6/**	明治 4年 明治 4年 医学館の開館式を挙る。 <sup>15・17</sup>	*金沢藩は英国人を雇用(中学東校の正則生徒に数学・英語を教授)。 <sup>15</sup> *廃藩置県。金沢県・大聖寺県設置。 <sup>5</sup>
1871/7/14 1871/7/27	明治 4年 明治 4年 舎密方を兼六園内の時雨亭跡に設け製薬を行う。同時に金沢理化学校が開設され、医学館生徒に理化学を教授( <sup>17</sup> では1871/7/25に理化学校設置)。 <sup>14・15・17・18・19</sup>	
1871/7/** 1871/7/** 1871/7/18	明治 4年 明治 4年 明治 4年 壮猶館が廃止。 <sup>14・15・17・18</sup> 金沢藩医学館を金沢県医学館と改称。 <sup>7・18</sup>	教育行政を担当する機関として大学を廃止し、文部省を設置。 <sup>661・662</sup> *金沢町平民結社の小学所11ヶ所が金沢県学校の所管になる。 <sup>15</sup>
1871/10/**	明治 4年	
1871/11/15	明治 4年 中学東校と中学西校が合併して金沢中学が発足。西校を校舎として使用。 <sup>15・17・(10)</sup>	
1871/11/20	明治 4年	*七尾県・新川県を新設、大聖寺県は廃止となる(白山麓を除く加賀一円が金沢県となる)。 <sup>20・(5)</sup>
1871/12/**	明治 4年 県は医学館を文部省直轄にするよう出願。 <sup>15・20</sup>	
1871/12/** 1871/**/** 1871/11/25 1872/2/2	明治 4年 明治 4年 明治 4年 明治 5年 鉱山学所が廃止。 <sup>21</sup>	*金沢最初の新聞「開化新聞」創刊。 <sup>20</sup> 府県学校を全て文部省の管轄とする。 <sup>663</sup> *金沢県を石川県に改称し、県庁、美川に移転。 <sup>20・59</sup>
1872/4/12	明治 5年 新学制に合致しないことを理由に、金沢中学校、医学館、同金沢理化学校が閉校。 <sup>21・22</sup>	
1872/4/**	明治 5年 閉鎖学校の職員らが結束して英学義塾を中学東校跡に設立し、また有志によって医学館の経営が引き継がれる。 <sup>15・18・22・(21)</sup>	
1872/8/**	明治 5年	*石川県区学校規則が制定。金沢では従来の11小学校を廃止して、7区学校を設立(この区学校は石川県最初の学校)。 <sup>15・(14)</sup>
1872/8/3 1872/9/25	明治 5年 明治 5年	学制頒布。 <sup>664・665</sup> *七尾県、石川県に合併、能登全域、石川県の管轄となる( <sup>22</sup> では、1872/9/27となる)。 <sup>22・59</sup>
1872/12/9	明治 5年	太陰暦を廃して、太陽暦を採用(明治5年12月3日を明治6年1月1日とする)。 <sup>656</sup> *県庁、金沢に復帰する。 <sup>59</sup>
1873/1/14 1873/1/**	明治 6年 明治 6年 石川県、変則学校を金沢仙石町旧中学西校跡に設置。 <sup>15・(23)</sup>	
1873/1/**	明治 6年	*石川県の学区が定められ、管内を第1~5中学区とし、さらに945小学区に分ける。 <sup>15</sup>
1873/2/25	明治 6年	*石川県は金沢松原町に石川県女小学校(県下唯一の女学校)を設立。 <sup>15</sup>
1873/2/**	明治 6年	*金沢市中7ヶ所の区学校が小学校とされ、開校式を行う。 <sup>15</sup>
1873/2/**	明治 6年 英仏学校が開校。英学義塾が県に移管されて英仏学校となる(英学義塾が閉鎖)。 <sup>15・23・24</sup>	
1873/4/17	明治 6年	学制の追加頒布(大学卒業者には学士の称号授与)。 <sup>666</sup>
1873/4/28	明治 6年	学制2編が追加頒布(専門学校及び外国語学校に関する規程が設けられる)。 <sup>666</sup>
1873/5/**	明治 6年 変則専門学校を石引町巽邸(現兼六園成巽	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1873/7/**	明治 6年 閣)の英仏学校内に設立。 <sup>25・26</sup> 金沢病院、種痘所、貧病院(貧病院は1873/9/27に開院)を再開。 <sup>27・28</sup>	教員の等次、学位の称号を改定(大学教員は教授、学位称号は博士、学士、得業士)。 <sup>667</sup>
1873/8/12	明治 6年	
1873/8/**	明治 6年 金沢仙石町の変則学校が変則中学校となる。 <sup>29</sup>	
1873/9/27	明治 6年 金沢病院開院式を挙行。 <sup>18</sup>	
1874/1/14	明治 7年	
1874/5/**	明治 7年 英仏学校、仏学を廃止し英学校となる。 <sup>21・30</sup>	
1874/6/1	明治 7年	
1874/8/15	明治 7年 小学校教員を養成するために、兼六園成巽閣石川県英学校内に集成学校が創設。 <sup>14・30・31・(15)</sup>	
1874/8/29	明治 7年 金沢仙石町の変則中学校が変則専門学校となる。 <sup>15・24・30</sup>	
1874/8/29	明治 7年 金沢下長町及び仙石町に変則中学校を設置。 <sup>30・(15)</sup>	
1874/10/2	明治 7年 集成学校附属小学校が開校し、仙石町小学校を合併(32によれば合併は10/20)。 <sup>15・30・32</sup>	*兼六園を公園とする。 <sup>59</sup>
1874/11/**	明治 7年 仙石町変則中学校は金沢石引町巽邸英学校の地に移転(巽中学と呼ばれる)。 <sup>33</sup>	*博覧会社、金沢で博覧会を開催。 <sup>59</sup>
1874/11/22	明治 7年 集成学校が石川県師範学校と改称。 <sup>15・34</sup>	
1875/1/**	明治 8年 石川県師範学校の一画に女子の速成師範生徒を入れ、女子教員の養成に着手。 <sup>15</sup>	
1875/3/28	明治 8年	
1875/3/**	明治 8年 師範学校、全科卒業生を出す。 <sup>15・34</sup>	
1875/5/12	明治 8年 石川県は女子師範学校を西町の公立松原町女兒小学校内に設置し、石川県女子師範学校と称する。 <sup>15・34・35</sup>	
1875/7/17	明治 8年 大聖寺(1875/7/31開校)及び輪島1875/8/29開校)に石川県師範学校の支校が設置。 <sup>35・(15)</sup>	
1875/7/**	明治 8年 石川県師範学校に附属小学校が設置。 <sup>15・35</sup>	
1875/8/8	明治 8年 変則中学校、変則専門学校が合併し石川県中学校となり、大聖寺に支校が設置。 <sup>15・35</sup>	
1875/8/**	明治 8年 医学館は県立となり石川県金沢病院と改称。 <sup>6・18</sup>	
1875/9/7	明治 8年 石川県女子師範学校を再び仙石町の石川県師範学校に併合。 <sup>15・35</sup>	
1876/2/7	明治 9年 中学校及び英学校を廃止し、金沢仙石町に公立中学師範学校を設置し、啓明学校とする。 <sup>15・36</sup>	*新川県が廃止され、石川県に編入となる(加能越中3国を石川県とする)。 <sup>36</sup>
1876/4/18	明治 9年	*金沢博物館の開館。 <sup>59</sup>
1876/4/21	明治 9年 石川県師範学校内に予科を設置。 <sup>36</sup>	
1876/4/**	明治 9年	*敦賀県が廃止され、越前7郡、石川県に編入となる。 <sup>37</sup>
1876/8/**	明治 9年 大手町医学館は医療と教育部門を分離して教育部門は金沢医学所となり、医療部門は金沢病院となる。 <sup>6・14・18・(38)</sup>	
1876/8/**	明治 9年 富山・福井各医学所が設立。 <sup>15・37</sup>	
1876/8/**	明治 9年	
1876/8/21	明治 9年	
1876/8/25	明治 9年 富山師範学校を石川県師範学校富山支校と改称。 <sup>37</sup>	
1876/11/14	明治 9年 石川県女子師範学校富山支校設置。 <sup>15・39</sup>	
1876/12/8	明治 9年 師範学校富山支校内を分画、啓明学校富山支校を設置。 <sup>15・39</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1877/1/**	明治10年 啓明学校の学科が改正され、石川県中学師範学科啓明学校となる。 <sup>15・39</sup>	
1877/1/**	明治10年 石川県勸業場内に石川県農業講習所を設置。 <sup>15・39</sup>	
1877/2/3	明治10年 輪島・大聖寺の両師範学校が廃止され、男女師範学校が各地に設置。 <sup>15・39</sup>	
1877/2/22	明治10年 石川県師範学校の校舎が広坂に竣工。 <sup>15・40</sup>	*西南戦争に第七連隊出兵する。 <sup>59</sup>
1877/2/**	明治10年	東京開成学校・東京医学校を合併し「東京大学」を創設。 <sup>668</sup>
1877/4/12	明治10年	
1877/5/20	明治10年 石川県師範学校は石川県第一師範学校と改称。第一師範学校(金沢)開校式を挙行。大野・武生の両校及び富山・大聖寺・輪島の支校は廃止。 <sup>41・(15)</sup>	
1877/7/2	明治10年	*金沢で第十二国立銀行設立。 <sup>59</sup>
1877/7/20	明治10年 石川県中学師範学科啓明学校が石川県中学師範学校に改称。富山支校廃止(14では1877/8/20となる)。 <sup>15・40・(14)・(21)</sup>	
1878/5/23	明治11年	小学教則・中学教則等を廃止。 <sup>669</sup>
1878/10/4	明治11年 明治天皇、中学師範学校及び金沢医学所に行幸(43では1878/10/3、38では1878/9/**となる)。 <sup>15・38・42・43・(14)</sup>	
1878/12/**	明治11年	全国著名都市の人口で、10万人以上の都市は以下の5市。東京67万、大阪29万、京都23万、名古屋11万、金沢10.7万で全国第5位。 <sup>43</sup> *啓明学校の優等卒業者を東京へ留学させる。 <sup>15・42</sup>
1878/**/**	明治11年	東京学士会院創設(日本学士院の前身)。 <sup>670</sup>
1879/1/15	明治12年	*第1回石川県会開催。 <sup>59</sup>
1879/5/26	明治12年	
1879/6/**	明治12年 医学所の隣接地殿町の松平大貳邸跡に金沢病院を新築して旧建物を全部医学所にあてた。 <sup>6・14・38・43・(15)</sup>	
1879/7/5	明治12年	*コレラ流行のため、公私立中小学校休校となる(県内のコレラ死亡者約2万人)。 <sup>44</sup>
1879/7/9	明治12年 第一女子師範学校編纂の『女のしつけ』刊行。 <sup>44</sup>	
1879/9/17	明治12年	*石川県農業講習所、開所式を挙行。 <sup>44</sup>
1879/9/29	明治12年	学制を廃止、教育令制定。 <sup>671・672</sup>
1879/10/**	明治12年	師範学校卒業者及び教員試験合格者のみが公立小学校教員とされる。 <sup>15・45</sup>
1879/11/1	明治12年 金沢医学所を金沢医学校と改称。富山・福井の医学所を廃止し金沢に合併(45では、改称及び合併は1879/11/13となる)。 <sup>6・43・45・(14)・(15)・(38)</sup>	
1879/12/28	明治12年	公・私立学校の教則について文部卿の認可を受ける条件を定める。 <sup>673</sup>
1880/7/28	明治13年 石川県第一師範学校が金沢小学師範学校に改称。女子校は石川県金沢女子小学師範学校となる。 <sup>46・(15)</sup>	
1880/7/31	明治13年	*福井医学所を設立。 <sup>674</sup>
1880/7/**	明治13年	*石川県立七尾病院開設。 <sup>6・43</sup>
1880/8/**	明治13年	*輪島小学師範学校設立。 <sup>15・674</sup>
1880/8/4	明治13年	*富山医学所設立、また七尾病院内に七尾医学所を置く。 <sup>15・674・(6)・(43)</sup>
1880/12/28	明治13年	教育令改正。学校の種類として小学校・中学校・大学校・師範学校・専門学校のほか、新しく農学校・商業学校・職工

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1880/12/**	明治13年	学校を加える。 <sup>675・676</sup> 中学教則大綱制定(中学校は初等4年と高等2年の2科に分かれる)。 <sup>671</sup>
1881/1/10	明治14年	*夜明けに金沢城内分営から出火、石川門を除く全部を焼失。 <sup>14・(59)</sup>
1881/2/7	明治14年	*石川県から福井県が独立する(越前七郡分離)。 <sup>674</sup>
1881/3/**	明治14年	*金沢区中学校創設。 <sup>15・674</sup>
1881/7/1	明治14年	中学師範学校を石川県専門学校と改称。 <sup>14・15・47・(21)</sup>
1881/7/29	明治14年	中学校教則大綱を制定(中学校は小学校中等科卒業を入学資格とし、初等中等科と高等中等科の二段階編成とする)。 <sup>677・678</sup>
1881/8/19	明治14年	師範学校教則大綱を制定(初等師範学科、中等師範学科、高等師範学科を設置し、小学校の教員を養成)。 <sup>677・678</sup>
1881/10/**	明治14年	石川県金沢小学師範学校を石川県金沢師範学校と改称。また石川県金沢女子小学師範学校を石川県女子金沢師範学校と改称。 <sup>48・(15)・(47)</sup>
1881/11/**	明治14年	富山・七尾の両医学所を金沢医学校に合併。 <sup>6・15・47・49・50</sup>
1882/1/**	明治15年	金沢病院が金沢医学校の臨床実習場となる。 <sup>15・51</sup>
1882/5/27	明治15年	文部省医学校通則を規定し、医学校を甲乙とし、甲は東大出身医学士3名以上を有することを規定(甲種医学校は卒業と同時に医師免許を取得、乙種学校は速成用、ただし医術開業試験を要す)、全国の医学校は甲種認可をめざす。 <sup>49・(677)・(679)</sup>
1883/5/9	明治16年	*現富山県が分離(越中分離)、現石川県の県域が確定。 <sup>52・59</sup>
1883/7/6	明治16年	府県立師範学校通則を制定。 <sup>678・680</sup>
1883/11/13	明治16年	輪島師範学校及び金沢女子師範学校を金沢師範学校に合併し、石川県師範学校と改称。 <sup>51・52・(15)</sup>
1884/1/26	明治17年	中学校通則を制定(中学校の目的・設置・管理について定める)。 <sup>678・681</sup>
1884/1/**	明治17年	初めて、石川県教育会を開催。 <sup>52</sup>
1884/3/12	明治17年	金沢医学校が石川県甲種医学校に昇格。 <sup>6・14・15・49・50・53</sup>
1884/10/**	明治17年	石川県専門学校に附属初等中学校を設置。 <sup>15・54</sup>
1885/1/**	明治18年	金沢病院は内科・外科・眼科・婦人科の各専門医師を置き、分科診療制を初めて採用。 <sup>6・14・15・49・50・55</sup>
1885/1/**	明治18年	石川県甲種医学校に乙種薬学校を付設し、薬学生を分離( <sup>15・56</sup> では、付設は1885/9/**となる)。 <sup>6・50・55・(15)・(56)</sup>
1885/8/12	明治18年	再び教育令を改正(地方教育費の節約等)。 <sup>682・683</sup>
1885/12/22	明治18年	太政官制を廃し、内閣制度創設。 <sup>656・683</sup>
1886/3/2	明治19年	東京大学を帝国大学と改称。工部大学校を帝国大学に合併。 <sup>684</sup>
1886/3/2	明治19年	帝国大学令を公布(大学院及び法・医・工・文・理の5分科大学を置く)。 <sup>684</sup>
1886/4/10	明治19年	師範学校令、小学校令、中学校令、諸学校通則公布。 <sup>15・62・(57)</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1886/4/**	明治19年 石川県知事岩村高俊、侯爵前田利嗣らが中心となって金沢に高等中学校を設置を請願。 <i>58・(57)</i>	<p>中学校令及び高等中学校官制の発布。 <i>6・55・(61)</i></p> <p>高等中学校ノ学科及其程度(本科2年予科3年)を制定。<i>57・684</i></p> <p>専常師範学校官制を公布。<i>66</i></p>
1886/4/**	明治19年 石川県農業講習所を石川県農学校と改称、羽咋郡火打谷村に設置。 <i>60・(14)・(15)・(59)</i>	
1886/4/**	明治19年	
1886/7/1	明治19年	
1886/10/8	明治19年	
1886/11/30	明治19年 政府は高等中学校の設置区域を定め、第四区を新潟・富山・石川・福井の4県とし、学校の位置を金沢に置くことに決定( <i>58</i> では1886/7/**となる)。 <i>55・57・58・61・(15)・(62)</i>	
1886/12/1	明治19年 石川県師範学校を石川県専常師範学校と改称( <i>14</i> では1886/4/**となる)。 <i>15・60・(14)</i>	
1887/4/1	明治20年 石川県専常師範学校附属幼稚園開設。 <i>15・63</i>	
1887/4/18	明治20年 金沢に第四高等中学校設置。石川県専門学校は第四高等中学校となる。 <i>6・15・55・63・64・65・66</i>	
1887/4/**	明治20年 甲種医学校第1回卒業生を出す。 <i>6・55・61</i>	
1887/5/21	明治20年	
1887/7/**	明治20年	
1887/8/19	明治20年 金沢に第四高等中学校医学部設置。石川県甲種医学校は第四高等中学校の医学部となる( <i>14</i> では1887/4/18となる)。 <i>6・14・55・57・61・66・(58)</i>	
1887/9/**	明治20年	
1887/9/**	明治20年 石川県専門学校内に第四高等中学校の仮事務所を置く。 <i>57</i>	
1887/10/**	明治20年 第四高等中学校第1回入学試験を施行。 <i>57・67</i>	
1887/10/26	明治20年 第四高等中学校開校式を挙行。文部大臣子爵森有礼来校。 <i>15・57・65・68・69</i>	
1887/10/26	明治20年 有志者が『エンサイクロピヂャアブリタニカ』一部を第四高等中学校に寄付。これを第四高等中学校設置及び大臣巡視の記念とする。 <i>57・70・71</i>	
1887/10/26	明治20年	
1887/10/27	明治20年 第四高等中学校、石川県専門学校校舎の一部を借用し授業を開始。 <i>70・72</i>	
1888/1/**	明治21年 石川県金沢病院が第四高等中学校医学部の臨床実習場となる。 <i>15・61・68</i>	
1888/3/29	明治21年 石川県甲種医学校閉鎖。 <i>6・15・55・68・73</i>	
1888/3/**	明治21年 石川県専門学校閉鎖。 <i>14・15・73</i>	
1888/3/**	明治21年 金沢広坂通より仙石町及西町一番丁に跨る地所、およそ2万有余坪を以って第四高等中学校敷地と定める。 <i>70・75</i>	
1888/4/**	明治21年	
1888/4/**	明治21年 石川県甲種医学校校舎を仮用して第四高等中学校医学部が開始。 <i>70・(59)</i>	
1888/4/**	明治21年 第四高等中学校補充科を設置。 <i>58・70</i>	
1888/7/6	明治21年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1888/8/**	明治21年 石川県専門学校及び石川県甲種医学校敷地校舎及び資産を第四高等中学校に引き継ぎ、第四高等中学校本部を石川県専門学校跡に、医学部を石川県甲種医学校跡に置く。 <small>70・(58)</small>	を3部制とする。 <sup>78</sup>
1888/10/**	明治21年	*共立尋常中学校(県立金沢一中の前身)設立。 <sup>15・73</sup>
1888/11/**	明治21年 第四高等中学校で最初の天長節生徒分列式を挙行。 <sup>74</sup>	大日本帝国憲法発布。 <sup>656・685</sup> *石川県下の町村分合、金沢の市制が施行。 <sup>77・(15)・(59)</sup>
1889/2/11 1889/4/1	明治22年 明治22年	大日本帝国憲法発布。 <sup>656・685</sup> *石川県下の町村分合、金沢の市制が施行。 <sup>77・(15)・(59)</sup>
1889/4/2	明治22年 第四高等中学校医学部に薬学科を付設。 <small>15・77・78・(6)・(61)・(74)・(76)</small>	*金沢工業学校が県に移管され、石川県工業学校に改変。 <sup>14・15・77・(59)</sup>
1889/6/** 1889/7/15	明治22年 第四高等中学校、新校舎を起工。 <sup>79</sup> 明治22年 第四高等中学校、第1回卒業証書授与式を挙行。 <sup>79・80・(65)</sup>	*金沢工業学校が県に移管され、石川県工業学校に改変。 <sup>14・15・77・(59)</sup>  尋常師範学校女性徒の年齢(15年以上、20年以下)を定める。 <sup>686</sup>
1889/7/**	明治22年	*金沢工業学校が県に移管され、石川県工業学校に改変。 <sup>14・15・77・(59)</sup>
1889/10/7	明治22年 石川県尋常師範学校内に女子講習会を設け、女教員の不足を補う。 <sup>77</sup>	尋常師範学校女性徒の年齢(15年以上、20年以下)を定める。 <sup>686</sup>
1889/10/25	明治22年	尋常師範学校女性徒の年齢(15年以上、20年以下)を定める。 <sup>686</sup>
1889/11/3	明治22年 石川県尋常師範学校が広坂通の新校舎へ移転することになり、移転式を挙行。 <sup>81</sup>	*私立石川県教育会が発足。 <sup>77</sup>
1889/11/**	明治22年 第四高等中学校、毎年4月18日を本校記念日と定める。 <sup>58</sup>	第1回衆議院議員選挙。 <sup>59</sup>
1889/12/**	明治22年 第四高等中学校医学部、内外科臨床講義室新築竣工し講義を開始。 <sup>6・76</sup>	官制改正、教諭を教授と改称。 <sup>58</sup>
1890/1/** 1890/6/21 1890/7/1	明治23年 石川県農学校に獣医学別科設置。 <sup>15・82</sup>	小学校令公布(明治19年の小学校令廃止)。 <sup>687</sup>
1890/10/** 1890/10/7	明治23年 明治23年	教育に関する勅語発布。 <sup>687</sup>
1890/10/30 1890/12/**	明治23年 明治23年 第四高等中学校、教育に関する親書の勅語を下賜。 <sup>58</sup>	教育に関する勅語発布。 <sup>687</sup>
1891/1/**	明治24年	*金沢市内の各小学校で初めて勅語を奉読。 <sup>15・82</sup>
1891/2/11	明治24年	*金沢市内の各小学校で紀元節の儀式を挙行(男児は軍歌、女児は唱歌を合唱)。 <sup>688・(15)</sup>
1892/1/**	明治25年 第四高等中学校と区域内各県尋常中学校との連絡方法を定め、新潟・富山・福井・石川の尋常中学校卒業生を本校予科第2年級に無試験入学を許し、成績優秀者は第3年級に編入させる。 <sup>80・83</sup>	*私立石川県教育会が発足。 <sup>77</sup>
1892/4/1	明治25年 第四高等中学校、広坂通の新校舎に移転。 <small>80・(65)・(84)</small>	第1回衆議院議員選挙。 <sup>59</sup>
1892/4/**	明治25年 四高医学部の校舎が仙石町に新築され、解剖などの基礎学科が移転。 <sup>6・76・(85)</sup>	官制改正、教諭を教授と改称。 <sup>58</sup>
1892/4/**	明治25年 第四高等中学校、毎年4月18日を種樹日とし、この日に職員生徒の有志の者は樹木を寄付する。 <sup>80・86</sup>	小学校令公布(明治19年の小学校令廃止)。 <sup>687</sup>
1892/7/**	明治25年 第四高等中学校において学識が乏しい教授に対して教授更迭騒動が惹起、結果として教授6名と助教授5名が異動。 <sup>86・87</sup>	教育に関する勅語発布。 <sup>687</sup>
1892/7/**	明治25年 第四高等中学校補充科第1年級を廃止。 <sup>80・84</sup>	*金沢市内の各小学校で初めて勅語を奉読。 <sup>15・82</sup>



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1892/9/**	明治25年 第四高等中学校、金色四稜星の帽章制定。 <small>65・86</small>	
1892/9/**	明治25年 第四高等中学校、第二外国語として仏語科を置く。 <small>80・84</small>	
1892/10/16	明治25年 第四高等中学校校友会創立発会式を挙行。 <small>86</small>	
1893/1/10	明治26年 石川県尋常師範学校に簡易科を設置。 <small>15・88</small>	
1893/1/**	明治26年 第四高等中学校校友会結成。 <small>84</small>	
1893/2/3	明治26年 第四高等中学校校友会『学友会誌』第1号を発刊。 <small>14</small>	
1893/7/**	明治26年 第四高等中学校補充科を廃止。 <small>84・89</small>	
1893/8/5	明治26年	*「北国新聞」創刊。 <small>59</small>
1893/8/11	明治26年	帝国大学令を改正。帝国大学官制を公布。 <small>689</small>
1893/9/**	明治26年 第四高等中学校校訓5項を定める。 <small>90・91</small>	
1893/9/**	明治26年 第四高等中学校寄宿舎1棟（時習寮）を竣工。 <small>91</small>	
1893/10/1	明治26年 第四高等中学校時習寮を開寮。 <small>65・91・(89)</small>	
1893/10/30	明治26年 第四高等中学校の新校舎が完成。落成式を挙行。 <small>14・15・59・89・92</small>	
1893/10/**	明治26年 第四高等中学校、雨天体操場（静勝館）と武道場（無声堂）を竣工。 <small>94</small>	
1893/10/31 ~11/2	明治26年 第四高等中学校校内を寄附者と一般に開放した。 <small>93</small>	
1893/11/22	明治26年	実業補習学校規程を制定。 <small>690</small>
1894/6/25	明治27年	高等学校令を制定。全国の高等中学校は高等学校と改称。 <small>690・691・(89)</small>
1894/7/**	明治27年	高等学校令の公布により、高等中学校医学部を高等学校医学部と改称。 <small>6・76・85</small>
1894/7/**	明治27年 第四高等中学校、医学部及び大学予科を置く。 <small>84・89</small>	
1894/8/29	明治27年	日清戦争に歩兵第七連隊出兵。 <small>59</small>
1894/8/**	明治27年 第四高等中学校校友会解散。 <small>84</small>	
1894/9/11	明治27年 第四高等中学校を第四高等学校（以下、四高と略）に改称（ <small>65</small> では1894/6/25の改称とある）。元高等中学校予科生徒中第3年級は大学予科第1年級に編入し第2年級及び第1年級は当分予備科第1級及び第2級として在学させる。 <small>15・89・96・(14)・(65)・(95)</small>	
1894/11/3	明治27年 四高、天長節奉祝と戦勝祝賀を兼ねて陸上大運動会が開催。 <small>97</small>	
1895/2/1	明治28年 四高医学部教官、生徒が十全会を組織し妙慶寺で発会式。 <small>6・76・(84)</small>	
1895/2/28	明治28年 第四高等中学校「校友会」に代わり、四高「北辰会」が結成。雑誌部は北辰会とともに発足し『北辰会雑誌』を創刊。 <small>(15)・(65)・(98)</small>	
1895/4/17	明治28年	日清講和条約調印。 <small>656</small>
1895/7/**	明治28年 四高、予備第2級を廃止。 <small>84・89</small>	
1895/10/**	明治28年	* コレラ流行（師範学校寄宿舎にも患者発生）
1895/11/**	明治28年	* 真宗大谷派が金沢別院を仮校舎として第四中学寮を開設。 <small>15</small>
1896/2/19	明治29年	* 金沢に憲兵隊設置。 <small>59</small>
1896/2/**	明治29年 四高時習寮自治制を採用。 <small>99</small>	
1896/4/**	明治29年 石川県農学校、羽咋郡火打谷村より能美郡小松町に移転。 <small>100</small>	
1896/4/**	明治29年 石川県尋常師範学校に小学校教員養成所を付設。 <small>15・100</small>	
1896/4/20	明治29年 四高端艇大競漕会を下金石で開催。 <small>15・101</small>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1896/5/**	明治29年 彰仁親王殿下、四高の中隊運動及び柔軟体操を視察。 <sup>102・(84)</sup>	
1896/6/**	明治29年	1901年4月以降大学予科へ生徒を入学させるためには高等中学校設置区域の規程によらないことを定める。 <sup>84・102</sup>
1896/7/**	明治29年 四高予備科廃止。 <sup>84</sup>	
1896/9/25	明治29年 四高帽章・制服を制定 白線四条に金色四稜星が校章となる。 <sup>103</sup>	
1896/9/**	明治29年	*山中漆器徒弟学校設立。 <sup>15</sup>
1896/9/**	明治29年	*真宗大谷派の第四中学寮が真宗加賀中学校と改称。 <sup>15</sup>
1896/9/**	明治29年 四高動植物実験室を開始。 <sup>84・102</sup>	
1896/9/**	明治29年 四高学科長制実施。 <sup>84</sup>	
1896/11/25	明治29年 四高医学部『十全会雑誌』第1号を発行。 <sup>6・76</sup>	
1897/4/18	明治30年 四高の学生竹村秋竹の主唱で俳句革命派「北声会」を結成。 <sup>15</sup>	
1897/4/18	明治30年 四高創立10周年記念式典を同校勝静館で挙行。 <sup>15・104・(14)</sup>	
1897/4/**	明治30年 四高学級幹事の制度実施。 <sup>84</sup>	
1897/6/22	明治30年	京都帝国大学設置。帝国大学を東京帝国大学と改称。 <sup>692</sup>
1897/9/20	明治30年	*北陸線、福井・小松間開通。 <sup>59</sup>
1897/10/9	明治30年	師範教育令を公布。 <sup>693</sup>
1897/12/27	明治30年	*金沢電気株式会社、設立認可。 <sup>59</sup>
1898/4/1	明治31年 石川県尋常師範学校を石川県師範学校と改称。 <sup>15・105</sup>	師範教育令施行。尋常師範学校は師範学校と改称。 <sup>15</sup>
1898/4/1	明治31年	*北陸線、金沢・小松間開通。 <sup>59</sup>
1898/4/**	明治31年 四高学内刷新、教官更迭整理。 <sup>84</sup>	
1898/9/24	明治31年 四高節酒会発表会式が挙行。 <sup>106</sup>	
1898/11/**	明治31年	*金沢城内に第九師団司令部を設置。 <sup>59</sup>
1898/**/**	明治31年 四高、校風革新運動起こる。 <sup>84</sup>	
1899/2/7	明治32年	実業学校令を公布。 <sup>694・(900)</sup>
1899/2/7	明治32年	中学校令を改正（尋常中学校を中学校と改称）。 <sup>694</sup>
1899/2/25	明治32年	工業学校、農業学校、商業学校、商船学校の各規程を制定。 <sup>694</sup>
1899/4/**	明治32年 四高医学部眼科学講義室竣工し講義を開始する。 <sup>6・76</sup>	
1899/10/**	明治32年 四高、北辰会と十全会を統一した「校友会」結成。 <sup>107</sup>	
1899/10/**	明治32年 伊藤博文侯爵、四高に来校し生徒に演説を行う。 <sup>107</sup>	
1899/11/**	明治32年 四高、校舎を新築し図書室及び測量図書教室を移す。 <sup>84・108</sup>	
1900/8/2	明治33年	*七尾線全線開通。 <sup>59</sup>
1900/8/4	明治33年	高等学校大学予科の学科課程を改正、大学予科を3部に分ける。法科、文科大学の志望者は第1部に、工科、理科、農科大学の志望者は第2部に、医科大学の志望者は第3部とする。 <sup>695</sup>
1900/9/**	明治33年 四高、外国語は英語と独語の2種とし仏語を廃止。 <sup>84・108</sup>	
1900/9/**	明治33年 四高、生徒の飲酒を禁止。 <sup>108・109</sup>	
1900/10/11	明治33年	*立憲政友会石川支部結成。 <sup>59</sup>
1900/11/3	明治33年 「三々塾」(四高の公認下宿 校風修養の場)が発足( <sup>65</sup> では1901/4/**となる)。 <sup>110・(65)</sup>	
1901/4/1	明治34年 四高医学部が独立し、金沢医学専門学校として新設( <sup>14</sup> では1901/4/18となる)。 <sup>6・85・111・112・113・(14)・(15)・(108)・(114)</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1901/4/**	明治34年	直轄諸学校官制の改正により、現在の高等学校のほかにも第七高等学校造士館と千葉、仙台、岡山、金沢、長崎の五医学専門学校が新設。 <sup>114</sup>
1901/4/**	明治34年	
1901/4/**	明治34年	
1901/5/2	明治34年	
1901/5/**	明治34年	
1901/9/**	明治34年	
1902/3/**	明治35年	
1902/3/29	明治35年	臨時教員養成所規程を制定。 <sup>696</sup>
1902/4/**	明治35年	
1902/4/25	明治35年	高等学校大学予科入学試験規程を制定(高等学校志願者について、全国同日に同一問題で試験、成績順に希望校に配当する)。 <sup>696</sup>
1902/9/**	明治35年	
1902/11/20	明治35年	*石川県会議事堂落成。 <sup>125</sup>
1903/3/20	明治36年	
1903/3/27	明治36年	実業学校令を改正。 <sup>697</sup>
1903/3/27	明治36年	専門学校令公布(仙台、千葉、金沢、岡山、長崎の官立5校は新令による医学専門学校となる)。 <sup>698・(85)・(111)</sup>
1903/3/31	明治36年	公立私立専門学校規程を制定。 <sup>697</sup>
1903/9/**	明治36年	
1903/10/**	明治36年	
1903/**/**	明治36年	*石川県下の小学校数は456校、市町村立実業学校19校、県立学校8校(中学校4校、師範学校、高等女学校校、工業学校、農学校各1校)。 <sup>15</sup>
1904/2/10	明治37年	日露戦争始まる(宣戦布告)。 <sup>656</sup>
1904/3/2	明治37年	
1904/3/12	明治37年	
1904/5/9	明治37年	*第九師団に日露戦争動員令。 <sup>125</sup>
1905/1/5	明治38年	*旅順陥落祝賀会、兼六園で開催。 <sup>125</sup>
1905/2/11	明治38年	*石川県、戦後の学校経営は実業思想養成を主眼とすることを訓令。 <sup>699</sup>
1905/3/25	明治38年	
1905/8/9	明治38年	
1905/9/5	明治38年	日露講和条約調印(ポーツマス条約)。 <sup>656</sup>
1905/9/**	明治38年	
1905/11/**	明治38年	
1906/3/19	明治39年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1906/**/**	明治39年	
1906/6/13	明治39年	
1906/7/8	明治39年	
1907/3/21	明治40年	
1907/3/25	明治40年	
1907/3/30	明治40年	
1907/3/**	明治40年	
1907/4/10	明治40年	
1907/4/17	明治40年	
1907/9/1	明治40年	
1907/11/13	明治40年	
1908/2/**	明治41年	
1908/3/12	明治41年	
1908/4/1	明治41年	
1908/4/**	明治41年	
1908/4/**	明治41年	
1908/7/**	明治41年	
1908/11/3	明治41年	
1909/8/**	明治42年	
1909/9/9	明治42年	
1909/9/23	明治42年	
1909/9/24	明治42年	
1909/9/27	明治42年	
1909/9/**	明治42年	
1909/11/23	明治42年	
1910/5/25	明治43年	
1910/7/1	明治43年	
1910/7/30	明治43年	
1911/1/1	明治44年	
1911/1/31	明治44年	
1911/2/18	明治44年	
	火事後、時習寮生、「超然主義」を標榜、籠城生活開始(このころ機関紙『超然』を 発刊、また自治制も復活)。 <sup>124</sup>	
	四高第2回南下軍遠征、柔道優勝。このと き南下軍の歌制作。 <sup>65・(126)</sup>	
	前年焼失した寄宿舎の生徒監室・食堂・炊 事場・浴室等復旧工事成る。 <sup>127・(116)</sup>	
	四高、初めて通俗学術講談会を開き公衆の 聴講を許す。 <sup>128・(127)</sup>	
	石川県師範学校から女子師範学校が分立 し、石川県女子師範学校となる。 <sup>14・15・129</sup>	
	四高寄宿舎南寮寮務室等新築、ここに火災 復旧工事が完了。 <sup>116・127</sup>	
	四高、寒潮事件(四高を舞台とした「大阪 毎日新聞」連載の小説「寒潮」は、四高を 侮辱するものであるとして、四高生が新聞 不買運動などを展開)起こる。 <sup>130・(65)</sup>	
	時習寮生、「超然」の精神を後に伝えるた め「超然趣意書」発す(寮玄関の正面には 吉村が揮毫し「超然」の扁額が記念に掲げ られた)。 <sup>131</sup>	
	四高教室1個及び附属建物増築なる。 <sup>132・(116)</sup>	
	四高校旗制定式が挙行。 <sup>133</sup>	
	皇太子、四高に行啓。 <sup>132・(134)・(136)</sup>	
	皇太子、北陸地方行啓に際し金沢医学専門 学校を視察。 <sup>6・137・138</sup>	
	四高、第1回擬国会を開く。 <sup>134・135</sup>	
	第27回帝国議会に北陸帝国大学設立に関す る建議案を提出。 <sup>139・140</sup>	
	第27回帝国議会衆議院において北陸帝国大 学設立に関する建議案が可決。 <sup>139・140</sup>	
		帝国学士院規程を制定(東京学士会院を 帝国学士院に改組拡充)。 <sup>700</sup>
		*金沢・福井間に電話開通。 <sup>125</sup>
		小学校令改正(義務教育年限を6ヶ年に 延長。高等小学校を2~3年とする)〔1908/ 4から施行〕。 <sup>701</sup>
		帝国大学特別会計法公布。同特別会計規 則を制定。 <sup>702</sup>
		官立医学専門学校規定を定める。 <sup>702・(85)</sup>
		師範学校規程を制定(本科第2部を設置)。 <sup>702</sup>
		*七尾線、国有鉄道となる。 <sup>125</sup>
		*金沢市内に天然痘が流行。 <sup>129</sup>
		高等学校大学予科の入学に関し、総合選 抜試験制度を廃し、各校別試験とする。 <sup>702</sup>
		*金沢電気会社、ガス供給。 <sup>125</sup>
		文部省、学校生徒の飲酒取締りにつき訓 令。 <sup>703</sup>
		文部省、直轄諸学校に対し修身教育の重 視を訓令。 <sup>703</sup>
		大逆事件。 <sup>656・704</sup>
		*立憲国民党石川県支部、結成される。 <sup>125</sup>
		文部省、直轄学校学生生徒の喫煙取締り に関して訓令。 <sup>703</sup>
		東北帝国大学理科大学、九州帝国大学工 科大学開設。 <sup>703</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1911/3/** 1911/5/**	明治44年 四高、植物温室増築成る。 <sup>116・141</sup> 明治44年 四高で鉄拳制裁をめくり生徒が対立。北辰会代議員・各部委員等が学生大会を開き学校当局に抗議。 <sup>15・142・(65)</sup>	
1911/11/**	明治44年 通常県会で金沢に高等工業学校設置を決議。 <sup>144</sup>	
1912/1/17 1912/1/** 1912/3/25	明治45年 四高茶寮(集会所)開設。 <sup>65・143</sup> 明治45年 金沢病院(小立野)横に建設中の校舎が竣工により移転式を挙行。 <sup>6・137・138</sup> 明治45年 石川県会議長から高等工業学校設置建議案を内務・文部両大臣へ提出。 <sup>144・146・(14)</sup>	*石川県立図書館開設。 <sup>125</sup>
1912/3/10 1912/3/25	明治45年 石川県会議長から高等工業学校設置建議案を衆議院に上程。一部を修正(北陸に1校を設置)して建議案は可決採択(しかし、建議案は実現せず)。 <sup>145</sup>	
1912/3/30	明治45年	仙台医学専門学校及び仙台高等工業学校を東北帝国大学に付属、それぞれ同大学の医学専門部・工学専門部とする。 <sup>705</sup>
1912/7/25	明治45年 金沢医学専門学校が小立野の新校舎へ移転。 <sup>6・14・137</sup>	
1912/7/30 1913/1/1 1913/1/18	明治45年 大正 2年 石川県師範学校の新入生の3分の1を私費生とすることを発表。 <sup>15・147</sup> 大正 2年 大隈重信が師範学校女子部(1913/9/20)及び四高(1913/9/21)で講話。 <sup>(15)</sup> 大正 3年 師範学校女子部を石川県女子師範学校とし、これを第二高等女学校に併置することについて文部大臣の認可があった。 <sup>147</sup>	明治天皇崩御、大正と改元。 <sup>656</sup> *私立尾山病院閉鎖する。 <sup>137</sup>
1913/9/20・ 21 1914/1/7	大正 3年 石川県女子師範学校及び附属小学校・幼稚園が石川県師範学校から分離設置。 <sup>154・(15)・(155)</sup>	
1914/4/1	大正 3年 四高、大学予科入学者選抜試験規程中、第2部乙類の農科を削り、第2部両類農科を追加。 <sup>141</sup>	
1914/4/**	大正 3年 四高、金沢医科専門学校旧解剖教室等の引渡しを受けて、動植物及び地質鉱物教室を移す。 <sup>141・(143)</sup>	
1914/6/**	大正 3年	*私立石川県教育会は、石川県教育会と改称。 <sup>155</sup>
1914/8/11 1914/8/23	大正 3年	日本、ドイツに宣戦布告(1914/7/28第一次世界大戦始まる)。 <sup>656</sup>
1914/11/** 1914/11/** 1914/12/3	大正 3年 四高寮旗制定。 <sup>143</sup> 大正 3年 最初の『四高寮歌集』刊行。 <sup>65・143</sup> 大正 3年 石川県師範学校男子部寄宿舎が竣工。 <sup>15・147</sup>	
1914/12/31	大正 3年 京都武徳殿において、四高柔道部は七高を破り優勝。 <sup>147・(65)</sup>	
1914/12/31	大正 3年 全国官立学校剣道大会(京都大学主催)で四高が優勝( <sup>147</sup> では1914/12/29)。 <sup>15・(147)</sup>	
1915/4/1	大正 4年 石川県女子師範学校に第2部、石川県師範学校に附属小学校が各設置。 <sup>15・149</sup>	
1915/5/11	大正 4年 金沢医学専門学校創立25周年記念及び校舎改築移転祝賀会を挙行。 <sup>6・138・147・150</sup>	
1915/7/2	大正 4年 石川県師範学校新築校舎の落成式を、同校講堂で挙行。 <sup>147・(15)・(149)</sup>	
1915/10/**	大正 4年 四高寮歌「北の都に秋たけて」を選定。 <sup>65・151・152</sup>	
1915/12/**	大正 4年 四高、御大礼拝観修学旅行実施。 <sup>143</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1916/1/**	大正 5年	*松金電鉄開通。 125
1916/3/13	大正 5年	
1916/4/**	大正 5年	
1916/7/28	大正 5年	
1916/8/8	大正 5年	
1916/8/16	大正 5年	
1916/10/28	大正 5年	
1916/11/3	大正 5年	
1917/4/27	大正 6年	
1917/5/**	大正 6年	
1917/8/14	大正 6年	*金沢立憲青年会結成。 125
1917/9/**	大正 6年	
1917/10/26	大正 6年	
1918/3/4	大正 7年	
1918/3/8	大正 7年	
1918/4/1	大正 7年	
1918/4/13	大正 7年	
1918/4/19	大正 7年	
1918/8/7	大正 7年	
1918/8/12	大正 7年	
1918/9/**	大正 7年	北海道帝国大学を設置（東北帝国大学農科大学を北海道帝国大学農科大学に改める）。 707
1918/9/19	大正 7年	
1918/10/15	大正 7年	
1918/12/6	大正 7年	
1918/12/6	大正 7年	
1918/12/6	大正 7年	
1918/12/30	大正 7年	
	大正 7年	
	大正 7年	
	大正 7年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1919/2/7	大正 8年	帝国大学令を改正(大学令の制定に伴い、もっぱら官立の総合制大学にのみ適用。分科大学を学部改める)。709
1919/3/9	大正 8年	高等学校規程(学年の開始を9月11日から4月1日に改正)を制定。709 大学規程を制定。711
1919/3/29	大正 8年	
1919/3/29	大正 8年	*全国を驚愕させた米商殺しの犯人2人が四高卒業生であった。15 *石川県立憲青年党結成。125 *金沢に市電走る。125
1919/4/21	大正 8年	
1919/6/**	大正 8年	政友会議員20人余を国会へ送る北信八州会の大会で金沢市に総合大学の設置を期することを決議。15
1919/7/12	大正 8年	
1919/7/13	大正 8年	高等学校令改正の結果、四高の帽子の白線4本が2本となり、ボタン内の「高」が除かれることになった。147・(148)
1919/9/10	大正 8年	
1919/9/**	大正 8年	四高、製図教室増築。143・158 全国直轄学校剣道大会(京都大学主催)で四高が優勝。147・(15)・(65)
1919/12/30	大正 8年	
1920/1/15	大正 9年	徴兵令改正により、師範学校卒業生の6週間現役兵が廃止され1年現役制となった。147 *能登電気株式会社設立。125
1920/1/22	大正 9年	四高学生24人が日本アルプス横断に成功。15・147・163
1920/4/7	大正 9年	
1920/7/6	大正 9年	学位令を改正(学位は各大学において、文部大臣の認可を経て教与することとし、推薦制を廃して、論文提出による請求制のみとする)。166 東京帝国大学、学年の始期を変更し、4月1日とする(大正10年度から施行、他の官立大学も追随)。166
1920/7/7	大正 9年	実業補習学校教員養成所令を公布。712
1920/8/**	大正 9年	
1920/10/30	大正 9年	四高、普通教室増築。158・(143)
1920/11/26	大正 9年	
1920/12/**	大正 9年	金沢高等工業学校設置(15・164・166では1920/11/27の設置となる)。15・146・164・165・166・167・168
1921/1/12	大正10年	四高、柔道・剣道・弓道とも高専武道大会で優勝。65
1921/3/**	大正10年	工業学校規程を改正(徒弟学校を廃止して工業学校に包含)。713
1921/3/26	大正10年	四高、卒業成績発表と同時に大学予科消滅。158
1921/3/30	大正10年	工業学校特別会計法を公布。713 *第九師団シベリア出兵。125
1921/3/31	大正10年	
1921/4/6	大正10年	金沢高等工業学校敷地を本省より引き継ぐ。165
1921/4/**	大正10年	金沢高等工業学校校舎第1期工事完成により本省より引き継ぐ。165・169
1921/4/8	大正10年	石川県立農業教員養成所が石川県立実業補習学校教員養成所と改称。15・171
1921/4/9	大正10年	金沢高等工業学校第1回入学生宣誓式と開校式挙行。146・147・165・170
1921/4/12	大正10年	金沢高等工業学校授業開始。15
1921/4/**	大正10年	四高、学年暦変更、4月1日始業。143
1921/5/1	大正10年	
1921/7/18	大正10年	金沢高等工業学校校舎第2期工事完成に付

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1921/8/**	大正10年	
1921/9/**	大正10年	
1921/10/**	大正10年	
1921/10/7	大正10年	
1921/10/10	大正10年	
1921/12/24	大正10年	
1922/2/**	大正11年	
1922/3/28	大正11年	
1922/3/**	大正11年	
1922/4/1	大正11年	
1922/6/**	大正11年	
1922/7/23	大正11年	
1922/9/1	大正11年	
1922/9/5	大正11年	
1922/10/16	大正11年	
1922/12/**	大正11年	
1922/12/**	大正11年	
1923/4/1	大正12年	
1923/4/1	大正12年	
1923/4/5	大正12年	
1923/4/**	大正12年	
1923/5/**	大正12年	
1923/6/2	大正12年	
1923/6/29	大正12年	
1923/7/**	大正12年	
1923/夏/**	大正12年	
1924/1/13	大正13年	
1924/1/28	大正13年	
1924/2/26	大正13年	
1924/3/15	大正13年	

\*金沢で普選要求デモ。125

\*憲政擁護石川県民大会開催。125  
\*実業同志会石川支部結成。125



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1924/3/**	大正13年 名)を挙行。 <sup>175・189・(146)</sup> 金沢高等工業学校、『校友会誌』第1号発刊。 <sup>190</sup>	
1924/3/**	大正13年 金沢高等工業学校、金沢工業会創設。 <sup>187</sup>	
1924/6/8	大正13年	*石川県庁舎の落成式を挙行。 <sup>193</sup>
1924/6/25	大正13年 金沢高等工業学校分析試験鑑定及び加工規程制定の件許可される。 <sup>189</sup>	
1924/9/**	大正13年 金沢医科大学生理学、衛生細菌学教室並びに同附属建物竣工。 <sup>191</sup>	
1924/10/18	大正13年 石川県師範学校創立50周年式を挙行。 <sup>15・147・193</sup>	
1924/11/4	大正13年 特別大演習統裁の際に、摂政官が金沢高等工業学校に侍従を派遣。 <sup>189</sup>	
1924/11/5	大正13年 摂政宮殿下が石川県師範学校で県下児童の成績品を視察。 <sup>147</sup>	
1924/11/6	大正13年 特別大演習統裁後、摂政官が四高を視察。 <sup>147・177・194・(15)</sup>	
1924/11/9	大正13年 皇太子、陸軍特別大演習後、金沢医科大学を視察。 <sup>178・191・192</sup>	
1924/11/9	大正13年 摂政宮殿下が金沢医科大学に行啓。 <sup>147</sup>	
1924/11/**	大正13年 四高社会思想研究会解散。 <sup>143・195</sup>	
1925/2/28	大正14年 高等師範学校の金沢誘致運動を県市合同で展開。 <sup>15・147</sup>	
1925/3/3	大正14年	*能登鉄道羽咋・高浜間開通。 <sup>125</sup>
1925/3/19	大正14年	治安維持法貴族院可決。 <sup>656</sup>
1925/3/29	大正14年	普通選挙法成立。 <sup>656</sup>
1925/3/**	大正14年 四高、他校への入学試験・転科・転類授業料等規程を改正、次学年より実施。 <sup>177・196・(195)</sup>	
1925/4/1	大正14年	師範学校規程を改正(本科第1部の修業年限を5年に延長、第2部の修業年限は男子1年、女子1年または2年、専攻科の修業年限は1年とする)。 <sup>714</sup>
1925/4/13	大正14年	陸軍現役将校学校配属令を公布。同施行規程を制定(中学校以上で、現役将校による学校教練を実施)。 <sup>714</sup>
1925/4/18	大正14年	師範学校教授要目を改正。 <sup>715</sup>
1925/4/**	大正14年 四高、学校教練実施。 <sup>195</sup>	
1925/5/10	大正14年	*浅野川電鉄開通。 <sup>125</sup>
1925/6/14	大正14年 在京四高出身者が小石川植物園に会合し、四高同窓会設立の建議案を決議。 <sup>197</sup>	
1925/7/18	大正14年	*石川県は金沢城を史跡として保存するよう陸軍省へ申請。 <sup>15</sup>
1925/7/19	大正14年	*粟ヶ崎遊園開園。 <sup>125</sup>
1925/8/**	大正14年 金沢医科大学附属医院看護婦寄宿舎を竣工(200では1925/9/**となる)。 <sup>6・192・200</sup>	
1925/8/**	大正14年 金沢医科大学附属医院外科手術室を竣工(200では1925/9/**となる)。 <sup>6・192・200</sup>	
1925/9/12	大正14年 海軍省令第11号海軍造船構造兵生徒規則に金沢高等工業学校を加える。 <sup>201</sup>	
1925/10/31	大正14年	*「皇太子殿下御成婚記念金沢市運動場」の開場式を挙行。 <sup>15・199</sup>
1925/11/25	大正14年	官立高等学校高等科入学者選抜試験規程を改正し、高等学校を2班に分け、2度の受験機会を与える。 <sup>714・(196)</sup>
1926/1/15	大正15年	京都学連事件。京都帝大など全国の社研学生検挙される(最初の治安維持法適用事件)。 <sup>656</sup>
1926/1/19	大正15年 歩兵第七連隊と、四高・金沢医科大学附属薬学専門部の学生との連合演習を石川平野	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会	
1926/2/7	大正15年	*石川合同労組結成。 125	
1926/3/15	大正15年		
1926/3/24	大正15年		
1926/3/**	大正15年		
1926/4/29	大正15年		*小松製作所で、首切り反対争議起こる。 125
1926/4/**	大正15年		
1926/4/**	大正15年		
1926/4/**	大正15年		
1926/5/11	大正15年		
1926/5/12	大正15年		
1926/5/29	大正15年		文部省、学生の社会科学的研究禁止を通達。 716
1926/5/**	大正15年		
1926/11/5	大正15年		
1926/12/**	大正15年		
1926/12/25	大正15年		
1926/**/**	大正15年		大正天皇崩御、昭和と改元。 656・717 高校入試制度改革、二班制試験制度（第一志望、第二志望の二校を併せて受験可能）の実施。 718
1927/2/1	昭和 2年		*八十四銀行、金融恐慌で休業。 125
1927/2/7	昭和 2年		
1927/3/22	昭和 2年		
1927/3/25	昭和 2年		
1927/3/**	昭和 2年		
1927/3/**	昭和 2年		
1927/3/**	昭和 2年		
1927/11/3	昭和 2年		
1927/11/22	昭和 2年		
1928/**/**	昭和 3年		
1928/1/20	昭和 3年	中学校、高等女学校、高等学校等の入学試験制度を改正（入試準備の弊害除去のため、内申書重視を指示）。 719・(196)	
1928/2/**	昭和 3年	専門学校令を改正（人格の陶冶・国体觀念の養成・公私立専門学校に対する文部大臣の監督強化等）。 719	
1928/3/15	昭和 3年	共産黨員全国的大検挙。県内の左翼勢力弾圧。 208・656	
1928/4/**	昭和 3年		
1928/6/**	昭和 3年		

西 暦 (年号)		金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1928/7/25	昭和 3年	生から犠牲をださぬことなどの条件に解決。 <sup>15・195・204</sup>	<p>*社会民衆党金沢支部結成。<sup>208</sup>  文部省、思想問題に対処するため学生課を新設し、官立大学・高等専門学校学生(生徒)主事を置く。<sup>656・(718)・(720)</sup>  高校入試、二班制試験制度を廃止し、旧制度が復活。<sup>718</sup></p> <p>*兼六園で、初の公然メーデー。<sup>208</sup></p> <p>*婦選獲得同盟金沢支部結成。<sup>208</sup></p> <p>*金沢市立図書館の落成式が挙行。<sup>721</sup></p> <p>工業学校・農業学校・商業学校・商船学校・水産学校各規程を改正(高等小学校卒入学2年制の実業学校を認め、また学科目、教授時数を改正)。<sup>722</sup>  *金沢放送局開局。<sup>208</sup>  *金沢市立図書館開館。<sup>721</sup>  *石川県教育会館の落成式を挙行。<sup>15</sup></p>
1928/10/30	昭和 3年		
1928/**/**	昭和 3年		
1929/1/8	昭和 4年	四高、構内にある金沢医科大学附属薬学専門部の建物をそのまま四高に移管。改装し心理学教室・生徒集会所などを竣成。 <sup>209・(207)</sup>	
1929/1/17	昭和 4年	四高生軍事教練反対行動。 <sup>208</sup>	
1929/2/6	昭和 4年	第56回帝国議会に「金沢市に総合大学設置に関する建議案」が提出された。 <sup>139</sup>	
1929/3/25	昭和 4年	第56回帝国議会衆議院において「金沢市に総合大学設置に関する建議案」が可決された(15・204では1929/3/24とある)。 <sup>6・139・210・(15)・(204)</sup>	
1929/3/**	昭和 4年	金沢医科大学附属医院看護婦養成科を看護婦養成所に改称。附属医院に助産婦養成所を設置。 <sup>6・210・211</sup>	
1929/3/**	昭和 4年	四高、新築講堂落成。本講堂は近代復興式木造平家建ギャラリー付。 <sup>207</sup>	
1929/4/16	昭和 4年	金沢医科大学附属医院看護婦養成所高等科第1回生10名入学(修業年限1年)。	
1929/4/27	昭和 4年	四高新講堂の落成式を挙行。 <sup>212・(183)</sup>	
1929/4/**	昭和 4年	四高で、「広場」問題起こる(文芸雑誌『広場』が左傾的であるとして発行禁止)。 <sup>212</sup>	
1929/5/5	昭和 4年		
1929/6/13	昭和 4年	四高は思想問題で一学生を論旨退学とした件で、それを批判する先輩との折衝を行う。 <sup>15・204</sup>	
1929/11/10	昭和 4年		
1930/1/10	昭和 5年	石川県は小学校教員の飽和状態から、師範学校2部を半数の40名、専攻科は20名減の50名を各々募集することに決定。 <sup>204</sup>	
1930/1/25	昭和 5年		
1930/1/**	昭和 5年	四高旅行部の遭難事件。 <sup>195</sup>	
1930/2/**	昭和 5年	「四高反帝事件」(富山市外の第一ラミー紡績会社の労働争議に四高生徒が潜入していたことが判明、これを機に四高生数名が検挙、有罪)起こる。 <sup>214</sup>	
~1931/3/**			
1930/3/15	昭和 5年	石川県では石川県師範学校規則を改正し、女子師範学校本科2部の修業年限を2年とし、これに伴う学級編成替・支給学資減額・卒業生の義務年限短縮などを決定。 <sup>204</sup>	
1930/3/17	昭和 5年	四高、指導教官の制度を設ける。 <sup>207・213・(183)</sup>	
1930/4/8	昭和 5年		
1930/4/20	昭和 5年		
1930/7/10	昭和 5年		
1930/7/17	昭和 5年		
1930/7/27	昭和 5年	全国高専野球大会で四高が優勝。 <sup>15・204・(183)</sup>	
1930/9/**	昭和 5年	金沢神社境内兼六園に北条時敬四高前校長頌徳碑竣工。 <sup>213</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1930/10/21	昭和 5年	師範学校規程全面改正（本科第2部の修業年限を2年とする。基本科目・増課選修科目の制を設ける。法制及び経済を改め、公民科を置く等）。 <sup>216</sup>
1931/1/10	昭和 6年	
1931/3/**	昭和 6年	*全協金沢地区協を結成。 <sup>208</sup>
1931/3/28	昭和 6年	
1931/4/**	昭和 6年	*上海事変、第九師団に動員命令。 <sup>208</sup> *金沢市で産業と観光の大博覧会開催。 <sup>208</sup>
1931/4/11	昭和 6年	
1931/6/23	昭和 6年	文部省に学生思想問題調査委員会設置。 <sup>723</sup> 柳条湖事件、満州事変始まる。 <sup>656</sup> *金沢市上水道完成。 <sup>208</sup>
1931/9/18	昭和 6年	
1931/10/16	昭和 6年	*上海事変、第九師団に動員命令。 <sup>208</sup> *金沢市で産業と観光の大博覧会開催。 <sup>208</sup>
1932/**/**	昭和 7年	
1932/1/28	昭和 7年	夜間授業を行う中学校に類する各種学校（いわゆる夜間中学校）卒業者に、専門学校入学の道を開く。 <sup>724</sup> *日本国家社会党石川県支部結成。 <sup>208</sup>
1932/4/12	昭和 7年	
1932/5/18	昭和 7年	石川県主催体育指導者講習会が石川県師範学校で開催。 <sup>15</sup> 時習寮第40回記念祭。 <sup>183</sup>
1932/6/18	昭和 7年	
1932/6/28	昭和 7年	石川県女子師範学校で、石川県体育学会発会式を挙行。 <sup>15</sup> 四高時習寮報発行。 <sup>195</sup>
1932/秋/**	昭和 7年	
1932/11/13	昭和 7年	石川県女子師範学校で、学校給食協議会を開催。 <sup>15</sup> 四高生徒主事官舎1棟新築。 <sup>218・(195)</sup>
1932/12/**	昭和 7年	
1933/2/27	昭和 8年	*全協一斉弾圧。 <sup>208</sup>
~28	昭和 8年	
1933/3/28	昭和 8年	腸チフス禍事件起こる（ <sup>219</sup> では1933/6/19となる）。四高寄宿舎では、チフス患者が発生。20~28日まで休校し、学科試験も延期。 <sup>204・(183)・(219)</sup>
1933/5/23	昭和 8年	
1933/6/20	昭和 8年	*石川県立図書館を中央図書館に指定する。 <sup>725</sup>
1933/7/23	昭和 8年	
1933/夏/**	昭和 8年	*粟ヶ崎遊園競売。 <sup>208</sup>
1933/9/6	昭和 8年	
1933/10/27	昭和 8年	特別大演習統裁のため福井に行幸した昭和天皇に、金沢高等工業学校代表者が拝謁。 <sup>220</sup>
1933/12/8	昭和 8年	
1933/12/20	昭和 8年	『郷土文学選』が石川県女子師範学校と金沢第二高等女学校から刊行。 <sup>15</sup> *『郷土研究紀要』が石川県女子師範学校から刊行。 <sup>15</sup>
1934/3/1	昭和 9年	
1934/6/1	昭和 9年	文部省に思想局設置（学生部を昇格）。 <sup>726</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1934/7/11 1934/9/**	昭和 9年 昭和 9年	*手取川大洪水。 208
1934/10/11	昭和 9年 四高、読書会事件起こる(読書会の名目で社会科学研究を行っていた四高生が県特高の取り調べを受け拘引)。 221 四高生、富山県立野ヶ原での演習を無断で中止して問題化(204では1934/10/13となる)。 195・208・(204)	
1934/**/** 1935/4/1	昭和 9年 昭和10年	青年学校令(実業補習学校及び青年訓練所廃止)を公布。 727 青年学校教員養成所令を公布。青年学校教員養成所規程を制定。 728
1935/4/1	昭和10年	文部省、「建国ノ大義ニ基キ日本精神作興等ニ関シ教育関係者ノ任務達成方」を訓令。天皇機関説問題と関連して国体明徴を強調。 728
1935/4/10	昭和10年	
1935/4/12	昭和10年	金沢高等工業学校機械工学科鑄工場から出火し、同工場等1棟及び附属建物焼失。損害22万円。 146・220・222・(204)
1935/5/13 1935/6/8	昭和10年 昭和10年	*石川門、国宝に指定される。 208
1935/10/**	昭和10年	*石川県内の銀行を統合して、北国銀行が設立される。 208
1935/**/** 1936/3/31 1936/4/1	昭和10年 昭和11年 昭和11年	
1936/6/1 1936/6/3 1936/6/9	昭和11年 昭和11年 昭和11年	
1936/6/13	昭和11年	
1936/7/30	昭和11年	
1936/8/31	昭和11年	*拓務省から、石川県立松任農学校徳田専修科が満州農民移住の訓練所に指定。 226 *社会大衆党金沢支部結成。 208
1936/12/13 1937/3/10	昭和11年 昭和12年	
1937/4/16 1937/4/**	昭和12年 昭和12年	
1937/4/**	昭和12年	*石川県立実業補習学校教員養成所が石川県立青年学校教員養成所と改称。石川県立女子青年学校教員養成所が河北郡津幡町に設置、開校。 15・226・227
1937/7/7 1937/7/11	昭和12年 昭和12年	盧溝橋事件発生(日中戦争の発端)。 656
1937/7/21	昭和12年	文部省に、外局として教学局を設置(思想局廃止)。 729
1937/8/26	昭和12年	官立高等工業学校16校に臨時別科として、工業技術員養成科(6ヶ月)を設置。 730
1937/8/** 1937/9/10 1937/9/**	昭和12年 昭和12年 昭和12年	
	金沢高等工業学校防護団を結成。 231 石川県師範学校鞍ヶ岳明倫堂竣工。 227 四高、記念祭飾付廃止(183では1937/10/**	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1937/10/1	昭和12年 となる)。 <sup>232・(183)</sup> 金沢高等工業学校工業技術員養成科入学式 挙行、授業を開始。 <sup>223</sup>	
1937/10/9	昭和12年 北辰協議会が「愛国節約献金」を決議 同 月13日から実施。 <sup>233</sup>	
1937/10/14	昭和12年 四高、50周年記念式を挙行。 <sup>227・234・235</sup>	
1937/10/15・ 16・23	昭和12年 四高、50周年記念事業として四高出身の名 士による記念講演開催。 <sup>234・236</sup>	
1937/10/**	昭和12年 四高、愛国節約献金内規制定。 <sup>232</sup>	
1937/11/30	昭和12年 四高、50周年記念事業として生徒集会所を 新築( <sup>234</sup> では1937/10/14、 <sup>232</sup> では1937/10/** となる)。 <sup>232・234・236</sup>	
1937/11/**	昭和12年	*黒且子開拓団、石川県初の満州入植。 <sup>208</sup>
1937/12/13	昭和12年	*第九師団南京入城。 <sup>208</sup>
1937/12/**	昭和12年	
1937/**/**	昭和12年 金沢高等工業学校奉安所完工。 <sup>231</sup> 北辰会が、四高創立50周年記念歌を募集し 「あゝ美はしの北の国」を選定。 <sup>229</sup>	
1938/1/8	昭和13年 中等学校教職員精神作興大会が女子師範で 開催。 <sup>15・227</sup>	
1938/2/**	昭和13年 金沢医科大学附属医院看護婦養成所の修業 年限を2年から3年に改正。 <sup>(6)・(237)・(238)</sup>	
1938/3/**	昭和13年 金沢高等工業学校全校生、短髪、坊主刈り、 質実剛健の気宇みなぎる。 <sup>231</sup>	
1938/3/30	昭和13年 金沢高等工業学校工業技術員養成科修了証 書授与式挙行。 <sup>239</sup>	
1938/4/1	昭和13年	国家総動員法公布。 <sup>656</sup>
1938/4/1	昭和13年 金沢高等工業学校、本年度より機械工学科 学生35名増募。 <sup>146・230・239</sup>	
1938/4/**	昭和13年 北辰会断髪断行を決議。 <sup>232</sup>	
1938/4/**	昭和13年 石川県立青年学校教員養成所に臨時養成科 を付設。 <sup>240</sup>	
1938/5/3	昭和13年	青年学校教員養成所に助教諭養成のため の臨時養成科を置く。 <sup>731</sup> *金城義勇隊開拓団、満州入植。 <sup>208</sup>
1938/5/**	昭和13年	
1938/5/**	昭和13年 金沢高等工業学校集団勤労作業隊を編成。 <sup>231</sup>	
1938/6/9	昭和13年	集団の勤労作業運動実施に関して通達。 勤労動員始まる。 <sup>656・(731)</sup>
1938/9/1～5	昭和13年 四高、生徒の集団勤労奉仕作業始まる。 <sup>241</sup>	
1938/10/6	昭和13年 金沢高等工業学校、御真影奉安所御造営協 賛会より奉安殿の寄付を受ける。 <sup>239</sup>	
1938/10/15	昭和13年	*金沢飛行場完成式挙行。 <sup>208</sup>
1938/10/**	昭和13年 四高、他家視察事件起こる(授業期間に他 家視察を行った視察委員に登校停止処分)。 <sup>242</sup>	
1939/1/**	昭和14年 四高、自治制度廃止。 <sup>232</sup>	
1939/2/**	昭和14年 四高生、茶寮の経営を学校に移管。 <sup>232・243</sup>	
1939/3/30	昭和14年	大学における軍事教練を必修とすること を各大学に通達。 <sup>731</sup> 名古屋帝国大学設置。 <sup>731</sup>
1939/3/31	昭和14年	
1939/4/1	昭和14年 金沢高等工業学校機械技術員養成科を設け る。応用化学科生35名を増募。化学機械科 と電気工学科の2科を増設。 <sup>146・239・244</sup>	
1939/4/**	昭和14年 金沢高等工業学校国民精神総動員実行委員 会結成。 <sup>231</sup>	
1939/4/14	昭和14年	小・中学校で勤労作業を準正科として実 施することが決定。 <sup>15</sup>
1939/4/26	昭和14年	青年学校令を改正し、青年学校を義務教 育とする(満12歳以上満19歳未満の男子

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1939/4/26	昭和14年	の就学義務を定め、昭和14年度から逐年実施)。 <sup>732</sup> 青年学校令施行規則を制定(青年学校規程を廃止)。 <sup>732</sup> 文部省及び農林省は、中等学校に対し農村劣力に生徒を出動させるよう通達。 <sup>15</sup>
1939/4/27	昭和14年	
1939/5/14	昭和14年	各帝国大学及び官立医科大学に臨時附属医学専門部を設置(軍医の需要に即応)。 <sup>733</sup>
1939/5/15	昭和14年	
1939/5/22	昭和14年	陸軍現役将校配属令公布15周年にあたり、金沢高等工業学生代表10名東京市において拝謁。 <sup>239・247</sup> 陸軍現役将校学校配属令公布15周年にあたり、四高職員学生代表が宮城前広場で拝謁。 <sup>248</sup>
1939/5/23	昭和14年	
1939/6/10	昭和14年	文部省、夏季休暇を学生・生徒の心身鍛錬にあて、集団勤労作業を行うように通達。 <sup>733</sup>
1939/6/26	昭和14年	金沢高等工業学校化学機械科、電気工学科第1回入学宣誓式を挙行。 <sup>247</sup> 金沢医科大学臨時附属医学専門部の授業が開始。 <sup>6・237・246</sup>
1939/6/**	昭和14年	
1939/7/1	昭和14年	金沢高等工業学校機械技術員養成科入学式を挙行し、直ちに授業を開始。 <sup>247</sup> 興亜学生勤労報国際隊として四高学生を大陸に派遣。 <sup>249</sup>
1939/7/** ~8/**	昭和14年	
1939/8/16	昭和14年	文部省、学生の運動競技を休日・土曜午後以外禁止と通達。 <sup>733</sup>
1939/10/**	昭和14年	四高、記念祭飾付復活。 <sup>232</sup> 金沢高等工業学校の白峰厩舎の竣工落成式。 <sup>204</sup>
1939/11/12	昭和14年	
1940/3/**	昭和15年	『金沢高等工業学校学術報告書』第1集発行。 <sup>146・250</sup>
1940/4/1	昭和15年	金沢高等工業学校、本年度より土木工学科、化学機械科、電気工学科学生各40名増募。 <sup>146・247・251</sup>
1940/4/2	昭和15年	学生生徒及び青年団員等の集団勤労作業による飼料資源開発事業実施に関して通達。 <sup>734</sup>
1940/5/24	昭和15年	
1940/6/12	昭和15年	四高東亜研究会の宝庫大満州紹介展覧会が、丸越で開催。 <sup>204</sup> 四高では、紀元2600年記念事業として、卯辰山に修練道場を設けることになった。 <sup>204</sup> 第2回興亜勤労学生報国際隊として四高学生を大陸に派遣。 <sup>252</sup>
1940/7/** ~8/**	昭和15年	
1940/7/1	昭和15年	*言論統制により、「北国毎日新聞」発行。 <sup>208</sup>
1940/7/7	昭和15年	*贅沢品の製造・販売禁止令施行(7・7禁令)。 <sup>208</sup>
1940/7/7	昭和15年	*事変3周年に当たり、石川平野で学生連合演習を実施。 <sup>15</sup>
1940/9/14	昭和15年	岡上校長が「四高新体制」を宣言 禁酒禁煙断行、享乐的飲食店出入禁止、映画劇場への入場が制限。 <sup>253</sup>
1940/9/17	昭和15年	
		文部大臣、高等専門諸学校に「学校報国団」を組織すべきことを指示(高等学校

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1940/10/**	昭和15年 金沢高等工業学校創立20周年開校記念式典(皇紀2600年)。 <sup>231</sup>	長会議)。 <sup>735</sup>
1940/11/3	昭和15年 四高、北辰報国団結団式を挙行(従来の北辰会は解散)。 <sup>253・(183)・(254)</sup>	
1940/11/10	昭和15年 四高講堂で紀元2600年記念式典を挙行。 <sup>255</sup>	
1940/11/30	昭和15年 金沢高等工業学校報国団を結成。 <sup>231・(247)</sup>	*大政翼賛会石川県支部結成。 <sup>208</sup>
1940/12/**	昭和15年 四高至誠会(教育勅語渙発50周年並びに紀元2600年記念事業遂行機関)設立。 <sup>256</sup>	*北陸・石川県下に大雪。 <sup>183</sup>
1940/冬/**	昭和15年	
1940/**/**	昭和15年	
1941/2/8	昭和16年	文部省、青少年学徒食糧増産運動実施要項を通達。 <sup>736</sup>
1941/3/1	昭和16年 石川県師範学校及び石川県女子師範学校の附属小学校は、それぞれ附属国民学校と改称。 <sup>257</sup>	国民学校令公布(小学校令を改定)。 <sup>737</sup>
1941/4/1	昭和16年	小学校が国民学校と改称。 <sup>15</sup>
1941/4/6	昭和16年 滋賀県今津町から大津にむかった四高短艇部のポート部員8人、OB3人が行方不明となる。 <sup>15・258・(183)・(204)</sup>	
1941/5/10	昭和16年 行方不明の四高短艇部員のうち4人の遺体が発見。四高北辰報国団合同慰霊祭が四高講堂で挙行。 <sup>15・(204)・(258)</sup>	
1941/5/20	昭和16年 四高生2名の遺体が更に発見された。 <sup>204</sup>	
1941/5/31	昭和16年 遭難した四高生2名の死体は引き上げられたが、尚2名残る。 <sup>204</sup>	
1941/5/**	昭和16年 四高生新聞記事事件起こる(四高生が酒に乗じて一般市民を殴ったと読売新聞が報道。記事は事実無根とわかり新聞社が謝罪)。 <sup>259</sup>	
1941/6/10	昭和16年 遭難した四高短艇部員の最後の遺体発見。 <sup>15・204・258</sup>	
1941/7/23	昭和16年 石川県師範学校で、傷痍軍人国民学校初等科準訓導石川養成所の終了式が行われ、18名が卒業した。 <sup>204</sup>	
1941/8/8	昭和16年	文部省、報国隊結成に関する訓令を出す。 <sup>736・738</sup>
1941/9/11	昭和16年 金沢高等工業学校報国隊結成式を挙行。 <sup>260</sup>	
1941/9/**	昭和16年 四高、校門鉄扉を献納。 <sup>261</sup>	
1941/9/**	昭和16年 四高国民貯金組合を設立。 <sup>261</sup>	
1941/10/10	昭和16年 四高報国隊結成式を挙行。 <sup>254・262</sup>	
1941/10/16	昭和16年	大学学部等の在学年限の昭和16年度臨時短縮に関する省令公布(大学学部、専門学校等の修業年限を昭和16年度に卒業すべき者については3ヶ月短縮)。 <sup>739</sup>
1941/11/1	昭和16年	大学学部等の在学年限の昭和17年度臨時短縮に関する省令公布(大学学部・予科、高等学校、専門学校等の修業年限を昭和17年度に卒業すべき者については6ヶ月短縮。一部の実業学校の修業年限を同年度に卒業すべき者について3ヶ月短縮)。 <sup>739</sup>
1941/11/22	昭和16年 四高では、遭難学生の記念として、滋賀県大溝町萩の浜街道に桜樹を植えることとなり、その緻入式を挙行。 <sup>204</sup>	
1941/12/8	昭和16年	真珠湾攻撃、太平洋戦争開始。 <sup>656</sup>
1941/12/13	昭和16年 金沢高等工業学校、対米英宣戦布告に関する詔書奉読式を挙行。 <sup>260</sup>	
1941/12/26	昭和16年 三ヶ月繰上げ卒業による、金沢医科大学、薬学専門部、金沢高等工業学校、各種実業	



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1941/12/**	昭和16年	<p>国民勤労報国協力令施行規則に基づく学徒動員命令が出る。 739</p> <p>*大日本婦人会石川県支部結成。 208</p> <p>高等学校規程の臨時措置により、高等学校高等科の修業年限を2年6ヶ月とし、臨時教授要綱を制定。 271・(254)</p> <p>師範学校の専門学校昇格、高等学校での古典科、経理科重視、中等学校での滑空科の正科化などが実施。 15</p> <p>*金沢航空機工業設立。 208</p> <p>大東亜建設審議会、大東亜建設に処する文教政策を決定。 656・740・743</p> <p>*石川県内すべての女学校で英語の授業が廃止。 15</p> <p>中学校・高等学校学年短縮案要綱を閣議決定（修業年限を中学校4年、高等学校2年とする）。 739</p> <p>大学学部等の在学年限の昭和18年度臨時短縮に関する省令公布(大学学部・予科、高等学校、専門学校等の修業年限を昭和18年度に卒業すべき者については6ヶ月短縮等)。 741</p> <p>大学令を改定（大学予科の修業年限を2年とする）。 741</p> <p>高等学校令を改定（高等科の修業年限を2年とする）。 741</p> <p>専門学校令を改定（実業専門学校を専門学校に統一）。 741</p> <p>師範学校規程を制定。 741</p> <p>青年学校教員養成所規程を改定（修業年限を3年とする）。 742</p> <p>高等学校規程を改定。教授と修練の一体化、国土練成と24時間教育実施（生活習慣を通して尊皇精神を指導）。 744・745</p>
1941/12/**	昭和16年	
1941/12/27	昭和16年	
1941/**/**	昭和16年	
1942/1/9	昭和17年	
1942/1/13	昭和17年	
1942/1/31	昭和17年	
1942/2/25	昭和17年	
1942/3/**	昭和17年	
1942/3/30	昭和17年	
1942/4/1	昭和17年	
1942/4/22	昭和17年	
1942/5/21	昭和17年	
1942/5/21	昭和17年	
1942/7/10	昭和17年	
1942/8/21	昭和17年	
1942/11/25	昭和17年	
1942/11/**	昭和17年	
1942/12/**	昭和17年	
1943/1/21	昭和18年	
1943/1/21	昭和18年	
1943/1/21	昭和18年	
1943/3/8	昭和18年	
1943/3/23	昭和18年	
1943/3/31	昭和18年	
1943/3/31	昭和18年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1943/4/1	昭和18年 石川県師範学校と石川県女子師範学校が合併、石川師範学校男子部、女子部を設置。官立専門学校として新発足する。附属国民学校も男子部、女子部附属となる。 <small>264・272・(15)</small>	
1943/4/11	昭和18年 四高野球部は、学徒即強兵の建前により解散することになり金沢野球倶楽部と解散試合を行う。 <small>15・264</small>	
1943/6/25	昭和18年	学徒戦時動員体制確立要綱を閣議決定。 <small>742</small>
1943/9/15	昭和18年	*金属非常回収始まる。 <small>208</small>
1943/9/24	昭和18年 新制石川師範学校開校記念式を挙行。 <small>264</small>	学生生徒の徴兵猶予停止（文科系学生の一斉入営）。 <small>742</small>
1943/10/2	昭和18年	教育に関する戦時非常措置方策を閣議決定。 <small>742</small>
1943/10/12	昭和18年	神宮外苑競技場で学徒出陣壮行会が開催。 <small>656</small>
1943/10/21	昭和18年	
1943/11/13	昭和18年 四高、金沢医科大学、金沢高等工業学校、石川師範学校四校の入隊生徒を送る出陣学徒壮行大会が四高の校庭で挙行。 <small>15・274</small>	
1943/11/25	昭和18年	大学学部等の在学年限の昭和18年度臨時短縮に関する省令公布（大学・高等学校等は6ヶ月、一部の実業学校は3ヶ月短縮）。 <small>742</small>
1943/12/1	昭和18年 出陣学徒達が金沢師団の各部隊に入隊。 <small>15</small>	*石川県下商業学校の戦時転換が決定、次年度より実施。金沢商業は存続、小松商業は農学校に、七尾商業、金沢市立商業は工業学校に転換。 <small>15</small>
1943/12/3	昭和18年	
1943/12/15	昭和18年 明年度から、県立青年学校教員養成所が官立専門学校に昇格することになった。 <small>264</small>	
1944/1/18	昭和19年	緊急学徒勤労働員方策要綱を閣議決定。勤労働員は教育の一環から勤労即教育へ。 <small>742・747</small>
1944/2/4	昭和19年	学徒軍事教育強化要綱を決定。 <small>745</small>
1944/2/4	昭和19年	文部省、大学・高等専門学校の軍事教育強化方針を発表（航空訓練・機甲訓練・軍事学・兵器学・軍事医学を教習）。 <small>656</small>
1944/2/17	昭和19年	師範教育令中改正。従来からの青年学校教員養成所を官立に移管し、修業年限3年の青年師範学校を創設。 <small>742</small>
1944/3/7	昭和19年	「決戦非常措置要綱二基ク学徒動員実施要綱」を閣議決定（中等学校以上、原則として通年動員実施）。 <small>746</small>
1944/3/11	昭和19年 学徒動員実施要綱により、四高及び石川師範学校に出動令書が交付。 <small>275</small>	
1944/3/23	昭和19年	青年師範学校規程を制定。 <small>746</small>
1944/4/10	昭和19年 金沢高等師範学校開設。 <small>264</small>	
1944/4/10	昭和19年 石川県立青年学校教員養成所と石川県立女子青年学校教員養成所を合併し、石川県青年師範学校開校。 <small>264・275・276</small>	
1944/4/16	昭和19年 金沢高等師範学校入学考査を実施。 <small>277</small>	
1944/4/**	昭和19年 金沢高等工業学校を金沢工業専門学校に改称（ <small>146</small> では1944/4/1となる）。 <small>146・263・275・280</small>	
1944/4/**	昭和19年 金沢工業専門学校に第2機械工学科を増設、既設の各科とも増員す（ <small>146</small> では1944/4/1となる）。 <small>146・281</small>	
1944/4/**	昭和19年 粟ヶ崎血盟事件起こる（寮に掲げられている「自治」の額が撤去されていることに四	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1944/4/** 1944/5/8 1944/6/15 1944/6/30	昭和19年 昭和19年 昭和19年 昭和19年	
1944/8/23	昭和19年	*第九師団、沖縄に移駐命令。 <sup>208</sup> 国民学校初等科児童の疎開促進について閣議決定。 <sup>748</sup> 学徒勤労令・学徒勤労令施行規則を公布(学校報国隊を組織)。 <sup>746</sup>
1944/8/30	昭和19年	*石川県下中学校生徒は稲刈奉仕のため農村に出動。 <sup>15・276</sup>
1944/9/6	昭和19年	
1944/9/16 1944/9/18	昭和19年 昭和19年	*石川県女子挺身隊壮行会挙行。 <sup>208</sup> *大阪市からの疎開児童第1陣が金沢に到着。瓢箪、此花、金石、十一屋の国民学校で受入れ。 <sup>15</sup>
1944/10/19	昭和19年	
1944/10/22	昭和19年	*石川県下の大学高専中等学校の教練査閲は、各勤労の駐工場で22日から施行された。 <sup>264</sup>
1944/11/15	昭和19年	*石川県下中学校低学年及び国民学校高等科の生徒、児童は工場へ出動開始。 <sup>15</sup> *第九師団、台湾に移駐命令。 <sup>208</sup>
1944/11/17 1944/11/25	昭和19年 昭和19年	動員学徒援護事業要綱を閣議決定。 <sup>749</sup>
1944/12/19 1944/**/** 1945/1/15	昭和19年 昭和19年 昭和20年	東京大空襲。 <sup>656</sup> 決戦教育措置要綱を公布(国民学校初等科を除き学校における授業を原則として4月1日から1年間停止)。 <sup>750</sup>
1945/3/9 1945/3/18	昭和20年 昭和20年	*石川県にはじめて米軍B29機飛来。 <sup>208</sup> *決戦教育措置要綱により国民学校を除き学校の授業を1年間停止、学徒の決戦業務への総動員を決定。 <sup>15</sup> *石川県学徒義勇隊結成式を挙行。 <sup>283</sup>
1945/4/**	昭和20年	
1945/4/1	昭和20年	
1945/4/6 1945/4/14	昭和20年 昭和20年	*石川県にはじめて米軍B29機飛来。 <sup>208</sup> *決戦教育措置要綱により国民学校を除き学校の授業を1年間停止、学徒の決戦業務への総動員を決定。 <sup>15</sup> *石川県学徒義勇隊結成式を挙行。 <sup>283</sup>
1945/4/15 1945/4/** 1945/7/**	昭和20年 昭和20年 昭和20年	*動員学徒援護会石川県支部が発足。 <sup>15</sup> *空襲情勢の緊迫化により、金沢、小松、七尾の旧町内全国民学校の授業停止が発令。 <sup>15・283</sup> 広島に原子爆弾投下。 <sup>656</sup> 長崎にも原子爆弾投下。
1945/7/1 1945/7/21	昭和20年 昭和20年	
1945/8/6 1945/8/9	昭和20年 昭和20年	建物疎開の着工が進められているが、金沢医科大学、四高も自発的に建物疎開を行う

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1945/8/14 1945/8/15	昭和20年 昭和20年	ポツダム宣言受諾、日本無条件降伏。 <sup>656</sup> 文部省、「終戦二関スル件」を発表。教 学の再建を訓令。 <sup>749・751</sup> 学徒動労動員解除。 <sup>749</sup>
1945/8/16 1945/8/24	昭和20年 昭和20年	軍事教育、戦時体錬、学校防空関係の訓 令など19法令の廃止が通牒。 <sup>752・753</sup> 学校授業再開について通達。 <sup>752・753</sup>
1945/8/28 1945/8/** 1945/9/**	昭和20年 昭和20年 昭和20年	金沢医科大学十全医学会を設立。 <sup>6・265</sup> 金沢工業専門学校、繰上げ卒業生335名を 社会へ。 <sup>263</sup>
1945/9/15	昭和20年	文部省、新日本建設ノ教育方針を発表 (これにより戦時教育体制を一掃し、平 時教育に復する措置がとられた)。 <sup>749・752</sup>
1945/9/** 1945/10/3	昭和20年 昭和20年	*七尾で中国人労働者、警察署を襲撃。 <sup>208</sup>
1945/10/6 1945/10/12 1945/10/22 1945/10/22	昭和20年 昭和20年 昭和20年 昭和20年	戦時教育令を廃止。 <sup>749</sup> *第1回現代美術展開会。 <sup>208</sup> *占領軍軍政隊、石川県に到着。 <sup>208</sup>
1945/10/27 1945/10/30	昭和20年 昭和20年	GHQ(連合国軍最高司令部)、「日本教 育制度二対スル管理政策」を指令(教授 内容の改訂、教育者の調査追放等)。自 由主義、民主主義を促進する方針が打ち 出された。 <sup>754・755</sup> *伊藤謹二、石川県知事に就任。 <sup>15・264</sup>
1945/10/** 1945/11/7	昭和20年 昭和20年	GHQ、「教員及び教育関係官ノ調査、除 外、認可二関スル件」を指令(軍国主義 者、極端な国家主義者を追放、復員軍人 の教職従事停止、教職適格審査機関の設 置等)。 <sup>754</sup>
1945/11/14 1945/11/19	昭和20年 昭和20年	四高、戦後初の記念祭挙行。 <sup>278</sup> 金沢高等師範学校が食糧難のため臨時休 校。 <sup>15・264・279</sup>
1945/11/30 1945/12/4	昭和20年 昭和20年	四高、校長排斥問題起こる。旧態を保持す る学校当局に対して、四高生徒大会で「校 長排斥」と「時習寮の自治」を決議。 <sup>284</sup> 金沢工業専門学校は食糧事情のため19日か ら10日間臨時休校をすることになった。 <sup>264・(15)</sup>
1945/12/8 1945/12/**	昭和20年 昭和20年	四高北辰会復活。 <sup>285</sup>
1945/12/** 1946/2/23	昭和20年 昭和21年	女子教育刷新要綱を閣議決定(女子に高 等教育機関を開放、男女共学制の実施)。 <sup>754</sup>
1946/2/** 1946/冬/**	昭和21年 昭和21年	時習寮自治復活祭が無声堂で挙行。 <sup>286</sup> 石川県通常県会において北陸総合大学誘致 に関する希望的意見を開陳し、県会終了後 伊藤知事より文部次官に要望了解を求め た。 <sup>139・287</sup>
1946/4/11	昭和21年	金沢工業専門学校、燃料難と食料不足の深 刻さに12月から翌年2月まで長期休業とす る。 <sup>263</sup>
		中等学校令等改正(中等学校5年制、高 等学校及び大学予科3年制復活)。 <sup>756</sup>
		*石川県下初の女性代議士米山久当選。 <sup>208</sup>
		四高、修業年限三年制に復活。 <sup>288</sup> 四高生徒、校長不信任、北辰会自治の確立 を決議(学國民主化、生徒の経済的困窮状 況をめぐって対立)。 <sup>289</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1946/4/13	昭和21年 金沢で北陸総合大学設置期成同盟会の準備相談会を開催。 <sup>264</sup>	
1946/4/**	昭和21年 金沢工業専門学校に精密機械科を新設。合計9学科となる。 <sup>146・290</sup>	
1946/4/**	昭和21年 北辰会自治確立。 <sup>278</sup>	
1946/4/**	昭和21年 四高、軍関係学校入学をめぐり紛糾・入学延期。 <sup>278</sup>	
1946/4/27	昭和21年 四高職員、後任校長への要望を記した建言書を文部大臣安部能成に提出。 <sup>291</sup>	
1946/4/30	昭和21年 北陸総合大学設置を意図として期成同盟会を設立の機運が熟し、増本石川県内務部長は石川軍政部を訪問、その援助を求めた。 <sup>139・(287)</sup>	
1946/5/1	昭和21年 北陸総合大学設置期成同盟会が発足。 <sup>6・15・292・293</sup>	*復活メーデー開催。 <sup>208</sup>
1946/6/22	昭和21年 第90回議会に金沢市の「北陸帝国大学設置に関する建議案」を提出。 <sup>139</sup>	*金沢学生連盟を結成。 <sup>264</sup>
1946/8/12	昭和21年 四高時習寮第34回記念祭挙行。 <sup>264</sup>	
1946/9/6	昭和21年 金沢工業専門学校25周年開校記念式典、盛大に挙行。 <sup>295</sup>	文部省、学生の政治運動禁止を表明。 <sup>756</sup>
1946/10/**	昭和21年 四高時習寮第34回記念祭挙行。 <sup>264</sup>	文部省、男女共学実施について指示。 <sup>757</sup>
1946/10/9	昭和21年 日本国憲法公布。 <sup>656</sup>	
1946/10/26	昭和21年 *金沢美術工芸専門学校開校。 <sup>208</sup>	
1946/11/3	昭和21年 *石川県教育会が発足。 <sup>15</sup>	
1946/11/7	昭和21年 教育基本法・学校教育法公布。国民学校令、中等学校令、師範教育令、大学令等廃止。 <sup>(758)・(759)</sup>	
1947/2/17	昭和22年 石川師範学校男子部及び女子部の附属国民学校が附属小学校に改称。 <sup>296</sup>	
1947/3/31	昭和22年	
1947/4/1	昭和22年	
1947/4/6	昭和22年 *柴野和喜夫、初の公選知事となる。 <sup>208・264</sup>	
1947/4/6	昭和22年 *井村重雄が金沢市長に当選。 <sup>15・264</sup>	
1947/4/11	昭和22年 GHQ、日本の教育制度刷新に関する極東委員会の指令を発表(4/8指令)。 <sup>758</sup>	
1947/5/4	昭和22年 金沢工業専門学校の大学昇格期成同盟会結成なる。 <sup>264・(295)</sup>	
1947/5/11	昭和22年 金沢医科大学開学25周年記念会を挙行。 <sup>6・292</sup>	
1947/5/23	昭和22年 学校教育法施行規則を制定。 <sup>760</sup>	
1947/5/**	昭和22年 暁烏文庫設立運動開始。	
1947/6/30	昭和22年 第1回国会衆議院に金沢市に北陸総合大学設立の請願書を提出。 <sup>297・(278)</sup>	
1947/7/8	昭和22年 北陸総合大学設置期成同盟会では、小委員会で具体的構想がなったので、昭和24年度開学を目標として努力することになった。 <sup>264</sup>	大学基準協会創立。大学基準を決定。 <sup>760</sup>
1947/7/17	昭和22年	
1947/7/29	昭和22年 *金沢教務所管内の僧侶・門徒代表によって、金沢城址の払下げをうけ、真宗大谷派の北国大学建設計画が進められている。 <sup>264</sup>	
1947/8/18	昭和22年 *金沢市東別院で真宗門末大会が開かれ、北国宗教大学建設のために邁進することを決議。 <sup>264</sup>	
1947/8/22	昭和22年 *石川県松任で第2回国体(夏季)開催。 <sup>15・264・306</sup>	
1947/8/29	昭和22年 金沢医科大学結核研究所が、金沢市泉本町	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1947/夏/** 1947/9/21	昭和22年 昭和22年 に開設し、結核診療所は診療を開始。 <sup>264</sup> 四高バレーボール部優勝。 <sup>298</sup> 金沢工業専門学校26周年記念の行事が、21日から4日間開催。 <sup>264</sup>	<p>政令によって帝国大学を国立総合大学に改める。<sup>761</sup> *北陸巡幸中の昭和天皇、来県。<sup>306</sup></p> <p>大学設置委員会を設置（新制大学設置の審査機関）。<sup>656</sup></p> <p>各官立医学専門学校を医科大学に昇格。<sup>762</sup></p> <p>大学設置委員会、大学設置基準を答申（新制大学設置認可の基準決定）。<sup>763</sup></p> <p>*北国宗教大学設立構想は不成立となった。<sup>264</sup></p> <p>文部省、官立大学高等専門学校授業料3倍値上げを発表。<sup>763</sup> 住民から教育宝くじが町内会や部落会を通じて強制販売されているとの批判が出る。<sup>15</sup> *学制改革により新制公立高校が発足。<sup>15</sup> 教育刷新委員会、大学の自由及び自治の確立について建議。<sup>763</sup> 石川軍政部は教育宝くじの強制販売を禁止。<sup>15</sup></p>
1947/9/**	昭和22年	
1947/10/26 1947/10/29	昭和22年 昭和22年 昭和天皇、第2回国体に臨席の途次、金沢工業専門学校に行幸。学内の若い学徒の研究、実験を視察。 <sup>146・299</sup>	
1947/10/** 1947/11/4	昭和22年 昭和22年 四高創立60周年記念式挙行。 <sup>278・298</sup> 教育基本法、学校教育法の公布に伴い、北陸総合大学期成同盟会を解消し、北陸総合大学設立準備委員会が石川県関係限りのものとして設置。 <sup>297・300・(6)・(292)</sup>	
1947/12/3	昭和22年 石川県軍政隊長から、知事あてに金沢大学を設置することを条件に、金沢城跡を下げ渡す旨の指示があった。 <sup>297・301・(6)・(292)</sup>	
1947/12/6	昭和22年 金沢城跡の敷地が北陸総合大学建設地に確定。 <sup>15・264</sup>	
1947/12/22	昭和22年 石川県知事より金沢城跡を使用して国立の総合大学設立の具体的計画の発表。 <sup>297</sup>	
1947/12/30	昭和22年 北陸総合大学設立準備委員会の初顔合わせが行われ、大学創設事業に関し協議。 <sup>297</sup>	
1948/1/15	昭和23年	
1948/1/17 1948/2/10	昭和23年 昭和23年 北陸大学設立要項を文部省に提出。 <sup>297</sup>	
1948/2/23	昭和23年	
1948/2/28	昭和23年	
1948/3/3	昭和23年 北陸大学設立準備委員会では、法文学部・医学部・薬学部・工学部・理学部・教育学部を昭和24年度におくことに決定。 <sup>264</sup>	
1948/3/25	昭和23年 文部省に大学設置促進方陳情、この際文部省より、美術、農の両学部を除いた医、薬、工、理、法文、教育の6学部編成を以って、創設事業を推進するよう指示。 <sup>6・292・297・302</sup>	
1948/4/10	昭和23年 金沢大学の設立資金を捻出するため、石川県が初めて発行した教育宝くじが県下一斉に発売。 <sup>15</sup>	
1948/4/12	昭和23年	
1948/4/13	昭和23年	
1948/4/15 1948/4/17	昭和23年 昭和23年	
1948/4/23	昭和23年	
1948/4/25 1948/4/**	昭和23年 昭和23年 『時習寮史』発刊。 <sup>303・(298)</sup> 金沢医科大学附属医院厚生女学部の修業年限3年を2年に改正。また、高等女学校卒の入学者で修業年限を3年とした甲種看護婦養成を開始。 <sup>304</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1948/4/** 1948/5/7	昭和23年 金沢高等師範学校附属高等学校開校。 <sup>305</sup> 昭和23年 金沢城跡で北陸大学校舎建設工事が進行。 <sup>15</sup>	
1948/5/10 ~ 16	昭和23年 第1回大学設置促進週間が実施され、展覧会、街頭宣伝、ポスター貼布等を行う。また教育宝くじ1,500万円を発売。 <sup>297・300</sup>	
1948/5/11	昭和23年 北陸大学設立準備委員会は、新設大学の名称を「金沢大学」と決定。 <sup>15・264</sup>	
1948/5/11	昭和23年 金沢大学設立準備会発足。 <sup>306</sup>	
1948/5/14	昭和23年 北陸総合大学設立準備委員会の名称を北陸総合大学実施準備委員会と改称。 <sup>6・292・297・307・(300)</sup>	
1948/5/15	昭和23年 教育宝くじの抽選会が四高講堂で実施。 <sup>15</sup>	
1948/5/28	昭和23年 準備委員会東京支部結成式を挙行。 <sup>297</sup>	
1948/6/2	昭和23年 5月31日付けをもって、「北陸大学設置認可申請書」を正式に準備委員長柴野和喜夫及び関係学校長連署をもって、文部大臣森戸辰男あてに提出。 <sup>300・307・308・(297)</sup>	
1948/6/22	昭和23年	文部省国立大学設置案を決定発表（国立大学70校、県単位1校を基準に、旧制大学・高等専門学校を統合）。 <sup>303・763</sup>
1948/6/26	昭和23年 授業料値上げ反対を含む教育復興闘争のため、四高が24日の自治会執行委員会決議に基づきストライキに突入。スト不参加の金沢医科大学、薬学専門部、金沢工業専門学校、金沢高等師範、石川青年師範、石川師範の各校は師範女子部講堂で教育復興決起学生大会を開催。 <sup>15・(278)</sup>	
1948/7/10	昭和23年 「北陸大学実施準備委員会」を「金沢大学実施準備委員会」と改称。 <sup>297・300</sup>	
1948/7/15	昭和23年	CIE、大学法試案要綱を作成（米国の州立大学管理方式を示唆）。 <sup>656</sup>
1948/7/31	昭和23年 金沢城内の大学本部の改造工事が完了。 <sup>297</sup>	
1948/8/7	昭和23年 金沢大学実施準備委員会関西支部結成式が挙行。 <sup>297</sup>	
1948/8/10	昭和23年 金沢医科大学理診科では、片山津と中宮とに温泉治療研究所を設けることになる。 <sup>264</sup>	
1948/8/20	昭和23年 金沢医科大学十全医学会が設立。 <sup>15・264</sup>	
1948/8/**	昭和23年 金沢城内寄宿舎、食堂、炊事場、浴場等の改造工事が完了。 <sup>297</sup>	
1948/9/18	昭和23年	全日本学生自治会総連合（全学連）結成大会開催。 <sup>762</sup> *前田家文献、金沢市に寄贈。 <sup>306</sup> 学生の政治運動について文部省通達。 <sup>764</sup>
1948/9/20	昭和23年	
1948/10/8	昭和23年	
1948/11/21 ~ 26	昭和23年 第2回大学設置週間が実施され、展覧会、駅伝競走、講演会、ラジオ放送、大学の夕、音楽コンクール等を行う。 <sup>297</sup>	
1948/12/12	昭和23年 金沢大学設立準備状況調査のため、総司令部の教育顧問イールズ博士が来沢。 <sup>15・264</sup>	
1948/12/13	昭和23年 GHQより大学法の説明あり、教育学部を金沢城内に移すよう勧告。 <sup>297</sup>	
1948/12/25	昭和23年	国立新制大学を昭和24年度から開校することを閣議決定。 <sup>764</sup>
1949/1/12	昭和24年	教育公務員特例法公布（国公立学校の教員などの任免・服務など規程）。 <sup>656・(764)</sup> 学会会議第1回総会開催。 <sup>656</sup>
1949/1/20	昭和24年	
1949/1/21	昭和24年 名古屋軍政隊ジョンソン氏より教育学部移転について再度勧告。 <sup>297・309</sup>	
1949/1/31	昭和24年	新制大学、専門学校進学適性検査を全国

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1949/2/11	昭和24年	一斉に実施。 <sup>765</sup> *新年度から県立高校は総合学科制、男女共学、学区制を採用。通学区域は教委協議会で成案される。 <sup>15</sup>
1949/2/16 1949/3/5	昭和24年 昭和24年	第3次吉田内閣成立。 <sup>656</sup> 大学法対策全国協議会結成(教授・大学教組・学生自治会の全国統一組織)。 <sup>656</sup>
1949/3/7 1949/3/16	昭和24年 昭和24年	金沢高等師範学校の3棟が焼失。 <sup>264</sup> 大学設置委員会において、教育・医・工・理・薬・法文の各学部をおく金沢大学設立が正式に決定(264では1949/3/18となる)。 6・292・(264)
1949/4/12 1949/5/7	昭和24年 昭和24年	大学基準協会、大学院基準を決定。 <sup>766</sup> 全学連、国立学校設置法案・教育職員免許法案等に反対して同盟休校(6/3加盟357校に指令)。 <sup>766</sup>
1949/5/9	昭和24年	金沢城内一般教養部A棟、教官宿舍、一般教養部8棟改造工事が完了。 <sup>309</sup>
1949/5/16	昭和24年	四高や金沢医科大学などの学生自治会からなる県学連が、教育防衛大会を開催、大学2法案反対を決議後、金沢市内をデモ行進。翌17日、四高の学生自治会が波状ストライキを実施。 <sup>15・264・308・310</sup>
1949/5/18 1949/5/31 1949/5/31	昭和24年 昭和24年 昭和24年	学校教育法改正(短期大学成立)。 <sup>767</sup> 文部省設置法公布。 <sup>767</sup> 国立学校設置法を公布。新制国立大学69校を各都道府県に設置。 <sup>768</sup>
1949/5/31	昭和24年	金沢大学が発足。法文学部、教育学部、理学部、医学部、薬学部及び工学部の6学部が置かれ、大学本部を金沢市大手町1番地金沢城址内に置いた。また、附置施設として、結核研究所、附属図書館、附属学校、病院、厚生女学部が置かれることになった。同時に四高、石川師範学校、石川青年師範学校、金沢高等師範学校、金沢医科大学、金沢医科大学附属医学専門部、金沢医科大学附属薬学専門部及び金沢工業専門学校が包括。 <sup>6・292・309・311・312・313・(307)</sup>
1949/5/31	昭和24年	金沢医科大学附属病院を金沢大学医学部附属病院に改称。 <sup>6・292</sup>
1949/6/9	昭和24年	金沢大学実施準備委員会を解散。 <sup>309・314・(278)</sup>
1949/6/15	昭和24年	金沢大学教養部で最初の入学試験実施。 <sup>6・314・(315)</sup>
1949/6/18	昭和24年	金沢大学協議会を設置。 <sup>309・316</sup>
1949/6/22	昭和24年	国立学校設置法施行規則の公布により、本学の職種別定員を制定。 <sup>316</sup>
1949/6/22 1949/6/29	昭和24年 昭和24年	金沢大学、初の入学者氏名発表。 <sup>264・317</sup>
1949/6/**	昭和24年	医学部教授久留勝「脊髄後角内における温度覚伝導に関する細胞群の決定に関する研究」により日本学士院賞を受賞。 <sup>309・318</sup>
1949/7/6 1949/7/12	昭和24年 昭和24年	下山事件。 <sup>656</sup> 短期大学設置認可基準作成委員会を設置。 <sup>767</sup>
1949/7/15 1949/7/19	昭和24年 昭和24年	三鷹事件。 <sup>656</sup> CIE顧問イールズ、共産主義教授の排除



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1949/7/25	昭和24年 金沢大学開学。第1回入学式を挙行し、816名の入学を許可(313では1949/7/26に開学式挙行とある)。 6・15・264・306・313・314・316・318・(317)	を勧告。766
1949/8/17 1949/9/1 1949/9/1	昭和24年 昭和24年 昭和24年 金沢大学の授業が開始。264・316・318・319	松川事件。656  *真宗大谷派では北陸宗教大学の代わりに、金沢城内に蓮如上人四百五十回忌記念として、文化会館を建設せんとしていたが、金詰りのためにこれも中止。264
1949/9/2	昭和24年 本学バッジを制定。四角横型銅色ブロンズ仕上げの地金にアカンサスの葉をおき、大学なる文字を金色に配する。320	
1949/9/20	昭和24年 金沢大学の学生自治会準備会が、左派系の社会文化サークルに牛耳られているのを排するなど、反同盟結成の動きがあらわれる。264	
1949/9/22	昭和24年 戸田正三が金沢大学初代学長に就任。 318・322・(316)・(321)	
1949/10/1 1949/10/3	昭和24年 昭和24年 金沢大学で共産党金大細胞の名で、教育施策を批判するピラがまかれる。264	中華人民共和国成立宣言。656
1949/10/10	昭和24年	学術会議、政党所属を理由とする教員解職は不当を声明。766 *七尾朝鮮人学校閉鎖。15
1949/10/19 1949/10/22	昭和24年 昭和24年	大学教授連合、学問の自由と大学教授の地位について声明(レッドパージ反対声明)。769
1949/10/26 ~28	昭和24年 四高最後の開校記念祭(第61回)が開催。 319・(15)	
1949/11/3 1949/11/7 1949/12/19	昭和24年 昭和24年 昭和24年 金沢大学開学記念式典を挙行。316・318 反共を掲げて全国の大学を講演しているGHQ最高顧問のイールズ博士が金沢大学で学問の自由と共産主義をテーマに講演、左翼の教官を追放するよう訴える。15・(314)	湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞決定。656
1950/2/1	昭和25年 四高の時習寮が閉鎖。15・264	
1950/3/25	昭和25年 四高最後の卒業式(第62回)を挙行。 15・306・323	
1950/3/28 1950/3/28 ~29	昭和25年 昭和25年 金沢城跡を金沢大学に移管。306 四高閉校を記念して四高図書館で蔵書展を開催。324	
1950/3/31	昭和25年 四高を廃止。325・(278)・(298)・(318)	
1950/4/1	昭和25年	*金沢女子専門学校が金沢女子短期大学に昇格。15
1950/4/5	昭和25年	*金沢美術工芸専門学校が金沢美術工芸短期大学に昇格。15
1950/4/5	昭和25年	*私立北陸学院に北陸学院保育大学を設置。15
1950/4/29	昭和25年 附属図書館構内に「暁烏文庫」竣工、開館式典を挙行。318・325	
1950/4/** 1950/春/** 1950/5/10	昭和25年 昭和25年 昭和25年 金沢医科大学最後の入学式挙行。6・314 東京四高会発足 各地で四高会できる。298 石川門は大蔵省から金沢大学に移管と決定。 264	
1950/5/16 ~18	昭和25年 金沢大学の入学式で戸田学長が、学生の政治運動を批判、学生自治会側は反発を強める。15	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1950/5/30 1950/6/17	昭和25年 昭和25年 金沢大学通則を制定。 318・325・326	文部省、学生の政治集会デモ参加禁止を 通達。 770 朝鮮戦争始まる。 656
1950/6/25 1950/6/28 1950/7/13 1950/7/13	昭和25年 昭和25年 昭和25年 昭和25年 共産党員の金大生逮捕。 15 反米運動の疑いで金沢大学慣真寮が警察に 捜査されたことに対して、金沢大学学生有 志が金沢市警察本部に集まり抗議。 15 金沢大学に暁烏文庫協力を結成。 264	国立大学協会創立。 771
1950/8/1 1950/8/31	昭和25年 昭和25年	*図書館設置条令で石川県立図書館が石 川県中央図書館となる。 15 公務員のレッドパージを閣議決定。 770
1950/9/1 1950/9/1	昭和25年 昭和25年 教育学部に教職員通信教育講座が開設。 318・325	全学連、レッドパージ反対運動を開始。 771
1950/9/**	昭和25年	
1950/10/7	昭和25年 金沢大学管弦楽団（現在の金沢大学フィル ハーモニーの前身）第1回発表会が開催。 15	
1950/10/8	昭和25年 金沢大学建設に県が3年間に8,500万円支出 の予定が実際には3,500万円しか出ず、大 学側は困窮。 264	
1950/10/28	昭和25年 金沢大学はレッドパージ反対運動の学生8 人を退学処分などにした。 15・264	
1950/12/2	昭和25年 警察予備隊使用移管に伴い、金沢市野田町 の金沢高等師範学校を理学部校舎内に、同 附属学校を同地金沢市立野田中学校々舎内 に移転し、授業を開始した。 318・325	
1950/12/18	昭和25年 金沢大学は旧本丸跡に中央図書館を新築す ることに決定。 264	
1951/1/29	昭和26年	*真宗大谷派（東本願寺）の臨時宗議会 で、宗務総長に暁烏敏が推挙。 15
1951/2/13	昭和26年 金沢医科大学附属医院厚生女学部を金沢大 学医学部附属看護学校に改称。 327・(6)・(318)・(328)	
1951/3/10	昭和26年 金沢工業専門学校、最後の卒業式を挙行。 280	
1951/3/17	昭和26年 石川師範学校閉校式を挙行。 15・280・306・(326)	
1951/3/17	昭和26年 教育学部乙類（2年制）第1回修了式を挙行 し、104名修了した。 318・327	
1951/3/27	昭和26年 第1回医学専門課程の入試施行。 6・328	
1951/3/31	昭和26年 石川師範学校、石川青年師範学校、金沢工 業専門学校、金沢医科大学附属薬学専門部、 金沢医科大学附属医院厚生女学部及び助産 婦養成所が廃止。石川師範学校及び石川青 年師範学校の附属学校が教育学部附属小学 校・中学校・幼稚園となる。 146・264・295・327・(6)・(318)・(328)・(329)	
1951/4/1 1951/4/16 1951/6/11	昭和26年 昭和26年 昭和26年 金沢大学医学部附属看護学校設置。 330 金沢大学がアイソトープ研究A級大学に指 定。 264	マッカーサー離日。 656
1951/6/22	昭和26年	教職員の除去、就職禁止等に関する政令 を改正し、教職員適格再審査会令を制定。 772
1951/6/22 1951/9/8	昭和26年 昭和26年	大学入学資格検定規程を制定。 772 対日平和条約調印・日米安全保障条約調 印。 656
1951/9/19	昭和26年	*石川県労働組合評議会結成。 306

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1952/1/25 1952/1/29	昭和27年 昭和27年	<p>*旧金沢城跡の遊歩道路が完成した。<sup>264</sup>            全学連、大学の授業料値上げ等反対のため、国会に請願運動。<sup>773</sup>            東京大学で「ボボロ事件」起こる(学内劇団ボボロ座公演会場に潜入した警官つるし上げ事件)。<sup>773・(656)</sup></p> <p>*第1回百万石祭り。<sup>306</sup></p> <p>独立後最初のメーデー、皇居前広場でメーデー流血事件起こる。<sup>656・774</sup></p> <p>*北陸文化放送開局。<sup>306</sup>            文部省、国立新制大学院設置試案を発表。<sup>775</sup></p> <p>全国多数の大学で破壊活動防止法反対声明、学生の反対スト起こる。<sup>775</sup></p> <p>破壊活動防止法公布。<sup>656</sup>            *内灘接収を閣議決定。<sup>306</sup>            *林屋国務相、内灘町民説得のため来県。<sup>306</sup></p> <p>NHKテレビ放送開始。<sup>656</sup>            *内灘試験場、試験開始。<sup>306</sup></p> <p>旧制大学、最後の卒業式、新制国立大学最初の卒業式挙行。<sup>776</sup></p>
1952/2/20	昭和27年	
1952/3/9	昭和27年	
1952/3/31	昭和27年	
1952/4/1	昭和27年	
1952/4/25 1952/4/**	昭和27年 昭和27年	
1952/5/1	昭和27年	
1952/5/3	昭和27年	
1952/5/3~5	昭和27年	
1952/5/10 1952/5/23	昭和27年 昭和27年	
1952/5/25 1952/5/31	昭和27年 昭和27年	
1952/6/**	昭和27年	
1952/6/**	昭和27年	
1952/6/7	昭和27年	
1952/6/17	昭和27年	
1952/7/21 1952/11/25 1952/11/27	昭和27年 昭和27年 昭和27年	
1952/12/**	昭和27年	
1953/1/14 1953/2/1 1953/3/18 1953/3/25	昭和28年 昭和28年 昭和28年 昭和28年	
1953/3/**	昭和28年	
1953/4/1	昭和28年	
1953/4/1	昭和28年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1953/4/1	昭和28年	学校教育法の規定に基づき、学位規則を制定。 <sup>777</sup> *石川門橋の保存工事が開始。 <sup>15・264</sup>
1953/4/14	昭和28年	
1953/4/17	昭和28年	金沢大学に専攻生及び専修生の制度を設置。 <sup>339</sup>
1953/4/22	昭和28年	文部省、国立大学評議会に関する暫定措置規則を制定。 <sup>776・778</sup> *石川県立松任農業高等学校が発足。 <sup>15</sup>
1953/4/**	昭和28年	
1953/5/**	昭和28年	医学部教授岩崎憲「アツオトメトリーの研究」により日本学士院賞を受賞。 <sup>339</sup>
1953/7/30	昭和28年	教育職員免許法の一部改正（教員免許状資格付与課程の認定の制度を新設）。 <sup>779</sup>
1953/9/22	昭和28年	戸田正三学長が再任される。 <sup>339・340</sup>
1953/10/14	昭和28年	
1953/11/2	昭和28年	*新金沢駅業務開始。 <sup>15・264</sup>
1954/2/4	昭和29年	北溟寮記念祭を挙行。 <sup>341</sup>
1954/2/9	昭和29年	文部省、昭和30年度大学入学者選抜学力検査の教科及び実施方法を発表。大学側の希望表示制を採用。 <sup>780</sup> *石川県教組は、教員の政治活動制限の反対闘争について県民に訴える声明を発表。 <sup>15</sup> 第五福竜丸、ピキニの米水爆実験により被爆。 <sup>656</sup>
1954/3/1	昭和29年	
1954/3/12	昭和29年	旧制金沢医科大学が閉校、最後の卒業式85名を送る（金沢医科大学の名称は、昭和36年まで学位審査機関として存続）。 <sup>6・15・342・(264)</sup>
1954/3/16	昭和29年	*金沢にピキニ被爆まぐろが入荷。 <sup>15</sup>
1954/4/1	昭和29年	工学部工業教員養成課程、工学部工学専攻科、薬学部薬学専攻科、理学部理学専攻科設置。 <sup>146・336・339・340・343</sup>
1954/4/29	昭和29年	金沢大学の暁烏文庫5周年記念式が挙行。 <sup>264</sup>
1954/5/27	昭和29年	石川県平和懇話会結成式が金大で開催。 <sup>15</sup>
1954/6/3	昭和29年	義務教育諸学校における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法、公布（6/13施行）。 <sup>781</sup> *珠洲市制施行。 <sup>306</sup> 最高裁判所、学生の選挙法上の住居は、郷里ではなく修学地にあると判決。 <sup>782</sup>
1954/7/15	昭和29年	
1954/10/20	昭和29年	
1954/秋/**	昭和29年	四高寮歌祭を開催。 <sup>298</sup>
1955/2/21	昭和30年	*田谷充実、石川県知事に当選（ <sup>264</sup> では1955/2/20となる）。 <sup>15・264</sup>
1955/3/11	昭和30年	石川地方公安調査局が、学生の思想調査をしたので金大学生はこれに抗議した。 <sup>264</sup>
1955/3/18	昭和30年	第1回金沢大学医学部卒業式挙行。 <sup>6・342</sup>
1955/4/1	昭和30年	*金沢美術工芸短期大学が四年制大学になる。 <sup>15</sup>
1955/4/1	昭和30年	金沢大学医学進学課程が設置。 <sup>6・342・344</sup>
1955/4/14	昭和30年	*石川県スポーツセンターが開館。 <sup>15</sup>
1955/4/15	昭和30年	理学部附属白山自然研究園の研究室を増築。 <sup>345・346</sup>
1955/4/21	昭和30年	金沢大学に白山研究所が創設。 <sup>264</sup>
1955/4/30	昭和30年	
1955/5/21	昭和30年	金沢大学法文学部内に「法政学会」が創設。 <sup>15・264</sup>
1955/7/1	昭和30年	金沢大学に大学院を設置、医学研究科博士課程を置く（ <sup>335・344・345・346</sup> では1955/4/1となる）。 <sup>6・335・342・344・345・346・347・(15)</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1955/7/2	昭和30年	*小松・大阪間に定期航空路。 <sup>306</sup>
1955/7/15	昭和30年	
1955/8/6	昭和30年	第1回原水爆禁止世界大会広島大会開催。 656
1955/9/29	昭和30年	
1955/10/19	昭和30年	教育学部附属高等学校体育館を大蔵省より 所管換。 <sup>345・348</sup>
1955/11/5	昭和30年	
1956/1/5	昭和31年	金大中央図書館に、駒井徳太郎の漢書5,600 冊が寄贈。 <sup>264</sup>
1956/1/20	昭和31年	
1956/2/1	昭和31年	薬学部図書室の移築工事が完了。 <sup>345・348</sup> 金沢大学は、北信越ブロックのセンターと してマイクロセンター設立を決定。 <sup>15・264</sup>
1956/3/11	昭和31年	
1956/3/17	昭和31年	ペンシルバニア大学(アメリカ合衆国)と 大学間交流協定を締結。 <sup>349・350</sup> 金沢大学構内の日本丸跡が一般開放され る。 <sup>264</sup>
1956/4/15	昭和31年	
1956/5/7	昭和31年	米国ペンシルバニア大学長G・P・ハンウ エル氏は、金沢大学と文化交流を行うため に来沢。 <sup>264・351・352</sup> 一般教養部を教養部と改称。 <sup>345</sup>
1956/5/31	昭和31年	
1956/7/8	昭和31年	医学附属診療X線技師学校を設置(330・348 では1956/4/1となる)。 <sup>6・345・353・(330)・(348)・(354)</sup>
1956/7/25	昭和31年	
1956/7/**	昭和31年	診療X線技師学校の入学式を挙行。 <sup>354</sup>
1956/8/15	昭和31年	
1956/9/9	昭和31年	4日間、医学部医学展開催。テーマは「揺り かごから墓場まで」。 <sup>353</sup>
1956/10/22	昭和31年	
1956/10/27	昭和31年	金沢大学臨海実験所は、松波町字小木舟隠 に決定した。 <sup>264</sup> 附属病院改造10ヵ年計画の第1期分の1棟が 完成し、竣工披露式を挙行。 <sup>355</sup>
1957/3/25	昭和32年	
1957/3/30	昭和32年	*奥能登大水害。 <sup>306</sup>
1957/4/1	昭和32年	米国ペンシルバニア大学から学内新聞“ベ ン大便り”(6/15付発行)が届く。 <sup>356</sup>
1957/4/1	昭和32年	
1957/4/6	昭和32年	*原水爆禁止石川県協議会結成。 <sup>306</sup> 「大学設置基準」(省令)を制定。 <sup>784</sup>
1957/4/10	昭和32年	
1957/5/5	昭和32年	70周年記念四高同窓会全国大会が、金沢市 公会堂で500人を超える同窓生が参加して 開催。 <sup>15・357・(298)</sup> 教育学部附属中学校の新築工事を完了。 <sup>358・359</sup>
1957/5/14	昭和32年	
1957/5/31	昭和32年	*金沢城三十間長屋が重要文化財に指定。 <sup>15・264</sup>
1957/5/31	昭和32年	
1957/5/31	昭和32年	科学技術系学生8,000人増募計画の実施 に着手(昭和35年度まで)。 <sup>785</sup>
1957/5/31	昭和32年	
1957/5/31	昭和32年	教育学部附属小学校に特殊学級(精薄)設 置。 <sup>360</sup> 旧四高遭難ボート部員の17回追悼会が、雄 魂碑前で執行。 <sup>264</sup> 理学部に附属臨海実験所が設置(358・362で は1957/4/1となる)。 <sup>359・362・(358)</sup> 金沢大学薬学部薬学研究室から出火、木造 2階建の32研究室1棟を全焼。 <sup>15・(264)・(361)</sup> 医学部岡本肇教授、昭和32年度日本学士院 賞を受賞。 <sup>363</sup> 松波町的小木九十九湾で、金大理学部能登 臨海実験所の落成式を挙行。 <sup>264</sup> 工学展、10年ぶりに開催。31日より3日間、

西 暦 (年号)		金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
		入場者1万5千人で大盛況。 146・336	
1957/5/31	昭和32年		*小松の米軍基地閉鎖。 306
1957/6/7	昭和32年	金沢大学薬学部復興期成同盟会準備委員会開催。 264	
1957/6/18	昭和32年	金沢大学構内にある図書館書庫(通称:金沢城三十間長屋)が重要文化財に指定。 364	
1957/9/22	昭和32年	戸田正三が学長に再任。 358・359・365	*NHK金沢放送局、日本海側で初のテレビ放送開始。 306 *小松飛行場、米軍より返還。 15
1957/12/13	昭和32年		
1958/2/19	昭和33年		
1958/3/25	昭和33年	教育学部附属中学校教室が完成。 358・359	
1958/4/1	昭和33年	医学部附属助産婦学校(1年制)設置(6・353・366・367では1958/3/31となる)。 330・(6)・(353)・(366)・(367)・(368)	
1958/4/1	昭和33年	教育学部に専攻科(保健体育専攻)設置。 334・366・367	
1958/4/1	昭和33年	金沢大学、教官の65歳定年制を実施。 15・370	
1958/4/1	昭和33年	法文学部に法文学専攻科設置。 369・(366)・(367)	
1958/4/20	昭和33年	四高記念碑除幕式が旧四高赤レンガ校舎前で挙行。 15・370・(298)	
1958/7/5	昭和33年	金沢大学理学部附属能登臨海実験所の開所式を挙行(371では1958/7/6、370では1958/7/3となる)。 372・(370)・(371)	
1958/9/1	昭和33年	薬学部再建起工式。 373	
1958/10/19	昭和33年	大学購入ヨットの命名進水式挙行。 373	
1958/10/24	昭和33年	天皇、皇后両陛下本学に行幸啓、医学部を視察される。翌25日には、宿舎白雲楼にて理学部熊野正雄・市川渡両教授の御前講演を召された。 15・373・374・375・376・(366)・(370)	
1959/2/27	昭和34年	薬学部実験室及び研究室が完成した。 375	
1959/3/31	昭和34年	金沢城石川門修理工事が完了。 366	
1959/3/31	昭和34年	薬学部実験研究室及び教室を新築。 377	
1959/3/31	昭和34年	医学部附属病院中央診療棟及び第3病棟廊下が完成。 6・375・378・(377)	
1959/4/1	昭和34年	附属中学校特殊学級(精薄)設置。 360	
1959/4/8	昭和34年	金沢城石川門竣工式を挙行し、石川門修理工工祝賀協賛会主催の祝賀会を催す。 377・379・(370)	
1959/4/15	昭和34年		安保改定阻止国民会議、第1次統一行動。東京日比谷公園で中央集会。 656・786
1959/5/27	昭和34年	薬学部校舎復興の新営第1期工事が完成、竣工式を挙行。 380	
1959/5/29	昭和34年	金沢大学開学10周年記念式を挙行し、記念行事として祝賀会、全学運動会を開催し、記念事業として校歌の制定、植樹、『金沢大学十年史』(発行は1960/3/31)の刊行等を行う。 377・381	
1959/7/2	昭和34年		*安保阻止県民会議結成される。石川県内でも安保反対運動高まる。 306
1959/9/9	昭和34年	工学部校舎の近代化工事起工式。 384	
1959/9/13	昭和34年	ポート命名(日本海号と命名)進水式を挙行。 382	
1959/9/22	昭和34年	戸田正三が学長に再任。 382	
1959/9/29	昭和34年	旧石川師範学校校舎、旧附属小学校校舎(金沢市弥生町)焼失。 370・385	
1959/10/12	昭和34年		*石川県立美術館開館。 15
1959/10/31	昭和34年		文部省、教育白書『わが国の教育水準』を刊行。 786

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1959/12/6	昭和34年 四高7代目の校長溝淵進馬の胸像除幕式を挙行(383では1959/11/6となる)。 298・370・(383)	
1959/12/6 1960/1/16	昭和34年 昭和35年 『四高寮歌集』刊行。298	文部省、全学連の羽田空港占拠事件に関し、各大学長に通達(参加学生の処分、学園からの排除等)。787 日米新安保条約に調印。656
1960/1/19 1960/1/20 1960/3/21 1960/3/28	昭和35年 昭和35年 昭和35年 昭和35年 理学部R.I.実験室を改修した。386 旧制度による医学博士論文審査終了。387 薬学部実験室及び研究室の増築を完了。 386	
1960/3/28	昭和35年 工学部工業化学科実験研究室の新築工事が完成(146では1960/3/31となる)。 386・388・(146)	
1960/3/31	昭和35年 本学開学10周年記念事業の一環として『金沢大学十年史』を刊行。370・386	
1960/4/1	昭和35年 金沢医科大学が閉校(387では1960/3/21、386では1960/3/31となる)。6・386・387	
1960/4/1	昭和35年 金沢大学看護学校は金沢大学医学部附属看護学校に改称。180・304	
1960/4/1 1960/4/1	昭和35年 昭和35年 医学部附属病院に中央診療施設設置。330 工学部精密工学科を設置。 343・389・(146)・(335)・(386)	
1960/4/26 1960/4/26	昭和35年 昭和35年 安保闘争。石川県下でも決起集会が相次ぎ、教養部学生は聴講放棄ストを実施、約400人がデモ行進。15	新安保阻止学生デモ全国各地に展開。788
1960/5/26	昭和35年 金大生は安保阻止の抗議集会を開いた後、各学部から集まった約1,000人の学生が開学以来初めての大きな集団デモを組み、総決起大会デモに合流。このデモの際に金大医学部生1人が公務執行妨害で手錠をかけられたが間もなく釈放。15	
1960/6/3	昭和35年 安保阻止県民共闘会議総決起大会に、金大教官らが組織する「学問と教育を守る会」が参加、金大教授陣120人が香林坊、片町をデモ。15・370	
1960/6/15	昭和35年	安保改定阻止国民会議統一行動。全学連、国会構内で警官隊と衝突。東大生樺美智子死亡。656・788
1960/6/16	昭和35年 金大生1,700人が「国会デモで死亡した樺美智子さんの行動をムダにするな」と教養部学生ホール裏で抗議集会を開催、デモを行う。15	
1960/6/17	昭和35年	国立大学協会、大学の秩序確立に関して声明を発表。787
1960/6/18	昭和35年	文部大臣、国立大学長会議で大学教官の責任と学園の秩序確立について要望。788 新安保条約批准書交換、発効。656
1960/6/23 1960/9/16	昭和35年 昭和35年 スポーツ・センターについて石川県と金大との話し合いがまとまる。石川県は旧金沢城内に体育館を建てて大学に寄付し、スポーツ・センターは県有となる。370	
1960/10/6 1960/10/31	昭和35年 昭和35年 薬学部の本館第2期工事が完成。370 教育学部附属高等学校、クラブ室を大蔵省に移管。390	
1960/11/8	昭和35年	文部省、国立大学施設の現状と対策を発表。788

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1960/12/27	昭和35年	閣議、所得倍增計画を決定。 <sup>656</sup> *航空自衛隊、小松に駐留。 <sup>306</sup>
1961/2/1	昭和36年	
1961/3/25	昭和36年	教育学部附属高等学校特別教室の新築工事及び寄付工事を完了。 <sup>391</sup> 教育学部附属小学校特別教室の寄付工事を完了。 <sup>391</sup>
1961/3/25	昭和36年	
1961/4/1	昭和36年	医学部附属がん研究施設を設置。医学部附属病院事務部(部課制)を設置し、事務部長、管理課長、業務課長を置く。 <sup>344・391・392</sup>
1961/4/1	昭和36年	
1961/4/1	昭和36年	学生部に学生部次長を置く。 <sup>391・394</sup>
1961/4/12	昭和36年	
1961/6/8	昭和36年	理学部学会は、同学部の城内移転を全員一致で決定。 <sup>15</sup>
1961/8/25	昭和36年	
1961/9/1	昭和36年	経団連・日経連、技術教育振興策の確立に関する要望を政府・国会あて提出(産学協同の推進・大学理工系増員計画の繰上げなど)。 <sup>656</sup> 科学技術系学生増募計画の16,000人を20,000人に改訂し、目標年度を昭和39年度に繰上げる。 <sup>790</sup> *第2室戸台風で金沢地方水害。 <sup>306</sup>
1961/9/16	昭和36年	
1961/9/22	昭和36年	石橋雅義(京大名誉教授)が第2代学長に就任。 <sup>322・395・(146)・(393)</sup> 金沢大学体育館が竣工。 <sup>15・370・396</sup>
1961/11/4	昭和36年	
1961/12/3	昭和36年	戸田正三前学長の大学葬を理学部講堂において行う。 <sup>393</sup> 理学部の城内移転に伴う同大学の整備計画が、文部省予算に計上。 <sup>370・(15)</sup>
1962/1/27	昭和37年	
1962/2/12	昭和37年	金沢大学一般教養部2号館からの出火で、同校舎を半焼。 <sup>370</sup> 教育学部附属高等学校教室の新築工事及び寄付工事を完了。 <sup>393</sup>
1962/3/28	昭和37年	
1962/3/28	昭和37年	教育学部附属中学校体育館の新築工事及び寄付工事を完了。 <sup>393</sup> 工学部精密工学科の新築工事を完了。 <sup>393</sup>
1962/3/28	昭和37年	
1962/4/**	昭和37年	工学部電子工学科校舎完成。 <sup>146・389</sup> 教育学部養護学校教員養成課程(1年制)、工学部電子工学科を設置。 <sup>343・397・(335)・(398)</sup>
1962/4/1	昭和37年	
1962/4/9	昭和37年	金沢商工会議所が中心となって金沢城跡開放懇談会が開かれ、金沢大学の整備計画変更を金大当局に申し入れ。 <sup>15・(370)</sup> ライシャワー大使夫妻は、金沢大学を訪れ、学生との懇談会に出席、300人の学生を前に講演。 <sup>15</sup>
1962/4/25	昭和37年	
1962/4/27	昭和37年	教養部自治会は、核実験反対国際学生統一行動デーの全日授業放棄に同調、約1,000人が授業を放棄し市内で街頭デモ。 <sup>15</sup> 石川県と金大で組織する「石川県地域経済研究会」が発足。 <sup>370</sup>
1962/5/9	昭和37年	
1962/5/15	昭和37年	附属小・中・高校三校の新校舎完成式を挙行。 <sup>15・370</sup>
1962/6/10	昭和37年	
1962/6/27	昭和37年	*北陸トンネル完成式挙行。 <sup>370</sup> 医学部附属病院病棟及び厨房新営工事に着手。 <sup>398</sup>
1962/7/21	昭和37年	
1962/7/24	昭和37年	*金沢東別院全焼。 <sup>306</sup> 城内施設整備地鎮祭並びに起工式挙行。 <sup>399</sup>



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1962/8/11	昭和37年 理学部新営第1期工事起工式举行。 <sup>400</sup>	
1962/8/13	昭和37年 医学部創立100年記念会館新築工事起工式举行。 <sup>400</sup>	
1962/10/10	昭和37年 工学部精密工学科の増築工事を完了。 <sup>388・398・(146)</sup>	
1962/11/3	昭和37年 医学部創立100年祭記念式典を举行。全国から同窓生、教官、学生ら約2,000人が参加。 <sup>15・(6)・(370)・(387)・(401)</sup>	
1962/11/12	昭和37年	*白山、国立公園に指定される。 <sup>306</sup> 国立大学協会、大学の管理・運営に関し、大学運営協議会（仮称）の設置案の検討を開始。 <sup>792</sup>
1962/11/15	昭和37年	
1962/12/11	昭和37年 工学部後援会発足。 <sup>146・402</sup>	大学運営法案の国会提出とりやめを閣議決定。 <sup>791</sup> *記録的な降雪（38豪雪）。 <sup>306</sup> 中央教育審議会、大学教育の改善について答申（大学の目的・性格、設置・組織編成、管理運営、入学試験、学生の厚生補導、財政）。 <sup>791</sup>
1963/1/25	昭和38年	
1963/1/27	昭和38年	*中西陽一が石川県知事に、徳田与吉郎が金沢市長に当選。 <sup>15・370</sup> 国立大学協会、大学管理問題の自主的解決のために、同協会内に大学運営協議会の設置を決定。 <sup>793</sup> 国立学校設置法一部改正。一般教養に関する教育を一括して行うための教養部設置。6国立大学に大学院設置。 <sup>794</sup>
1963/1/28	昭和38年	
1963/2/10	昭和38年	
1963/2/28	昭和38年	
1963/3/31	昭和38年	
1963/3/31	昭和38年 理学部理学専攻科廃止（ <sup>403</sup> では1963/4/1となる）。 <sup>362・(403)</sup>	
1963/3/**	昭和38年 金沢大学電子計算機室を設置。 <sup>404</sup>	
1963/4/1	昭和38年 工学部化学機械学科を化学工学科に改称。 <sup>384・405・(146)・(335)・(403)</sup>	
1963/4/1	昭和38年 大学院理学研究科修士課程（数学・物理学・化学・生物学・地質学専攻）設置（ <sup>403</sup> では1963/3/31となる）。 <sup>403・(335)・(362)</sup>	
1963/4/12	昭和38年	文部省、高等教育研究会を設置。大学生急増対策を開始。 <sup>793</sup> *北陸線、金沢まで電化。 <sup>306</sup>
1963/4/20	昭和38年	
1963/5/20	昭和38年 法文学部校舎及び理学部校舎の新築工事が完了。 <sup>403</sup>	
1963/5/25	昭和38年 三笠宮は、金大で開催の日本西洋史学会出席のため来県。 <sup>370</sup>	
1963/6/8	昭和38年 辻宏子選手（教育学部）が、NHK杯女子体操競技会で総合優勝。 <sup>15・370</sup>	
1963/6/17	昭和38年 工学部電子工学科校舎の建物新営工事施工にあたり、地鎮祭並びに起工式を举行。 <sup>406</sup>	
1963/6/17	昭和38年 法文学部校舎の完成にあたり竣工式を举行。 <sup>406</sup>	
1963/7/6	昭和38年 分校（教養）校舎の建物新営工事施工にあたり、起工式を举行。 <sup>406</sup>	
1963/7/7	昭和38年 十全講堂の完成にあたり竣工式を举行。 <sup>406</sup>	
1963/8/23	昭和38年 女子寮の建物新営工事施工にあたり、起工式を举行。 <sup>407</sup>	
1963/10/10	昭和38年	文部省、大学の理工系部門の教育方法の根本的改善を図るため、大学教育方法の改善に関する会議を設置。 <sup>793</sup>
1963/10/15	昭和38年 男子寮新営第1期工事施工にあたり、地鎮祭並びに起工式を举行。 <sup>408</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1963/11/6	昭和38年 行政, 経済, 金融, 学会など27団体が参加し、北陸経済調査会が発足。金沢大学からは石橋学長以下20人の学部長、教授らが参加、石川県と金大の協力関係を結ぶ。 <sup>15</sup>	
1963/11/22	昭和38年	米大統領ケネディ、テキサス州ダラスで暗殺。 <sup>656</sup>
1963/12/**	昭和38年 工学部電子工学科校舎完工。 <sup>146・388</sup>	
1964/1/29	昭和39年 工学部電子工学科校舎の完成にあたり竣工式を挙げる。 <sup>409</sup>	
1964/2/9	昭和39年 工学部化学工学科の実験室からの出火で、木造平屋建の校舎1棟を全焼。 <sup>370・410・(146)</sup>	
1964/2/18	昭和39年	学寮における経費の負担区分について通達。 <sup>795</sup>
1964/2/**	昭和39年 金沢工業会、母校復興資金を募集。 <sup>411</sup>	
1964/2/25	昭和39年	国立大学の学科・課程並びに講座・学科目に関する省令を公布。 <sup>795</sup>
1964/3/18	昭和39年 医学部附属病院病棟及び厨房新営工事の竣工式を挙げる。 <sup>370・412</sup>	
1964/3/31	昭和39年 教養部校舎、同実験棟及び金沢大学白梅寮(寮室棟、管理棟)の新築工事が完了。 <sup>413</sup>	
1964/3/31	昭和39年 理学部校舎及び医学部附属病院第2病棟厨房の増築工事を完了。 <sup>413</sup>	
1964/3/31	昭和39年 薬学部薬学専攻科が廃止(415では1964/4/1となる)。 <sup>414・415</sup>	
1964/4/1	昭和39年 結核研究所附属病院設置。 <sup>335・416・417</sup>	
1964/4/1	昭和39年 教育学部に養護学校教員養成課程(4年制)設置。 <sup>397・415</sup>	
1964/4/1	昭和39年 工学専攻科に精密工学専攻設置。 <sup>343・(415)</sup>	
1964/4/1	昭和39年 金沢大学事務局が部制になり、庶務部(庶務課、人事課)、経理部(主計課、経理課)が設置。 <sup>415</sup>	
1964/4/1	昭和39年 医学部に図書館分館設置。 <sup>418</sup>	
1964/4/1	昭和39年 附属学校に附属養護学校設置。 <sup>360</sup>	
1964/4/1	昭和39年 法文学部の文学科改組、文学科を哲学科、史学科、文学科に分離。 <sup>369・415・(335)</sup>	
1964/4/1	昭和39年 大学院薬学研究科修士課程(薬学専攻)設置(413では1964/3/30となる)。 <sup>413・414・(335)</sup>	
1964/4/1	昭和39年 教養部設置。 <sup>335・360・417</sup>	
1964/4/3	昭和39年	国立学校特別会計法を公布。 <sup>796</sup>
1964/4/30	昭和39年 理学部と教養部の合同校舎の完工式が行われる。 <sup>15・370・419</sup>	
1964/4/30	昭和39年 武道場が完成し竣工式を挙げる。 <sup>419</sup>	
1964/5/29	昭和39年 新白梅寮が落成し完工式を挙げる。 <sup>370・420</sup>	
1964/6/12	昭和39年	*北陸自動車道建設決定。 <sup>15</sup>
1964/8/17	昭和39年	*河北潟干拓着工。 <sup>306</sup>
1964/9/21	昭和39年	*能登線全通。 <sup>306</sup>
1964/10/1	昭和39年	国鉄、東海道新幹線開業。 <sup>656</sup>
1964/10/10	昭和39年	第18回オリンピック東京大会開催。 <sup>656</sup>
1964/11/12	昭和39年	米原子力潜水艦シードラゴン号佐世保に入港(13日反対のデモ隊と警官隊衝突、14日出港)。 <sup>656・796</sup>
1964/11/24	昭和39年 養護学校開校式。 <sup>421</sup>	
1964/11/26	昭和39年 医学部附属病院外来及び中央診療棟新営工事にあたり、起工式を挙げる。 <sup>422</sup>	
1964/12/25	昭和39年	*富山-大阪間の特急電車「雷鳥」と、富山-名古屋間の特急電車「しらさぎ」が運転開始。 <sup>15・370</sup>
1965/1/1	昭和40年	*イヌワシが石川県県鳥に指定される。 <sup>306</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1965/1/11	昭和40年	中教審、「期待される人間像」中間草案発表。 <sup>797</sup>
1965/1/23	昭和40年	
1965/2/2	昭和40年	
1965/2/7	昭和40年	*米軍、北ベトナム爆撃開始。 <sup>656</sup>
1965/3/**	昭和40年	
1965/3/1	昭和40年	
1965/3/15	昭和40年	
1965/3/26	昭和40年	
1965/3/26	昭和40年	
1965/3/29	昭和40年	
1965/3/31	昭和40年	
1965/3/31	昭和40年	
1965/4/1	昭和40年	
1965/4/1	昭和40年	
1965/4/1	昭和40年	
1965/4/1	昭和40年	
1965/4/1	昭和40年	
1965/4/1	昭和40年	
1965/4/16	昭和40年	
1965/4/24	昭和40年	*国立石川工業高等専門学校の開校式が 挙行。 <sup>370</sup>
1965/4/30	昭和40年	
1965/4/**	昭和40年	*金沢工業大学開学。 <sup>15</sup>
1965/6/5	昭和40年	
1965/6/12	昭和40年	家永三郎、教科書検定違憲訴訟起こす (第1次訴訟)。 <sup>798</sup>
1965/6/22	昭和40年	*金沢市内電車脱線転覆事故。 <sup>306</sup>
1965/6/22	昭和40年	日韓基本条約調印。 <sup>656</sup>
1965/8/24	昭和40年	
1965/8/30	昭和40年	
1965/9/22	昭和40年	
1965/9/24	昭和40年	
1965/10/18	昭和40年	
1965/11/6	昭和40年	*旧金大理学部グラウンド跡に建設された 金沢合同庁舎の完成式を挙行。 <sup>15</sup>
1965/12/17	昭和40年	*中西知事は、旧四高の赤レンガ校舎を 郷土資料館にしたいことを表明。 <sup>15</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1966/1/18	昭和41年	早稲田大学、授業料値上げ反対、学生会館運営参加要求で本部占拠、以後スト。 799
1966/1/19	昭和41年	文部省、大学生の精神神経異常者などの増加に対処し、4国立大学に保健管理センター設置計画発表。799
1966/3/1	昭和41年	工学部電気、土木工学科校舎の増築工事を完了(433では、1966/2/**となる)。 432・(433)
1966/3/22	昭和41年	医学部附属病院中央診療棟及び同外来診療棟の増築工事が完了。432
1966/3/28	昭和41年	教育学部の本館校舎の増築工事が完了。432
1966/3/28	昭和41年	金沢大学学生会館の新築工事が完了。432
1966/4/1	昭和41年	教育学部に、豊学校教員養成課程(4年制)設置(434では1966/4/5となる)。335・397・434
1966/4/1	昭和41年	工学研究科修士課程に電子工学専攻設置。 432・435・(433)
1966/4/1	昭和41年	薬学部に製薬化学科設置。335・414・434
1966/4/1	昭和41年	理学部に電波物性研究施設設置。362・436
1966/4/16	昭和41年	教育学部竣工式。437
1966/4/23	昭和41年	本部庁舎の新築工事を着工するにあたり、地鎮祭並びに起工式を挙行。437
1966/4/30	昭和41年	学生会館竣工式。437
1966/7/4	昭和41年	閣議、新東京国際空港の建設地を千葉県成田市(三里塚)に決定。656 *金沢中央卸売市場開場。800
1966/7/18	昭和41年	
1966/7/29	昭和41年	結核研究所附属病院の新築工事を着工するにあたり、地鎮祭並びに起工式を挙行。438
1966/8/4	昭和41年	教育学部附属養護学校の新築工事を着工するにあたり、地鎮祭並びに起工式を挙行。 438
1966/8/17	昭和41年	医学部附属病院臨床研究棟及び管理棟の新築工事を着工するにあたり、起工式を挙行。 439
1966/9/8	昭和41年	*国有財産北陸地方審議会は、元金大理学部跡の半分を無償で石川県へ貸付けることを決定。370
1966/9/13	昭和41年	
1966/9/13	昭和41年	金沢大学学生寄宿舍(北浜寮)の新築工事を着工するにあたり、起工式を挙行。440
1966/10/21	昭和41年	
1966/10/22	昭和41年	旧四高創立80周年を記念する同窓会全国大会が、金大体育館で1,000人以上が参加して開催。15・(298)・(370)・(441)
1966/10/22	昭和41年	『同窓会名簿』、『四高八十年史』、『四高寮歌集完本』の刊行。298
1966/11/1	昭和41年	医学部実験研究棟の新築工事が完了。434
1966/11/16	昭和41年	医学部校舎・医学部附属病院中央診療棟の完成にあたり、竣工式を挙行。442・(370)
1966/12/12	昭和41年	金沢大学本部庁舎の新築工事が完了。434
1966/12/14	昭和41年	工学部化学工学科校舎の新築工事が完了。 423・434・(146)
1966/12/15	昭和41年	金沢大学本部が完成、竣工式を挙行。総事業費14億7千万円の大学整備計画が完成。 15・370・442・443
1967/2/20	昭和42年	
1967/3/12	昭和42年	*金沢市内電車全面廃止。306 青年医師連合(36大学2400人参加)インターン制度に反対して医師国家試験をボイコット(受験有資格者の87%)。656
1967/3/22	昭和42年	教育学部附属養護学校校舎の新築工事が完

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1967/3/23	昭和42年 薬学部起工式を挙行。 <sup>444</sup>	
1967/3/28	昭和42年 教養部増築起工式を挙行。 <sup>444</sup>	
1967/3/29	昭和42年 結核研究所附属病院本館の新築工事が完了。 <sup>434</sup>	
1967/3/30	昭和42年 北溟寮棟の新築工事が完了。 <sup>434</sup>	
1967/3/**	昭和42年 理学部附属植物園設置。 <sup>447</sup>	
1967/4/1	昭和42年 工学部に機械工学第2学科設置(445では1967/4/22となる)。 <sup>335・435・445・446・(146)</sup>	
1967/4/1	昭和42年 医学部附属診療X線技師学校上級課程設置。 <sup>392</sup>	
1967/4/**	昭和42年 工学部化学工学科竣工式。 <sup>448</sup>	*金沢経済大学開学。 <sup>15</sup>
1967/4/15	昭和42年 結核研究所附属病院ボイラー火入式及び竣工式。 <sup>448</sup>	
1967/4/18	昭和42年 金大附属養護学校の校舎が、元兼六中学校跡に完成。 <sup>370</sup>	
1967/4/19	昭和42年 教育学部附属養護学校竣工式。 <sup>448</sup>	
1967/6/1	昭和42年 医学部神経情報研究施設設置。がん研究所設置(医学部がん研究施設及び結核研究所を統合)及びがん研究所附属病院設置(450では1967/5/31となる)。 <sup>15・416・449・450・(335)</sup>	
1967/6/1	昭和42年 附属学校に、附属養護学校高等部設置。 <sup>418</sup>	
1967/6/1	昭和42年 日本海域研究所(学内措置)が設置。 <sup>(15)・(370)</sup>	
1967/6/5	昭和42年	アラブ・イスラエル間に戦闘開始(第3次中東戦争)。 <sup>656</sup>
1967/6/5	昭和42年	*山中町で漆器団地完成。 <sup>306</sup>
1967/6/10	昭和42年	東京教育大学評議会は筑波学園都市への移転を条件付で決定、文学部は態度を保留。 <sup>801</sup>
1967/6/23	昭和42年	家永三郎、教科書検定の不合格処分取消しを東京地方裁判所に提訴(第2次訴訟)。 <sup>802</sup>
1967/6/30	昭和42年	佐賀大学、学寮管理問題でストに入る(10/23学生集会でスト解除を決議し終息)。 <sup>801</sup>
1967/8/8	昭和42年	ペンシルバニア大学教授J・B・シェークマン氏と学長・海外文化交流委員との懇談会。 <sup>451</sup>
1967/8/10	昭和42年	教育学部附属幼稚園起工式。 <sup>451</sup>
1967/9/22	昭和42年	中川善之助が第3代学長に就任。 <sup>322・452・453・(146)</sup>
1967/9/23	昭和42年	がん研究所創立記念式及び記念講演会。 <sup>454</sup>
1967/9/29	昭和42年	金沢大学石柱除幕式。 <sup>454</sup>
1967/10/28	昭和42年	薬学部創立100周年記念式典を挙行。 <sup>455</sup>
1967/11/7	昭和42年	医学部附属病院臨床研究棟及び管理棟の新築工事が完了。 <sup>452</sup>
1967/11/10	昭和42年	教養部校舎の増築工事が完了。 <sup>452</sup>
1967/11/11	昭和42年	教育学部附属高等学校開校記念式挙行。 <sup>456</sup>
1967/11/21	昭和42年	医学部第2期工事起工式を挙行。 <sup>456</sup>
1967/11/21	昭和42年	教養部増築建物竣工式を挙行。 <sup>456</sup>
1967/11/23	昭和42年	金沢大学ヨット部新艇命名式を挙行。 <sup>456</sup>
1967/12/18	昭和42年	薬学部製薬化学科実験研究棟の新築工事が完了。 <sup>452</sup>
1967/12/20	昭和42年	工学部機械工学科教棟の新築工事が完了。 <sup>423・452・(146)</sup>
1968/1/9	昭和43年	新春講書初めに、中川善之助学長が家族史の研究で進講した。 <sup>370</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1968/1/29	昭和43年	東京大学医学部自治会、医師法改正(インターン制に代わる登録医師制)に反対、無期限ストに入る(東大紛争の発端)。 656・(803)
1968/3/6	昭和43年	
1968/3/19	昭和43年	
1968/3/20	昭和43年	
1968/3/25	昭和43年	
1968/3/28	昭和43年	
1968/4/15	昭和43年	
1968/5/4	昭和43年	*旧四高跡に作られた石川県「中央公園」の開園式が挙行。 <sup>15</sup> ・(370) *加賀海岸・能登半島、国定公園指定。 306
1968/5/11	昭和43年	
1968/6/14	昭和43年	石川県反戦青年委の「6.15全国統一行動」に呼応したベトナム反戦、安保破棄を叫ぶデモ隊が金沢市内で警官隊と衝突。金大の反日共系全学連革マル派学生2人が逮捕された。学生デモ隊は金沢中署に押しかけ抗議、再び警官隊と衝突、6人が逮捕され双方に多数のケガ人を出す。 <sup>15</sup>
1968/6/15	昭和43年	東京大学で当局に反対の青医連70人、安田講堂などを占拠(6/17機動隊講堂占拠者排除、6/20東大全学部ToStr拡大、7/2講堂再占拠)。 <sup>656・804</sup>
1968/7/23	昭和43年	金沢城学術調査委員会は23日から10日間の予定で、金沢城跡の発掘調査を開始(370では1968/7/24となる)。 <sup>15</sup> ・(370)
1968/9/11	昭和43年	
1968/10/21	昭和43年	*北陸自動車道起工。 <sup>306</sup> 国際反戦デー闘争。過激派集団は新宿駅付近で過激行動。騒擾罪が適用される。 656・805
1968/10/24	昭和43年	*第1回寮歌・校歌祭県大会が金沢で開催。 <sup>370</sup>
1968/10/25	昭和43年	
1968/10/28	昭和43年	医学部研究棟、中央施設棟の第2期工事が完了。 <sup>461</sup> 4月に完成した北星寮で、入寮生の選考権、炊事夫の公務員化、光熱・水道費の受益者負担反対などを要求する寮生側と大学側との話し合いがつかず、現在75室が空室。 <sup>15</sup>
1968/11/1	昭和43年	東大大河内総長は東大紛争の責任をとって辞任(全学部長も5日までに交代)。 898・(656)
1968/11/2	昭和43年	*旧四高図書館を改装し、近代文学館オープン。 <sup>15</sup>
1968/11/11	昭和43年	
1968/11/23	昭和43年	*旧四高の赤レンガ校舎を改装した石川県立郷土資料館の開館式を行う。 <sup>15</sup>
1968/12/3	昭和43年	
1968/12/15	昭和43年	10月29日金大革マル派学生が金沢地裁にデモを行い、玄関のガラスを破った事件について、器物破壊罪で地裁が告訴。 <sup>370</sup> 工学部機械工学第2学科、講義棟、その他の建物(中央工場、熱機関実験室等)の新築工事が完了(146では1968/12/14となる)。 461・462・(146)
1968/12/15	昭和43年	医学部附属病院第5病棟の新築工事が完了。 461

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1968/12/15	昭和43年	<p>文部省、東京大学と協議し入学試験中止を決定。また東京教育大学と協議し、体育学部を除き入学試験中止決定。<sup>805</sup>  東京大学、機動隊の出動により安田講堂等の封鎖解除、翌日解除完了。<sup>656・898</sup>  日本学術会議、大学問題に関する声明を発表。<sup>899</sup></p>
1968/12/17	昭和43年	
1968/12/18	昭和43年	
1968/12/29	昭和43年	
1969/1/18	昭和44年	
1969/1/22	昭和44年	
1969/1/23	昭和44年	
1969/2/**	昭和44年	
1969/2/8	昭和44年	
1969/2/17	昭和44年	
1969/3/12	昭和44年	<p>*金沢市内にF104ジェット機墜落事件。<sup>306</sup></p>
1969/3/28	昭和44年	<p>*旧四高の赤レンガ校舎の石川県立郷土資料館（金沢市広坂）が国の重要文化財に指定。<sup>15・(470)</sup></p>
1969/4/1	昭和44年	<p>*石川テレビ開局。<sup>306</sup>  文部省は、国有財産の管理について学長に対し措置を指示できること、管理に関する大学事務局長の権限強化等を明文化。<sup>805</sup></p>
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/4/1	昭和44年	
1969/5/13	昭和44年	<p>文部省は、現在の「大学紛争の現状」を発表。授業放棄または施設占拠・封鎖中の大学は43校（国立30、公立4、私立9）、7/8の発表では75校（国立43、公立8、私立24）となる。<sup>806</sup></p>
1969/5/23	昭和44年	<p>全共闘を支持する大学教師200人、大学を告発する全国教官報告集会を開く。<sup>656</sup></p>
1969/5/29	昭和44年	
1969/6/24	昭和44年	
1969/7/1	昭和44年	
1969/7/4	昭和44年	
1969/7/10	昭和44年	
1969/7/24	昭和44年	
1969/7/24	昭和44年	
1969/7/24	昭和44年	
1969/7/24	昭和44年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会	
1969/7/24	昭和44年	置法案を混乱のうちに強行採決。7/29衆議院可決。 <sup>656</sup> 東京教育大学評議会、筑波移転に伴う新大学の構想を正式に承認。ただし文学部教授会は強硬に反対を続ける。 <sup>806</sup> 大学の運営に関する臨時措置法公布（施行8/17）。 <sup>807</sup> 臨時大学問題審議会設置。 <sup>807</sup>	
1969/8/7	昭和44年		
1969/8/14 1969/9/24	昭和44年 昭和44年		
1969/9/27	昭和44年		
1969/10/16	昭和44年		
1969/10/17	昭和44年		
1969/10/18	昭和44年		
1969/10/21	昭和44年		
1969/11/17 1969/11/21	昭和44年 昭和44年		佐藤総理大臣・ニクソン米大統領の会談終了。安保堅持、昭和47年に沖縄返還の共同声明を発表。 <sup>656・807</sup>
1969/11/27	昭和44年		
1969/12/6	昭和44年		
1969/12/15	昭和44年		
1969/12/16	昭和44年		
1969/12/20	昭和44年		
1969/12/23 1970/1/21	昭和44年 昭和45年		
1970/1/23	昭和45年		
1970/1/27	昭和45年		
1970/1/28	昭和45年		
1970/2/21	昭和45年		
1970/2/27	昭和45年		
1970/3/7	昭和45年		



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1970/3/7	昭和45年 がん研究所、臨時教授会に教官・大学院生等が団交を要求したため教授会は散会。以後1974/12/18の臨時教授会まで教授会は開催されず、1973/5/31～1974/11/27まで教授懇談会が開催。 <sup>472</sup>	
1970/3/20 1970/3/22	昭和45年 昭和45年 保健管理センターの新築工事が完了。 <sup>468</sup> 医学部の卒業試験が志賀町の西念寺で実施。 <sup>15</sup>	
1970/3/23	昭和45年 医学部自治会がストの1ヶ月延長を決定。このため試験を受けた35人を除く4年生48人の留年が決定。 <sup>15</sup>	
1970/4/1	昭和45年 薬学研究科修士課程に製薬化学専攻を設置。 <sup>467</sup>	
1970/4/4 1970/4/4	昭和45年 昭和45年 保健管理センターの竣工式を挙行。 <sup>473・474</sup> 金沢大学ボート艇庫の新築工事が完了、竣工式を挙行。 <sup>468・473・474</sup>	
1970/4/19	昭和45年 四高ボート部員の琵琶湖遭難30回忌法要を遺族や関西四高会員らが滋賀県の妙淋寺で行う。 <sup>470</sup>	
1970/5/** 1970/5/** 1970/5/** 1970/5/7 1970/5/10 1970/6/23	昭和45年 昭和45年 昭和45年 昭和45年 昭和45年 昭和45年 工学部旧校舎取り壊し開始。 <sup>433</sup> 旧四高の無声堂が明治村に移築。 <sup>470</sup> 医学部学生大会はスト解除を決定。 <sup>15</sup>	* 梯川汚染、尾小屋鉱山鉱毒問題。 <sup>306</sup>  * 河北潟干拓挙行。 <sup>306</sup> 反安保で全国の132の大学で授業放棄。 <sup>808</sup>
1970/7/17	昭和45年 東京地方裁判所、家永三郎提訴の教科書不合格処分取消し訴訟事件（第2次訴訟）に関して、原告の主張を認めて判決。文部省、東京高等裁判所に控訴。 <sup>809</sup> * 石川県人口100万人突破。 <sup>306</sup>	
1970/10/1 1970/10/18	昭和45年 昭和45年 工学部創立50周年記念式典挙行（『工学部50年史』刊行） <sup>146・433</sup>	
1970/11/1 1971/1/23 1971/1/25	昭和45年 昭和46年 昭和46年 附属図書館増築竣工式。 <sup>475</sup>	* 金沢港開港。 <sup>306</sup>  * 金沢火電建設反対連絡会議結成される。 <sup>306</sup>
1971/3/1	昭和46年 金沢大学計算機センターを工学部内に設置。 <sup>146</sup>	
1971/4/1	昭和46年 大学院法学研究科修士課程（法律学専攻）設置（ <sup>477</sup> では1971/3/31となる） <sup>476・477・(335)</sup>	
1971/6/17 1971/6/23	昭和46年 昭和46年 沖縄返還協定調印。 <sup>656</sup> 国立大学協会、大学改革の最終報告をまとめるとともに、共通入試を昭和50年をめどに実施することを決定。 <sup>810</sup>	
1971/6/26	昭和46年 県美術館の「刀のながれ・日本名刀展」会場で、金大生がショーケースに陳列してあった重要文化財・備中国守次作のわき差しで割腹自殺。 <sup>15・(470)</sup>	
1971/7/10 1971/8/31 1971/9/22 1971/9/29	昭和46年 昭和46年 昭和46年 昭和46年 中川善之助が学長に再任。 <sup>478</sup> 医学部の教育ストの控訴審判決は、学生の請求を却下し大学側の主張を認めたが、訴訟費用は大学側に課せられる。 <sup>470</sup>	* 北陸鉄道加南線廃止。 <sup>306</sup> * 北陸鉄道金石線廃止。 <sup>306</sup>
1971/12/15	昭和46年 医学部附属病院外来診療棟の新築工事を完了。 <sup>478</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1971/12/30 1972/1/9	昭和46年 昭和47年	*尾小屋鉱山閉山。 <sup>306</sup> 文部省・自民党、国立大学の授業料3倍(3万6千円)に値上げの大蔵省原案を了承。 <sup>656</sup> 連合赤軍「浅間山荘」事件発生。 <sup>656</sup> *国立能登青年の家開館。 <sup>811</sup>
1972/2/19 1972/3/10 1972/3/18	昭和47年 昭和47年 昭和47年	
1972/3/25	昭和47年	
1972/3/29	昭和47年	
1972/3/30	昭和47年	
1972/4/1	昭和47年	
1972/4/8	昭和47年	
1972/4/10	昭和47年	
1972/5/1	昭和47年	
1972/5/15 1972/6/1	昭和47年 昭和47年	沖縄の施政権返還、沖縄県発足。 <sup>656</sup> *私立金沢医科大開学。第1回入学式が挙行。 <sup>15</sup>
1972/6/9 1972/8/6	昭和47年 昭和47年	*北陸自動車道、小松-金沢間開通。 <sup>306</sup> *金沢・小松市で革新市長が誕生する。 <sup>306</sup>
1972/9/29	昭和47年	日中両国首相、日中共同声明に調印、国交を樹立。 <sup>656</sup>
1972/10/1 1972/10/6	昭和47年 昭和47年	国立大学協会、全国共通1次試験の基本構想を発表。 <sup>813</sup>
1973/1/27 1973/1/** 1973/2/11 1973/2/17	昭和48年 昭和48年 昭和48年 昭和48年	ベトナム和平協定調印。 <sup>656</sup> *七尾火電阻止連絡会議結成。 <sup>306</sup> *内灘町長選挙。火電反対候補当選。 <sup>306</sup> 政府、新構想の筑波大学設置法案を国会に提出。9/25国会、可決(学系・学群制・副学長制・参与会制等による新たな大学管理方式「筑波方式」を導入)。 <sup>656</sup>
1973/3/23	昭和48年	
1973/3/31	昭和48年	
1973/4/1	昭和48年	
1973/4/1 1973/4/11	昭和48年 昭和48年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1973/5/5	昭和48年 専攻設置。 <sup>482</sup>	*石川県立森林公園開園。 <sup>306</sup>
1973/6/9	昭和48年 金沢市内の小中学校から校庭の二宮尊徳像が盗まれた件で、県警らは、金大民族問題研究会、旧金大中核派の仕業とみて金沢市内の金大研グループ員宅を家宅搜索。 <sup>15</sup>	*金沢市で日本海博開幕。 <sup>306</sup>
1973/8/18	昭和48年	
1973/9/15	昭和48年 法文学部同窓会が贈った中川善之助学長の退官記念石碑「行不由径」の除幕式が同大本部前中庭で行われる。 <sup>470</sup>	
1973/9/22	昭和48年 豊田文一が第4代学長に就任。 <sup>146・322</sup>	
1973/10/1	昭和48年	筑波大学設置。 <sup>814</sup>
1973/10/23	昭和48年	第一次石油危機始まる。 <sup>656</sup>
1974/3/30	昭和49年	大学設置審議会、大学院及び学位制度の改善について答申（5年一貫の博士課程、独立大学院の設置など） <sup>815</sup>
1974/3/31	昭和49年 医学部附属看護学校、同診療放射線技師学校廃止。 <sup>6・480・483</sup>	
1974/6/12	昭和49年 ニューヨーク州立大学バッファロー校（アメリカ合衆国）と大学間交流協定を締結。 <sup>350・484・485</sup>	
1974/6/20	昭和49年	大学院設置基準公布。 <sup>815</sup>
1974/10/2	昭和49年 附属小学校創立100周年記念式典挙行。 <sup>486・487</sup>	
1974/11/13	昭和49年	*手取川ダム起工式。 <sup>306</sup>
1974/11/23	昭和49年	国立大学協会、国立大学共通第1次学力試験の模擬テストを実施。 <sup>816</sup>
1974/12/5	昭和49年	*能登海浜道路全線開通。 <sup>306</sup>
1975/3/26	昭和50年	大学入試改善会議、国立大学入試期日について報告（昭和53年度を目途に1期校・2期校制を廃止し、一元化） <sup>816</sup>
1975/4/1	昭和50年	*私立北陸大学薬学部が開学。 <sup>15</sup>
1975/4/1	昭和50年 教育学部言語障害児教育教員養成課程廃止、特殊教育特別専攻科設置。教育工学センター設置。 <sup>397</sup>	
1975/4/1	昭和50年 工学部建設工学科設置。 <sup>146・482・(335)</sup>	
1975/4/1	昭和50年 工学部に情報数理工学実験棟新築工事完成。 <sup>146</sup>	
1975/4/1	昭和50年 理学部に低レベル放射能実験施設設置。 <sup>488</sup>	
1975/4/28	昭和50年	短期大学設置基準公布。 <sup>816</sup>
1975/4/30	昭和50年	南ベトナム、ミン政権無条件降伏。ベトナム戦争終結。 <sup>656</sup>
1975/9/16	昭和50年	*小松基地騒音公害訴訟提訴。 <sup>306</sup>
1975/10/4	昭和50年	*北陸自動車道、富山まで開通。 <sup>306</sup>
1975/10/7	昭和50年 金大薬学部内で起きた内ゲバで女子学生が襲われ、三ヶ月の重症を負う。 <sup>470</sup>	
1975/11/13	昭和50年	国大協總會、共通1次試験実施に全員校70%が賛成と発表、積極的推進の方針を決定（1978年度実施をめざす） <sup>656</sup>
1975/12/12	昭和50年 金沢・富山・福井大学などが中心になって準備を進めていた「日本海学会」が金沢市観光会館で設立總會を開き、発足。 <sup>470</sup>	
1976/2/2	昭和51年 前金沢美大学長大沢衛は、金大附属図書館に「ドーセット史」大冊四巻を寄贈。 <sup>470</sup>	
1976/2/4	昭和51年 姉妹校バッファロー大学から、初めての留学生マーク・エプスタインの金大法文学部受入れが決定。 <sup>470・(15)</sup>	
1976/2/6	昭和51年	ロッキード献金事件表面化。 <sup>656</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1976/4/1	昭和51年	*松任市に私立金城短期大学が開校。 15
1976/4/1	昭和51年	
1976/4/1	昭和51年	
1976/4/1	昭和51年	
1976/5/10	昭和51年	
1976/5/10	昭和51年	
1976/5/11	昭和51年	
1976/5/25	昭和51年	
1976/7/13	昭和51年	
1976/7/27	昭和51年	
1976/9/21	昭和51年	
1976/10/1	昭和51年	
1976/10/4	昭和51年	
1976/10/22	昭和51年	
1976/10/26	昭和51年	
1976/10/31	昭和51年	
1976/11/6	昭和51年	
1976/11/18	昭和51年	
1977/1/17	昭和52年	
1977/3/17	昭和52年	
1977/4/1	昭和52年	
1977/4/1	昭和52年	
1977/4/**	昭和52年	
1977/5/2	昭和52年	
1977/5/11	昭和52年	
1977/7/2	昭和52年	
1977/7/8	昭和52年	
1977/8/25	昭和52年	
1977/10/31	昭和52年	
1977/12/24	昭和52年	
1978/1/**	昭和53年	国立大学協会、共通第1次学力試験は昭和54年度の入学者選抜から実施可能と表明。 817
		大学入試センター設置。国立大学共通1次試験の問題作成・採点などと大学入試について調査研究。 656
		*能登中核工業団地起工。 306
		文部省、国立大学共通第1次試験を含む1979年度以降の大学入学者選抜実施要項を国公私立大学長ほかへ通知（公立大学も共通1次試験を利用）。 656
		*白山スーパー林道開通。 306
		共通第1次学力試験試行テスト実施。 818

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1978/2/3	昭和53年 教育学部横の通称「鶴の丸倉庫」に保管されている暁烏敏コレクションの陶磁器のうち、九谷焼カルタ総大皿など80点、時価数千万円相当が盗まれていることが分かり、石川県警本部捜査一課と金沢中署が捜査(470では1978/1/11)、15・(470)	
1978/3/1	昭和53年	*北陸スモン第1次訴訟、患者側勝訴。306
1978/4/1 1978/4/2	昭和53年 昭和53年 複合材料応用研究センター設置。146・394	*七尾火電問題で、北陸電力と反対派漁民衝突。306・820 大学入試センター、共通第1次学力試験実施要項を発表。819 日中平和友好条約調印。656
1978/6/3	昭和53年	
1978/8/12 1978/11/15	昭和53年 昭和53年 法文学部教授会は学部の分離・改組について協議。新しいキャンパスを城外に求め、昭和55年度に文・法・経済の3学部創設を目指すことを決定。15	
1978/11/16	昭和53年 理学部は法文学部に続いて単独であっても城外に移転することを学部会で正式決定。キャンパス問題に関する専門委員会へ報告。15	
1978/11/17	昭和53年 第371回評議会は、「移転問題については、キャンパス問題に関する専門委員会の検討の結果をふまえ、総合移転の方向で考えたい。これに伴う敷地について、関係機関との折衝を開始したい。」との学長提案を承認。15・501	
1978/11/**	昭和53年 評議会で総合移転(200ha構想)の方針を決定。494	
1978/12/15	昭和53年 第372回評議会で「総合移転を目途とする。また、緊急に解決を要する法文学部の分離改組に支障を来さないよう各部局も協力することが確認された。なお、折衝については学長に一任する。」ことが決定。502	
1979/1/13 ~ 14	昭和54年 国公立共通第1次試験が実施(本学では、第2次試験を3月4~5日に実施)。15・503・504・(470)	初めて国公立大学共通第1次学力試験実施。821
1979/1/17 1979/3/16 1979/3/28	昭和54年 昭和54年 昭和54年	第2次石油危機始まる。656 *金沢美大、北陸大学に大学院開設。15 米国スリーマイル島で原子力発電所事故発生。656
1979/3/30	昭和54年 医学部井上教授ストに対する損害賠償請求訴訟 金沢地方裁判所から、原告請求の棄却及び訴訟費用の原告負担とする判決言渡があった。505	
1979/4/1	昭和54年 医療技術短期大学部に理学療法学科、作業療法学科が新設。15・479	
1979/4/1	昭和54年 工学研究科修士課程に建設工学専攻設置。506	
1979/4/6	昭和54年	*金沢市立図書館が大手町から玉川町に新築移転し、開館。822
1979/4/25	昭和54年 石川県知事及び金沢市長から、移転候補地として「三小牛・内川地区、金川地区、角間・奥卯辰地区、神谷内・月浦地区」の4地区が提示される。507・(494)	
1979/6/1 1979/6/**	昭和54年 昭和54年 評議会で、候補地として三小牛地区・金川地区・角間地区の3地区を選定し、調査検	*手取川ダム貯水開始。820

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1979/7/7	昭和54年 討を開始。 <sup>494</sup> 臨時評議会は「1.金沢大学は、将来計画構想の実現を強力に指向し、一層の整備拡充を期するため、総合移転を決定する。2.総合移転の対象部局は法文学部、教育学部、理学部、薬学部、工学部、がん研究所、同附属病院、附属図書館、事務局、学生部、保健管理センター、複合材料応用研究センターとする。3.移転用地については、三小牛地区、金川地区、角間地区(金川A地区を含む)とする。4.(略)」の確認事項を決定。 <sup>508</sup>	
1979/8/24	昭和54年	外国人留学生の大学入学資格緩和(学校教育法施行規則改正)。 <sup>823</sup>
1979/9/22	昭和54年	
1979/10/**	昭和54年	*河北潟干拓地で営農開始。 <sup>820</sup>
1979/11/15	昭和54年	
1979/12/27	昭和54年	アフガニスタンでクーデター発生、ソ連軍事介入。 <sup>656</sup>
1979/12/**	昭和54年	
1980/1/8	昭和55年	
1980/3/29	昭和55年	*能登縦貫道路、全線完成。 <sup>820</sup>
1980/4/1	昭和55年	
1980/4/1	昭和55年	
1980/4/1	昭和55年	
1980/4/3	昭和55年	
1980/6/25	昭和55年	
1980/6/**	昭和55年	
1980/9/9	昭和55年	イラン・イラク全面戦争開始。 <sup>656</sup>
1980/9/20	昭和55年	
1980/9/20	昭和55年	
1980/11/7	昭和55年	
1980/11/17	昭和55年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1980/**/**	昭和55年 おいては91haを要求する。4.教養部は、(略)移転に関する合意を得るべく努力している。」により対応することを表決により決定。 <sup>515・(494)</sup> 昭和55年度政府予算に「金沢大学総合整備移転調査費」が計上。 <sup>516</sup>	
1981/1/**	昭和56年	*56豪雪。 <sup>820</sup>
1981/2/18	昭和56年 医学部井上教授ストに対する損害賠償請求訴訟。名古屋高等裁判所金沢支部から控訴棄却及び控訴費用控訴人負担とする判決言渡があった。 <sup>517</sup>	
1981/3/20	昭和56年 評議会で、「金大は医学部を除く全学部が角間に総合移転する」との金子曾政学長の所信を賛成多数で了承。 <sup>15</sup>	国家公務員の4週5休制実施。 <sup>824</sup>
1981/3/29	昭和56年	
1981/5/30	昭和56年 金沢大学本部で臨時評議会が開催され、賛成多数で金沢大学総合移転を決議。 <sup>512</sup>	
1981/9/26	昭和56年	*小松空港ターミナルビル完成。 <sup>820</sup>
1981/10/6	昭和56年	
1981/10/13	昭和56年 環境保全センター開所式を挙げる。 <sup>518</sup> アイソトープ総合センター開所式を挙げる。 <sup>6・518・519</sup>	
1981/10/24	昭和56年 金沢で旧制四高の95年祭が実施。 <sup>512</sup>	
1981/11/25	昭和56年 理学部附属能登臨海実験所の新調査・研究船「あおさぎ」の命名式が、同実験所で挙行。 <sup>518</sup>	
1981/**/**	昭和56年 昭和56年度政府予算に「金沢大学総合整備移転調査費」が計上。 <sup>516</sup>	
1982/**/**	昭和57年 昭和57年度政府予算に総合移転の用地所得費として3億円が計上。 <sup>516</sup>	
1982/2/**	昭和57年 石川県知事及び金沢市長に総合移転用地の取得を依頼。 <sup>494</sup>	
1982/3/5	昭和57年 金大総合移転実施特別委員会は、角間新キャンパスに関して、主要地方道金沢井波線の北側を文・教育系、南側に理科系の学部と2つのブロックに分け、その中に各学部の校舎を集中的に配置する「集中分散方式」にすることを決定。 <sup>512</sup>	
1982/3/13	昭和57年	*金沢医科大に大学院設置。 <sup>15</sup>
1982/3/23	昭和57年	大学設置基準・短期大学設置基準改正(大学・短大間の単位互換等)。 <sup>825</sup>
1982/3/31	昭和57年 キャンパス問題に関する専門委員会を廃止。 <sup>520</sup>	
1982/4/1	昭和57年 教育学部教育専攻科を廃止し、大学院教育学研究科修士課程(学校教育、国語教育、社会科教育、理科教育、保健教育、英語教育、障害児教育)設置。 <sup>490・(335)</sup>	
1982/4/1	昭和57年 工学部に電気エネルギー変換実験施設設置(時限10年)。 <sup>146・506・(521)</sup>	
1982/4/3	昭和57年	*能登島大橋共用開始。 <sup>820</sup>
1982/4/9	昭和57年 医療技術短期大学部創設10周年特別講演会を開催。 <sup>522</sup>	
1982/6/12	昭和57年	*金沢400年祭開催。 <sup>820</sup>
1982/6/23	昭和57年	東北新幹線開業。 <sup>656</sup>
1982/7/22	昭和57年	学術審議会、大学・研究機関での遺伝子組み換え実験につき規制大幅緩和を建議。 <sup>656</sup>
1982/8/4	昭和57年 金沢大学山岳会カラコルム遠征隊がカラコルム山脈の未登峰ハッチンダール・キッシン	

西 暦 (年 号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1982/9/1	昭和57年	
1982/11/15 1983/3/**	昭和57年 昭和58年	国立又は公立の大学における外国人教員の任用に関する特別措置法公布。 <sup>825</sup> 上越新幹線開業。 <sup>656</sup>
1983/4/1 1983/4/1	昭和58年 昭和58年	*全国植樹祭に天皇来県。 <sup>820</sup>
1983/4/1 1983/5/10	昭和58年 昭和58年	
1983/8/23 1983/9/22 1983/10/12	昭和58年 昭和58年 昭和58年	*県立新工業試験場開場。 <sup>820</sup>
1983/12/10	昭和58年	東京地方裁判所、ロッキード事件丸紅ルート判決公判。元首相田中角栄に実刑判決。 <sup>656</sup> 中曽根首相、学制・入試改革など7つの構想を表明、戦後教育の改革に意欲を示す。 <sup>656</sup>
1984/1/19 1984/1/** 1984/2/1	昭和59年 昭和59年 昭和59年	家永三郎、第3次教科書訴訟提訴。 <sup>656</sup> *59豪雪。 <sup>820</sup>
1984/3/**	昭和59年	中曽根首相、首相直属の「教育臨調」設置を決定。 <sup>656</sup>
1984/4/1	昭和59年	石川県土地開発公社から、総合移転第 期(城内地区)用地の購入開始。 <sup>494</sup>
1984/4/1	昭和59年	法文学専攻科廃止。大学院経済学研究科修士課程設置。 <sup>335・526</sup>
1984/4/1	昭和59年	工学部電気工学科と電子工学科を電気・情報工学科(8大講座)に改組(506では日付が1984/4/10となり、7大講座となる)。 <sup>146・335・506</sup>
1984/4/**	昭和59年	総合移転実施特別委員会が「部局配置計画」を策定。 <sup>494</sup>
1984/6/16	昭和59年	経済学部と教育学部で来年度に推薦入試を実施することを発表。 <sup>15</sup>
1984/8/8 1984/9/20	昭和59年 昭和59年	臨時教育審議会設置法公布。 <sup>826</sup>
1984/10/25	昭和59年	国立大学の機器購入汚職に関連し、国立学校に係る予算の配分に関する審査会設置。
1984/10/29	昭和59年	医学部附属病院医事業務電算化の披露式を挙行。 <sup>527</sup>
1984/10/** 1984/11/1	昭和59年 昭和59年	総合移転整備事業の起工式が、金沢市角間町の移転用地で森文相、中西知事、江川金沢市長ら関係者約400人が出席して挙行。 <sup>15・512・528・(494)</sup>
1984/11/14	昭和59年	造成工事(調整池)の着工。 <sup>494</sup>
1984/12/22	昭和59年	医学部井上教授ストに対する損害賠償請求訴訟 最高裁判所から上告棄却及び上告費用上告人負担とする判決。 <sup>528</sup>
		臨教審、学校教育の「自由化」提唱(1985/2/11「自由化」を「個性主義」に改める)。 <sup>656</sup> 国立大学等に対し、奨学寄付金等外部資金の受入れの弾力的取扱いについて通知。 <sup>827</sup>



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1985/3/1 1985/3/17 1985/3/31	昭和60年 昭和60年 昭和60年	*兼六園、国の特別名勝に指定。 <sup>820</sup> 科学万博-つくば1985開幕。 <sup>656</sup> 国家公務員の定年制（60歳）が施行。
1985/4/5	昭和60年 大学院教育研究科数学専攻を設置（ <sup>529</sup> では1985/4/1となる）。 <sup>490・529</sup>	
1985/4/5	昭和60年 工学部土木工学と建設工学科を土木建設工学科（5大講座）に改組（ <sup>146・335</sup> では1985/4/1となる）。 <sup>146・506・(335)</sup>	
1985/4/5	昭和60年 遺伝子実験施設の設置。複合材料応用研究センターを廃止。附属図書館、事務部部課制を実施。 <sup>394・(335)・(530)</sup>	
1985/4/5	昭和60年 大学院薬学研究科に生命科学専攻博士課程設置（ <sup>146・335</sup> では1985/4/1となる）。 <sup>146・467・(335)・(530)</sup>	
1985/4/5 1985/5/21 1985/6/1 1985/6/26	昭和60年 昭和60年 昭和60年 昭和60年	理学部、電波物性研究施設廃止。 <sup>488</sup>  *河北潟干拓事業完工。 <sup>820</sup> 改正男女雇用機会均等法公布。 <sup>656</sup> 臨教審第1次答申（個性重視の原則など）。 <sup>656</sup>
1985/7/7	昭和60年 金沢大学の堀田選手が全日本女子学生剣道大会で優勝。 <sup>15</sup>	
1985/7/8	昭和60年	文部省、1987年度からの大学入試共通1次試験を5教科5科目に削減と決定。 <sup>656</sup> *能登線急行転覆事故。 <sup>828</sup>
1985/7/11 1985/9/22	昭和60年 昭和60年	
1985/11/14	昭和60年 本陣良平が第6代学長に就任（ <sup>15</sup> では1985/9/25となる）。 <sup>146・322・(15)</sup>	国立大学協会、昭和62年度から受験機会の複数化を実施する方向で検討することを決定。 <sup>829</sup>
1986/1/**	昭和61年 城内部局移転用地（第1次計画用地）の買収が完了。 <sup>15</sup>	
1986/3/16	昭和61年	*北陸新幹線金沢駅周辺環境整備事業着工。 <sup>820</sup>
1986/4/1	昭和61年 工学部工業化学科と化学工学科を物質化学工学科（6大講座）に改組。 <sup>146・506・(335)</sup>	
1986/4/1	昭和61年 大学院理学研究科物質科学専攻博士課程設置。 <sup>146・335・488</sup>	
1986/4/1	昭和61年 アイソトープ総合センター丸の内サブセンターをアイソトープ理工系実験施設と改称。 <sup>531</sup>	
1986/4/5	昭和61年	学術情報センター（全国大学の共同利用機関）設置。 <sup>656</sup>
1986/4/21	昭和61年	大学入試改革協議会、「新テスト」構想を発表。 <sup>830</sup>
1986/4/26	昭和61年	ソ連のチェルノブイリ原子力発電所事故発生。 <sup>656</sup>
1986/6/18	昭和61年	国立大学協会、受験機会の複数化についての昭和62年度実施要領と実施細目を決定。 <sup>830</sup>
1986/6/28	昭和61年 金沢市若松・鈴見地区整理事業の起工式が行われ、金大総合移転に伴う新たな大学門前街づくりがスタート。 <sup>512</sup>	
1986/7/18	昭和61年 県と金沢市は金沢大学門前街づくり協議会を発足、公益施設の在り方など検討し、翌秋までにマスタープランを提起する。 <sup>512</sup>	
1986/7/25	昭和61年 金沢大学遺伝子実験施設の開所式が同大学医学部記念館で挙行。 <sup>512・532</sup>	
1986/10/25	昭和61年 旧制四高を利用して石川近代文学館が新装	

西 暦 (年 号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1986/10/25・26	昭和61年 オープンし、併せて井上靖の文学碑の序幕が行われる。 <sup>512</sup> 旧制四高の開学100年祭が、金沢で卒業生1400人が参集して行われ、記念事業として四高同窓会が県中央公園入り口に時計塔を寄贈。 <sup>512・(15)</sup>	
1986/11/27	昭和61年	大学入試改革協議会、新テストの実施時期について1年延期、昭和65年度からの実施が適当を報告。 <sup>830</sup> 国鉄分割・民営化関連8法公布。 <sup>656</sup>
1986/12/4 1986/12/**	昭和61年 石川県土地開発公社から、総合移転第 期(城内地区)用地の購入完了。 <sup>494</sup>	
1987/2/25	昭和62年 大学教育開放センター10周年記念特別講演会を開催(講師は三浦朱門前文化庁長官で演題は「文化と大学」)。 <sup>533</sup>	
1987/2/27	昭和62年	中央雇用対策協議会、昭和63年春大学卒業予定者の就職協定について、企業等の説明期間を新たに設ける申合せ(3/3大学側申合せ)。 <sup>831</sup>
1987/3/**	昭和62年 大学紹介ビデオ完成(文科系学部編、理科系学部編、海外向け総集編の3編)。 <sup>533</sup>	
1987/4/1 1987/4/1	昭和62年 大学院薬学研究科博士課程生命科学専攻、理学研究科博士課程物質科学専攻廃止。 <sup>534</sup> 大学院教育学研究科に家政教育専攻設置。 <sup>490</sup>	*私立金沢女子大学が発足。 <sup>15</sup>
1987/4/1	昭和62年 工学部機械工学科、機械工学第2学科及び生産精密工学科を機械システム工学科(9大講座)に改組。 <sup>146・535・(335)</sup>	
1987/4/1	昭和62年 大学院自然科学研究科(独立研究科)博士課程(生命科学、物質科学、システム科学の3専攻)設置。 <sup>146・335・536・537</sup>	
1987/4/12 1987/4/28 1987/4/30 1987/5/15	昭和62年 附属幼稚園創立100周年記念式典挙行。 <sup>486・538</sup>	*第一回浅の川園遊会開催。 <sup>832</sup> *北陸鉄道金名線廃止。 <sup>820</sup> *のと鉄道株式会社発足。 <sup>820</sup>
1987/6/1 1987/6/5	昭和62年 がん研究所創設20周年記念式典を挙行。 <sup>539</sup> 大学院自然科学研究科設立記念式を挙行。 <sup>539</sup>	
1987/6/17	昭和62年	国立大学協会、国立大の1988年度入試2次試験の出願時期を共通1次試験後に繰り下げることに確定。 <sup>833</sup>
1987/7/30	昭和62年 金沢市内在住の朝鮮籍の金大生が、外国人登録証の登録切替えに伴う指紋押なつを拒否したため、金沢市は「不押捺」と明記した登録証を交付。 <sup>15</sup>	
1987/8/7	昭和62年	臨教審、教育政策に関する第4次(最終)答申提出(8/20臨教審解散)。 <sup>656</sup>
1987/9/**	昭和62年 文学部・法学部・経済学部棟の建設着工。 <sup>494</sup>	
1987/10/12	昭和62年 理学部能登臨海実験所の第2研究棟起工式が挙行。 <sup>540</sup>	
1987/10/14	昭和62年 総合移転に伴い、最初に建築される文・法・経済学部校舎新嘗工事安全祈願祭が、金沢市角間町の移転用地で行われ、本陣学長ら80人が工事の無事を祈願。 <sup>15・540・(512)</sup>	
1987/10/19	昭和62年	ニューヨーク株式市場大暴落(ブラックマンデー)。 <sup>656</sup>

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1987/11/25 1988/1/5	昭和62年 昭和63年	*能登原発第1号機、準備工事開始。 <sup>820</sup> 教育改革実施本部、「教育改革の推進-現状と課題」をとりまとめ。 <sup>834</sup> *小松・ソウル定期航空便就航。 <sup>820</sup>
1988/2/2 1988/3/4	昭和63年 昭和63年	
1988/3/11 1988/3/25 1988/3/27	昭和63年 昭和63年 昭和63年	*真脇遺跡が国の史跡に指定。 <sup>820</sup> *のと鉄道開業。 <sup>820</sup>
1988/3/**	昭和63年	
1988/4/1 1988/4/1	昭和63年 昭和63年	
1988/4/1	昭和63年	
1988/4/7	昭和63年	
1988/4/9	昭和63年	
1988/4/9 1988/4/17 1988/4/18	昭和63年 昭和63年 昭和63年	
1988/6/8	昭和63年	
1988/7/7	昭和63年	
1988/7/29	昭和63年	
1988/9/22 1988/9/** 1988/10/14 ~ 15	昭和63年 昭和63年 昭和63年	
1988/10/18 1988/12/19	昭和63年 昭和63年	
1988/12/25 1989/1/7	昭和63年 平成元年	
1989/1/21 ~ 22	平成元年	
1989/1/**	平成元年	
1989/4/1	平成元年	
1989/4/1	平成元年	

金沢市若松・鈴見地区の金大門前街整備構想は、機能別に5ゾーンに分け地区のシンボルマーク作り、11本の街路に愛称をつけるなどの骨格がまとまる。<sup>512</sup>

金大移転事業に伴って角間町から集団移転した角間新町の開町式が森代議士、中西知事、江川市長、本陣金大学長、地元関係者らが参加して行われる。<sup>512</sup>

エネルギーセンター（中央機械室）附属図書館の建設着工。<sup>494</sup>

附属図書館閲覧業務の電算化を開始。<sup>541</sup>  
大学院教育研究科に技術科教育専攻の設置。<sup>542</sup>

工学部共通講座6講座を2大講座へ改組。大学院工学研究科の電気工学専攻、電子工学専攻を電気・情報工学専攻と改称。<sup>146・535</sup>

附属図書館整理課を情報管理課に、閲覧課を情報サービス課に改称。<sup>418</sup>

健寿会20周年記念総会を開催。<sup>543</sup>

金沢市広坂1丁目にある金大附属小・中学校・幼稚園が平和町の同附属高校キャンパスに統合する形で全面移転する方針が固まる。<sup>512</sup>

第18回中部圏開発整備地方協議会が名古屋市で開かれ、金大総合移転整備などを盛り込んだ基本開発整備計画を策定。<sup>512</sup>

金大総合移転対策本部会議が県庁で開かれ、「門前街」の基本計画を決定。<sup>512</sup>

大学会館の建設着工。<sup>494</sup>

HEART TOGETHER（初の金沢大学外国人留学生交流会）を開催。<sup>544</sup>

附属中学校創立40周年記念式典を挙げる。<sup>545</sup>

\*小松・七尾両短大が開学、入学式を挙げる。<sup>15</sup>

国家公務員の4週6休制実施。<sup>834</sup>

「新テスト」の名称を「大学入試センター試験」と命名。<sup>656</sup>

\*食と緑の博覧会いしかわ1988開幕。<sup>820</sup>

大学審議会、大学院制度の弾力化について答申。<sup>835</sup>

大学入試センター試験試行テスト実施。<sup>835</sup>  
昭和天皇崩御。「平成」と改元（1/8施行）  
<sup>656</sup>

西 暦 (年 号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1989/4/1	平成元年	消費税(3%)を導入。 <sup>836</sup>
1989/4/1	平成元年	
1989/6/22	平成元年	
1989/7/27	平成元年	
1989/7/31	平成元年	
1989/8/14	平成元年	
1989/9/1	平成元年	
1989/9/22	平成元年	
1989/9/30	平成元年	
1989/10/5	平成元年	
1989/10/11	平成元年	* 珠洲原発問題混迷。 <sup>820</sup> 文部省の大学審議会、大学設置基準の緩和、教養課程の自由化、教員評価システムの確立を了承。これを受け、9/1大学院基準法改正(学部3年終了で大学院進学を認めるなど)。 <sup>656</sup>
1989/10/16	平成元年	
1989/10/20	平成元年	
1989/11/9	平成元年	
1990/1/9~11	平成 2年	
1990/1/13	平成 2年	
1990/2/19	平成 2年	
1990/2/21	平成 2年	
1990/3/**	平成 2年	
1990/4/1	平成 2年	
1990/4/1	平成 2年	* テレビ金沢・エフエム石川正式開局。 <sup>820</sup>
1990/4/1	平成 2年	
1990/4/1	平成 2年	
1990/4/1	平成 2年	
1990/6/7	平成 2年	
1990/7/20	平成 2年	
1990/8/2	平成 2年	
1990/9/**	平成 2年	
1990/10/1	平成 2年	

西 暦 (年号)		金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1990/10/1	平成 2年		839 *北陸先端科学技術大学院大学、辰口町に創設。820 東西ドイツ統一。840
1990/10/3	平成 2年	「第1回国際法医学シンポジウムADVANCES IN LEGAL MEDICINE」が金沢市文化ホールで開催。557	
1990/10/11 ~ 15	平成 2年		
1990/11/6	平成 2年	元中国人留学生として旧制四高(文科)に学んでいた薩義爾(サ・イル)氏(現中国全国人民代表大会民族委員会顧問)に四高の在学証明書を授与。558	
1990/11/18	平成 2年		*金沢市長選挙で、山出保が当選。841
1990/12/17	平成 2年	経済学部がイルクーツク国民経済大学(現イルクーツク経済アカデミー ロシア)と学部間交流協定を締結。350	
1991/1/17	平成 3年		湾岸戦争勃発。842
1991/2/3	平成 3年		*中西知事、現職最多の8選。820
1991/2/8	平成 3年		大学審議会、「大学教育の改善について」 「学位制度の見直し及び大学院の評価について」 「短期大学教育の改善について」 「高等専門学校教育の改善について」 答申。844
1991/3/**	平成 3年	教養部棟(現総合教育棟)の建設着工。494	
1991/4/1	平成 3年	大学院工学研究科機械工学専攻、精密工学専攻、機械工学第2専攻を機械システム工学専攻に改称。535	
1991/4/11	平成 3年	教育学部附属教育工学センターを改組し、附属教育実践研究指導センター設置(529では1991/4/1となる) 542・(529)	
1991/5/17	平成 3年		大学審議会、「平成5年度以降の高等教育の計画的整備について」、「大学院の整備充実について」、「大学設置基準等及び学位規則の改正について」答申。845 大学設置基準、短期大学設置基準、学位規則等改正(設置基準の大綱化、博士・修士の種類廃止等) 845 雲仙普賢岳で大規模火砕流発生。846
1991/6/3	平成 3年		
1991/6/3	平成 3年	ウィリアム・アンド・メアリー大学(アメリカ合衆国)と大学間交流協定を調印。 350・559・560	
1991/6/6	平成 3年		
1991/6/14	平成 3年	医学部附属動物実験施設開設15周年記念式を挙行。561	
1991/9/21	平成 3年	コマツ(本社:東京)から留学生支援の奨学金等が寄付され、「コマツグリーン基金留学生支援制度」として活用される。562	
1991/10/1	平成 3年		*北陸朝日放送開局。820
1991/10/4	平成 3年	リバプール・ジョン・モアズ大学(イギリス)と大学間交流協定を調印。350・563	
1991/10/8	平成 3年	シェフィールド大学(イギリス)と大学間交流協定を締結。350・564	
1991/10/12	平成 3年		*石川国体秋季大会開会式。820
1991/10/14	平成 3年	ダブリンシティ大学(アイルランド)と大学間交流協定を調印。350・565	
1991/11/25	平成 3年		大学審議会、大学院の量的整備について答申。848
1991/12/5	平成 3年	金沢大学に在籍する外国人留学生を対象とした「コマツセミナー」(第1回)を開催。 566	
1991/12/8	平成 3年		ソ連邦崩壊。847

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1992/1/27	平成 4年 第516回評議会において大学評価検討委員会を設置することが決定。 <sup>567</sup>	
1992/1/28	平成 4年 米テキサス大学のノーベル賞受賞科学者ジョセフ・ゴールドスタイン、マイケル・ブラウン両博士らを迎えて、医学部で「ユニバーシティーフォーラム金沢」を開催。 <sup>568</sup>	
1992/2/29	平成 4年 「留学生の現状と課題」をテーマに、初の「石川地域留学生交流推進会議 1991年度シンポジウム」を開催。 <sup>569</sup>	
1992/3/31	平成 4年 工学部電気エネルギー変換実験施設廃止(時限10年到来)( <sup>146</sup> によれば1992/4/1となる)。 <sup>146・535</sup>	
1992/3/**	平成 4年 屋外運動場(北キャンパス)完成。 <sup>570</sup>	
1992/4/1	平成 4年 工学部電磁場制御実験施設設置(時限10年)。 <sup>146・535</sup>	
1992/4/9	平成 4年 学生部に入試課を設置。 <sup>394</sup>	
1992/4/**	平成 4年 極低温研究室設置。 <sup>571</sup>	
1992/5/1	平成 4年	国家公務員完全週休2日制実施。 <sup>849</sup>
1992/5/6	平成 4年	経団連、大学の理工科系の研究機能を早急に強化すべきと提言発表。 <sup>850</sup>
1992/5/19	平成 4年	大学基準協会、「大学の自己点検・評価の手引き」作成・公表。 <sup>851</sup>
1992/5/30	平成 4年 医療技術短期大学部創立20周年記念式及び祝賀会を挙行。 <sup>572</sup>	
1992/6/16	平成 4年 経済学部が東北師範大学社会科学部(中国)と学部間交流協定を締結。 <sup>350・573</sup>	
1992/6/29	平成 4年 医療技術短期大学部において、北陸三県の高等学校の進学指導教諭を迎え「進学懇談会」を開催。 <sup>574</sup>	
1992/6/**	平成 4年 理学部棟が完成(平成4年9月移転)。 <sup>494</sup>	
1992/7/13	平成 4年 理学部が角間新キャンパスへ移転開始。 <sup>573</sup>	
1992/7/17	平成 4年	文部省調査研究協力者会議、地方分散化など留学生受け入れ洗い直し策を報告。 <sup>852</sup>
1992/7/20	平成 4年 経済学部が極東国立総合大学附属東洋大学(ロシア)と学部間交流協定を締結。 <sup>350・573</sup>	
1992/7/29	平成 4年	文部省生涯学習審議会、生涯学習の振興策答申。学歴中心からボランティア活動、社会経験を重視。 <sup>853</sup>
1992/8/27	平成 4年	*北陸新幹線、金沢・石動間着工。 <sup>820</sup>
1992/8/**	平成 4年 教育学部棟が完成(平成4年9月移転)。 <sup>494</sup>	
1992/9/1~22	平成 4年 教育学部が角間新キャンパスへ移転。 <sup>567</sup>	
1992/10/12	平成 4年 「金沢大学の自主的点検評価の項目とその方策について」を評議会へ答申。 <sup>567</sup>	
1992/10/24	平成 4年	*第7回国民文化祭。 <sup>820</sup>
1992/12/25	平成 4年 中西緑氏(金沢市在住)が学術の発展のために、金大医学部整形外科に1千万円を寄付。 <sup>575</sup>	
1993/2/7	平成 5年	*能登半島沖で地震。 <sup>820</sup>
1993/3/17	平成 5年 工学部附属電磁場制御実験施設の開所式を挙行。 <sup>576</sup>	
1993/3/**	平成 5年	東大と慶応大の大学院で「飛び級」博士・修士誕生。 <sup>854</sup>
1993/4/1	平成 5年 大学院教育学研究科音楽教育専攻の設置。 <sup>542</sup>	
1993/4/1	平成 5年 大学院社会環境科学研究科(独立研究科)博士後期課程(地域社会環境学専攻、国際社会環境学専攻)設置。 <sup>577・(537)・(578)</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会	
1993/4/2	平成 5年	*加賀市片野鴨池、ラムサール条約の登録湿地に決定。 820	
1993/4/22	平成 5年		
1993/5/11、 6/4	平成 5年		
1993/5/31	平成 5年		
1993/6/10 ~ 11	平成 5年		
1993/6/11	平成 5年		
1993/6/21	平成 5年		
1993/6/**	平成 5年		
1993/6/**	平成 5年		
1993/7/26 ~ 31	平成 5年		
1993/7/31	平成 5年		
1993/7/**	平成 5年		
1993/7/**	平成 5年		
1993/7/**	平成 5年		
1993/7/**	平成 5年		
1993/8/**	平成 5年		
1993/8/**	平成 5年		
1993/9/14	平成 5年		
1993/9/16	平成 5年		大学審議会、大学入試の改善について中間報告。推薦入学枠の上限を提示。 855
1993/9/22	平成 5年		
1993/9/**	平成 5年		
1993/10/20	平成 5年		
1993/10/**	平成 5年		
1993/12/11	平成 5年		
1993/12/22	平成 5年		
1994/2/**	平成 6年		
1994/3/7	平成 6年	理工系志願者伸び悩みのため、文部省「理工系分野の魅力向上に関する懇談会」設置。 856	
1994/3/25	平成 6年		
1994/3/**	平成 6年		
1994/3/**	平成 6年		
1994/3/**	平成 6年		
1994/3/**	平成 6年		
1994/3/**	平成 6年		

西 暦 (年号)		金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1994/3/27	平成 6年	使用開始)。 <sup>494</sup>	*石川県知事選挙で、谷本正憲が当選。 <sup>857</sup>
1994/4/25	平成 6年	教育学部附属学校統合移転整備事業の起工式を挙行。 <sup>585</sup>	
1994/8/9	平成 6年	角間地区北福利施設で完成祝賀会開催。 <sup>586</sup>	
1994/9/6	平成 6年		文部省、18歳人口減で国立大学・短大定員を200人減と発表。 <sup>858</sup>
1994/9/**	平成 6年	プール完成(平成6年10月使用開始)。 <sup>494</sup>	
1994/12/**	平成 6年	大学教育開放センターが完成(平成7年2月移転)。 <sup>494</sup>	
1994/12/**	平成 6年	国際交流会館が完成(平成7年2月閉館)。 <sup>494</sup>	
1994/12/**	平成 6年	本部棟(事務局、学生部、保健管理センター)が完成(平成7年2月移転)。 <sup>494</sup>	
1995/1/17	平成 7年		阪神・淡路大震災発生。 <sup>859</sup>
1995/1/21	平成 7年		能登空港建設促進議員連盟の設立総会。 <sup>820</sup>
1995/2/1	平成 7年	医学部附属病院が、阪神大震災被災者の救済にあたるため看護婦11人を神戸大学医学部附属病院に派遣。 <sup>587</sup>	
1995/2/4	平成 7年	阪神大震災被災者に防寒着、水、日用雑貨など4トントラック1台分の救援物資を輸送。 <sup>587</sup>	
1995/2/8	平成 7年	城内キャンパスさよならパーティーを開催。 <sup>587</sup>	
1995/2/8	平成 7年		*河北潟干拓農地で稲作栽培許可。 <sup>820</sup>
1995/2/10	平成 7年	事務局、学生部、保健管理センター、大学教育開放センターが角間新キャンパスへ移転。 <sup>587</sup>	
1995/3/3	平成 7年	国際交流会館完成式及び祝賀会を挙行。 <sup>587</sup>	
1995/3/**	平成 7年	理学部附属植物園完成。 <sup>589</sup>	
1995/4/1	平成 7年	共同研究センター及び留学生センター設置。 <sup>146・394・588</sup>	
1995/4/1	平成 7年	大学院自然科学研究科に地球環境科学専攻を設置。 <sup>146・536</sup>	
1995/4/1	平成 7年	学生部に留学生課を設置。 <sup>394</sup>	
1995/4/**	平成 7年	アカンサスイターフェイス(連絡橋)使用開始。 <sup>494</sup>	
1995/5/31	平成 7年	角間キャンパスへの総合移転第 期事業が完成し、記念式典と記念祝賀会を開催。 <sup>588</sup>	
1995/5/**	平成 7年	「総合移転第 期計画事業完成記念式典」を挙行。 <sup>494</sup>	
1995/6/7	平成 7年	理学部附属植物園移転披露・記念祝賀会を開催。 <sup>588</sup>	
1995/7/15	平成 7年	教育学部附属小学校で、「広坂校舎さよなら会」を挙行。 <sup>588</sup>	
1995/7/20	平成 7年	教育学部附属中学校では、終業式に黒板に「さよなら広坂」と書き、広坂校舎への感謝を示す。 <sup>588</sup>	
1995/8/**	平成 7年		
1995/9/18	平成 7年	総合情報処理センターの建設着工。 <sup>494</sup>	大学審議会組織運営部会、大学教員任期制を導入する必要があるとの提言を盛り込んだ中間報告を発表。 <sup>860</sup>
1995/10/1	平成 7年	医療技術短期大学部を廃止し、医学部保健学科(看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学)を設置。 <sup>180・590</sup>	



西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1995/12/9	教育学部附属学校(小学校・中学校・幼稚園)の新校舎が完成記念式典を挙行。 <sup>588</sup>	2009年から大学・短大の定員割れ始まる。リクルート、「大学全入」時代到来を予測。 861
1995/12/29	平成 7年	
1995/12/**	平成 7年 附属小・中・幼稚園校舎(平和町)完成記念式典挙行。 <sup>486・487</sup>	
1996/3/**	平成 8年 石川県へ総合移転第 期(城内地区)跡地を売却。 <sup>494</sup>	
1996/3/**	平成 8年 石川県土地開発公社から、総合移転第 期(角間)用地を購入。 <sup>494</sup>	
1996/3/**	平成 8年 医学部・大学院医学研究科が『教育と研究の歩み 1995』を発刊。	
1996/3/**	平成 8年 金沢大学の杜開設。 <sup>591</sup>	
1996/3/**	平成 8年 総合情報処理センターが完成(平成8年4月使用開始)。 <sup>494</sup>	
1996/3/**	平成 8年 角間キャンパス入口の「金沢大学標石」などを設置。 <sup>494</sup>	
1996/3/**	平成 8年 共同研究センターの建設着工。 <sup>494</sup>	
1996/3/**	平成 8年 角間ゲストハウス(非常勤講師宿泊施設)の建設着工。 <sup>494</sup>	
1996/3/31	平成 8年 教養部廃止。 <sup>360</sup>	
1996/4/1	平成 8年 教育学部小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、高等学校教員養成課程を学校教育教員養成課程に改組。言語障害児教育教員養成課程、聾学校教育教員養成課程、養護学校教育教員養成課程を障害児教育教員養成課程に改組。総合科学課程を人間環境課程に改組。 <sup>529・542</sup>	
1996/4/1	平成 8年 工学部に人間・機械工学科を新設。機械システム工学科を機能機械工学科に改称。 <sup>146・592</sup>	
1996/4/1	平成 8年 文学部行動科学科を人間学科に改称。小講座制を大講座制に移行、人間学科7講座が5大講座、史学科7講座が5大講座、文学科10講座が6大講座になる。 <sup>593</sup>	
1996/4/1	平成 8年 法学部に公共システム学科新設。法学科4大講座、公共システム学科2大講座。 <sup>594</sup>	
1996/4/1	平成 8年 大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程(独立専攻)設置。薬学部は小講座を大講座制に移行、薬学科7小講座を3大講座に製薬化学科6小講座に3大講座。 <sup>467</sup>	
1996/4/1	平成 8年 理学部に計算科学科(2大講座)設置。地学科を地球学科に改称。小講座を大講座制に移行、数学科6講座を2大講座、物理学科7講座を3大講座、化学科7講座を3大講座、生物学科5講座を2大講座、地球学科5講座を2大講座。 <sup>595</sup>	
1996/4/1	平成 8年 教養部の改組を中心として教育研究組織を改革(各部等を改組)。教養部の改組転換に伴い「教養教育機構」が発足。 <sup>146・596・(494)</sup>	
1996/4/1	平成 8年 「金沢大学標石」除幕式を挙行。 <sup>597</sup>	
1996/4/1	平成 8年 「金沢大学総合教育棟」除幕式を挙行。 <sup>597</sup>	
1996/4/24	平成 8年 総合情報処理センター施設披露。 <sup>596</sup>	
1996/4/29	平成 8年 「金沢大学の杜」づくりがスタート。 <sup>(596)・(597)</sup>	
1996/5/11	平成 8年 外国語教育研究センターを設置。庶務部に国際交流課及び企画室を設置。 <sup>394</sup>	

西 暦 (年号)		金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1996/5/14	平成 8年	総合移転第 期計画事業に係る「基本設計」に着手。 <sup>494</sup>	*志賀原発1号機で原子炉停止。 <sup>820</sup>
1996/5/**	平成 8年		
1996/6/8	平成 8年	「旧大学標石」移設記念式を挙行。 <sup>597</sup> 総合移転第 期計画事業完成記念植樹・石碑除幕式を挙行。 <sup>598</sup>	*角間依線(中山道)開通記念式。 <sup>(597)</sup>
1996/6/24	平成 8年		
1996/7/23	平成 8年		
1996/10/1	平成 8年		大学審議会、サラリーマン・主婦大学院らが大学院に入りやすくなど、大学院の今後の在り方について報告書提出。 <sup>862</sup>
1996/10/14	平成 8年	大学の国際交流をテーマに「平成8年度第2回金沢大学フォーラム」が開催。 <sup>599</sup>	
1996/10/29	平成 8年		大学審議会、教員の選択的任期制の導入を答申。 <sup>863</sup>
1996/11/9	平成 8年	附属養護学校に日常生活訓練施設「すずかけの家」が完成。 <sup>564</sup>	
1996/11/24	平成 8年	「放射能発見100周年記念講演会」を開催。 <sup>564</sup>	
1996/11/28	平成 8年		*「若松ロードパーク」などに桜の苗木400本を植樹。 <sup>564</sup>
1996/11/**	平成 8年	角間ゲストハウス(非常勤講師宿泊施設)が完成(平成9年1月使用開始)。 <sup>494</sup>	
1996/12/1	平成 8年	文学部とオックスフォード大学ペンブロックカレッジ(イギリス)と部局間交流協定を調印。 <sup>350</sup>	
1996/12/16	平成 8年	金沢大学50年史編纂室が発足。 <sup>600</sup>	
1996/12/27	平成 8年	タフツ大学(アメリカ合衆国)と大学間交流協定を調印。 <sup>350・601</sup>	
1996/12/**	平成 8年	共同研究センターが完成(平成9年2月使用開始)。 <sup>494</sup>	
1997/1/2	平成 9年		*ロシア船タンカー「ナホトカ」号の重油流出事故。 <sup>820</sup>
1997/1/6	平成 9年	金沢大学ホームページを開設(2月14日から学外に対して公開を開始)。 <sup>601</sup>	
1997/1/10	平成 9年	角間ゲストハウス開館記念式を挙行。 <sup>601</sup>	
1997/1/22	平成 9年	蘇州大学(中国)と大学間交流協定を締結(1996/3/15に、がん研究所が蘇州医学院医学生物技術研究所と学部間交流協定を締結)。 <sup>350・601・602・603</sup>	
1997/1/29	平成 9年		大学審議会、高等教育将来構想に関して答申。臨時定員5割恒常化などを認める。 <sup>864</sup>
1997/2/24	平成 9年	附属図書館と金沢市立図書館(玉川、泉野両図書館)と図書館の相互貸借、文献複写等の相互協力の覚書を締結。 <sup>604</sup>	
1997/3/8	平成 9年	共同研究センター棟完成記念式典を挙行。 <sup>349</sup>	
1997/3/11	平成 9年	「第1回国際がんシンポジウム」を開催。 <sup>349</sup>	
1997/3/**	平成 9年	総合移転第 期計画事業に係る「基本設計」が完了。 <sup>494</sup>	
1997/3/**	平成 9年	教育学部実習農場完成。 <sup>605</sup>	
1997/4/1	平成 9年	がん研究所10部門を3大部門に改組。がん研究所に分子標的薬剤開発センター(時限10年)設置。 <sup>416</sup>	
1997/4/1	平成 9年	大学院自然科学研究科博士後期課程に数理情報科学専攻設置。理学研究科、薬学研究科、工学研究科(修士課程)廃止、博士前期課程(修士)を設置。修士課程の再編成、12専攻を9専攻(数物科学専攻、物質化学	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1997/5/23	平成 9年	
1997/5/**	平成 9年	
1997/6/13	平成 9年	
1997/6/18	平成 9年	
1997/6/27	平成 9年	
1997/7/1	平成 9年	
1997/8/26	平成 9年	
1997/8/29	平成 9年	最高裁、第3次家永教科書検定訴訟で原告一部勝訴。 <sup>865</sup>
1997/9/18	平成 9年	
1997/9/22	平成 9年	
1997/9/30	平成 9年	
1997/10/14	平成 9年	
1997/10/17・18	平成 9年	
1997/10/26	平成 9年	
1997/11/3	平成 9年	
1997/11/25 ~ 12/2	平成 9年	
1997/12/12	平成 9年	
1997/12/20	平成 9年	*能登空港、政府予算案に事業費計上。 <sup>820</sup>
1998/2/7	平成10年	第18回冬季オリンピック長野大会が開幕。 <sup>866</sup>
1998/2/9	平成10年	
1998/3/4	平成10年	
1998/3/16	平成10年	
1998/3/17	平成10年	
1998/3/21・22	平成10年	
1998/3/23	平成10年	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1998/3/30	平成10年 学部附属病院の病棟新営工事の起工式を挙 行。 <sup>615</sup> 日本海域研究所、油流出災害を中心テー マに「日本海域国際フォーラム in 金沢」を 開催。 <sup>615</sup>	
1998/3/31	平成10年 理学部がチェンマイ大学理学部(タイ)と 部局間交流協定を締結。 <sup>350</sup>	
1998/3/31	平成10年 広坂の附属小・中学校跡地を金沢市に売 却。 <sup>615</sup>	
1998/4/1	平成10年 大学院医学研究科に分子情報医学系専攻設 置。医学部神経情報研究施設の廃止。 <sup>617</sup>	
1998/4/1	平成10年 大学院自然科学研究科博士後期課程を改 組。物質科学専攻、生命科学専攻、システ ム科学専攻を廃止し、物質構造科学専攻 (3講座)、機能開発科学専攻(3講座)、生 命科学専攻(5講座)、システム創成科学専 攻(3講座)を設置。 <sup>146・536</sup>	
1998/4/2	平成10年 華西医科大学(中国)と大学間交流協定を 調印(がん研究所が1996/12/19に華西医科 大学医学院、1996/11/20に同大学公衆衛生 学院と、また1997/3/3に医学部が華西医科 大学医学院、同大学公衆衛生学院と部局間 交流を締結)。 <sup>350・603・618</sup>	
1998/4/6	平成10年 ロンドン大学医学部のデイビッド・アンソ ニー・ブラウン教授に、本学二人目の名誉 博士号を授与。 <sup>618</sup>	
1998/4/16	平成10年 東亜大学(大韓民国)と大学間交流協定を 調印。 <sup>350・618</sup>	
1998/4/18	平成10年 総合移転第 期計画事業起工式を挙 行。 <sup>618・619</sup>	
1998/5/11	平成10年 教育学部附属養護学校第35回創立記念式を 挙行。 <sup>620</sup>	
1998/5/29	平成10年 教育学部附属小学校がパーウィック学園初 等学校(アメリカ合衆国)と部局間交流協 定を締結。 <sup>350</sup>	
1998/7/1	平成10年 埋蔵文化財調査センターの開所式を挙 行。 <sup>621</sup>	
1998/7/1	平成10年	*能登島大橋が無料化。 <sup>820</sup>
1998/7/5	平成10年	*石川県畜産総合センターで世界初のク ローン牛誕生。 <sup>820</sup>
1998/7/9	平成10年 理学部が国立釜慶大学校自然科学大学(大 韓民国)と部局間交流協定を締結。 <sup>350</sup>	
1998/8/5	平成10年 ニューヨーク州立大学ニューボルツ校(ア メリカ合衆国)と大学間交流協定を締結 (1994/10/11に教育学部と部局間交流協 定を調印)。 <sup>350・603・621</sup>	
1998/8/6	平成10年	今春の大学卒の就職率65.6%で実質的に 戦後最低。 <sup>868</sup>
1998/8/24	平成10年 工学部が湖西大学校工科大学(大韓民国) と部局間交流協定を締結。 <sup>350・622</sup>	
1998/8/24	平成10年 オーストラリア国立大学(オーストラリア) と大学間交流協定を締結。 <sup>350・622</sup>	
1998/9/3	平成10年 国立カザン大学(ロシア)と大学間交流協 定を締結(1993/1/1に理学部と学部間交流 協定を締結)。 <sup>350・603・622</sup>	
1998/9/5	平成10年 東京池袋での「外国人学生のための進学説 明会」に初参加。 <sup>622</sup>	
1998/10/9	平成10年 「キャンパス2050」シンポジウム開催、金 沢大学の未来像を提言。 <sup>623・624</sup>	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1998/10/23	平成10年	金融再生法施行。長銀が特別公的管理の適用を申請。 <sup>869</sup> 大学審議会、「出にくい大学」への転換、大学院の拡充など、「21世紀の大学像と改革方策」について答申。 <sup>870</sup> *能登空港の起工式。 <sup>820</sup>
1998/10/26	平成10年	
1998/11/5	平成10年	キューリー夫妻ラジウム発見100周年記念講演会を開催。 <sup>625</sup> 大学院医学研究科分子情報医学系専攻の新設を記念して国際シンポジウムを開催。 <sup>625</sup> フルブライト・メモリアル基金事業による米国教員一行が本学を訪問。 <sup>625</sup> ユバスキュラ大学(フィンランド)と大学間交流協定を締結。 <sup>350・626</sup>
1998/11/8	平成10年	
1998/11/13 ~ 14	平成10年	文芸学部が北京大学中国語文学系(中国)と部局間交流協定を締結。 <sup>350</sup> 工学部が南オーストラリア大学情報工学・環境工学学群(オーストラリア)と部局間交流協定を締結。 <sup>350</sup> 金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業大学の3大学間で大学院単位互換協定を締結。 <sup>627・628</sup> 田上第5及び田上本町土地区画整理事業建設起工式が挙行。 <sup>627</sup> 外部評価導入へ「平成10年度第2回金沢大学フォーラム」開催。 <sup>629</sup> ハルビン医科大学(中国)と大学間交流協定を締結。 <sup>350・630</sup> 創立50周年記念「キャンパス2050」モニメントの完成記念テープカットを挙行。 <sup>630</sup>
1998/11/24	平成10年	
1998/12/17	平成10年	*能登沖で国籍不明船が領海侵犯。 <sup>820</sup> コソボ紛争でNATOがユーゴの空爆を開始。 <sup>872</sup>
1999/1/1	平成11年	
1999/1/4	平成11年	欧州単一通貨ユーロが誕生。 <sup>871</sup>
1999/1/20	平成11年	
1999/1/25	平成11年	医療技術短期大学の閉学記念式が挙行。 <sup>630</sup> 重油流出事故から2年、日本海域研究所が「第2回日本海域国際フォーラム in 金沢」を開催。 <sup>630</sup>
1999/1/29	平成11年	
1999/2/15	平成11年	教育実践総合センター設置(教育実践研究指導センターの転換)。 <sup>542</sup> 附属病院に周産母子センター設置。 <sup>631</sup> 教育学部附属教育実践研究指導センターが改組。教育実践総合センターの開所式が挙行。 <sup>632</sup> 理学部が国立シンガポール大学理学部(シンガポール)と部局間交流を締結。 <sup>350</sup> 理学部がフィリピン大学ディリマン校(フィリピン)と部局間交流を締結。 <sup>350</sup> 金沢大学・金沢市民交流シンポジウム「心の教育・やさしい心を育むために」(50周年関連行事)が開催。 <sup>633</sup> 金沢大学創立50周年記念展示が開幕。 <sup>633</sup> 若手研究者シンポジウム「新しい金大が動き出す。」(50周年関連行事)が開催。 <sup>633</sup> 金沢大学創立50周年の記念式典と祝賀会を開催。 <sup>633・634</sup> 立花隆氏(評論家)を講師に招き、50周年記念特別講演会「21世紀の日本と大学の役
1999/3/20	平成11年	
1999/3/20	平成11年	*
1999/3/23	平成11年	
1999/3/24	平成11年	*
1999/3/26	平成11年	
1999/3/26	平成11年	*
1999/4/1	平成11年	
1999/4/1	平成11年	*
1999/4/7	平成11年	
1999/4/26	平成11年	*
1999/5/11	平成11年	
1999/5/14	平成11年	*
1999/5/28	平成11年	
1999/5/28	平成11年	*
1999/5/29	平成11年	
1999/5/30	平成11年	*

西 暦 (年号)		金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1999/5/30 ~6/1	平成11年	割」を開催。 <sup>633</sup> 国際シンポジウム「地球・水・人間」(50周年 関連行事)が開催。 <sup>633</sup>	<p>文部省は、大検合格を条件に外国人学校 卒業生に国立大学の受験を認める方針を 決定。<sup>873</sup> 大学審議会大学院部会は、大学院入試受 験資格を「学歴不問」とする報告書をま とめる。<sup>873</sup></p> <p>文部省は、大学院進学に関して「縁故主 義」を改め、「学生の流動化」を促す方 針を決定。<sup>874</sup></p>
1999/6/13	平成11年	金沢大学・白山麓地区交流シンポジウム (50周年関連行事)が開催。 <sup>635</sup>	
1999/6/14	平成11年	百万石まつり“パレードの部”に金沢大学 が初参加(50周年関連行事)。 <sup>635</sup>	
1999/6/30 1999/7/8	平成11年 平成11年	『金沢大学50年史部局編』が刊行。	
1999/7/8	平成11年		
1999/7/16	平成11年	チュラロンコン大学(タイ)と大学間交流 協定を締結。 <sup>350・636</sup>	
1999/7/**	平成11年		
1999/8/4	平成11年	全学部が参加して、高校生を対象とした 「金沢大学見学会」が開催。 <sup>636</sup>	
1999/8/16 ~20	平成11年	学生を対象とした「金沢大学インターンシ ップ」を実施。 <sup>636</sup>	
1999/8/** 1999/9/1	平成11年 平成11年	『金沢大学 写真で見る50年』が刊行。 プーナ大学(インド)と大学間交流協定を 締結(1997/8/17に、文学部とプーナ大学 サンスクリット・プラークリット語学科が 部局間交流協定を締結)。 <sup>350・603・637</sup>	
1999/9/14	平成11年	北京師範大学(中国)と大学間交流協定を 締結。 <sup>350</sup>	
1999/9/14	平成11年		
1999/9/22 1999/9/26	平成11年 平成11年	林勇二郎が第9代学長に就任。 <sup>322・563</sup> 金沢大学・加賀市交流シンポジウム(50周 年関連行事)が開催。 <sup>563</sup>	<p>文部省は、文部省令を改正し大学院修士 課程について「1年制コース」、「長期在 学コース(2年制)」の設置を認める。<sup>875</sup></p> <p>茨城県東海村で初の臨界事故、被爆者死 亡。<sup>876・877</sup> 中央教育審議会は、大学入試センター試 験に「総合問題」を新設し、思考力や表 現力を試すようにするなど、入試制度を 抜本的に改めるよう提言する方針を固め る。<sup>878</sup></p>
1999/9/27	平成11年	角間キャンパス内の呼称を変更(北キャン パス、南キャンパス、西キャンパスを北地 区、中地区、東地区、西地区、南地区)。 <sup>638</sup>	
1999/9/30	平成11年		
1999/10/7	平成11年		
1999/10/13	平成11年	レーゲンスブルク大学(ドイツ)と大学間 交流協定を締結。 <sup>350・638</sup>	
1999/10/16	平成11年	金沢大学・能登地区交流シンポジウム(50 周年関連行事)が開催。 <sup>638</sup>	
1999/11/1 1999/11/6	平成11年 平成11年	金沢大学創立50周年記念シンポジウム「21 世紀の暮らしと地域をつくる-規制緩和と 地域生活-」が開催。 <sup>639</sup>	
1999/11/10	平成11年	金沢大学、中小企業総合事業団、(財)石 川県産業創出支援機構の共催で「産学官技 術交流会-LINK21-」を開催。 <sup>639</sup>	
1999/11/27	平成11年	独立行政法人化問題をテーマに「平成11年 度金沢大学フォーラム(第1回)」が開催。	

西 暦 (年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
1999/12/28 ~ 2000/1/4	平成11年 角間ゲストハウスに、コンピューター2000年問題のための「西暦2000年問題対策室」を設置。 <sup>639</sup>	
2000/1/27 2000/1/29	平成12年 角間川通水式を挙行。 <sup>640</sup> 平成12年 金沢大学「角間の里山自然学校」で「冬の里山歩き」を開催。 <sup>641</sup>	
2000/1/21 ~3/31	平成12年 平成11年度金沢大学放送講座「知の集積回路：プロジェクト金沢」が、MROテレビで放送。 <sup>637</sup>	
2000/2/21	平成12年 金沢大学ら県内8大学と中国江蘇省の8大学が、複数大学間有効交流協定を締結。 <sup>641</sup>	
2000/3/14	平成12年 工学部がサヴォア大学（フランス）と部局間交流を締結。 <sup>642</sup>	
2000/3/29	平成12年 「第3回日本海地域国際フォーラム in 金沢」を開催。 <sup>643</sup>	
2000/4/1	平成12年 大学院法学研究科に公共システム専攻を設置。 <sup>594</sup>	
2000/4/1	平成12年 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称。 <sup>617</sup>	
2000/4/1	平成12年 大学院医学系研究科保健学専攻修士課程を設置。 <sup>617・644</sup>	
2000/4/1	平成12年 工学部電気・情報工学科を電気電子システム工学科、情報システム工学科に改組。 <sup>592</sup>	
2000/4/1	平成12年 副学長を設置。 <sup>645</sup>	
2000/4/1	平成12年 事務局と学生部を一元化、庶務部を総務部と改称し、学生部長を設置。総務部に研究協力課、企画広報室設置。経理部に契約室設置。学生部に共通教育室設置。大学院自然科学研究科に事務部を設置。教育学部と教育学部附属学校の事務部を一元化。薬学部とがん研究所の事務部を統合。 <sup>645・(646)</sup>	
2000/4/5 2000/4/19	平成12年 平成12年	*石川2区選出の森喜朗が首相となる。 <sup>880</sup> *NHK、平成14年度大河ドラマ「利家とまつ・加賀百万石物語」の制作を発表。 <sup>881</sup>
2000/4/21	平成12年 キング・モンクット工科大学トンブリ校（タイ）と大学間交流協定を締結（1995/5/1に工学部がトンブリ校工学部と部局間交流協定を締結）。 <sup>146・350・603</sup>	
2000/4/22	平成12年 公開シンポジウム「地域と金沢大学・21世紀に向けた相互発展を目指して」を開催。 <sup>646</sup>	
2000/4/28	平成12年 文学部がプリンストン大学東洋学部（アメリカ）と部局間交流を締結。 <sup>642</sup>	
2000/5/9	平成12年 アイソトープ総合センターが開設20周年記念式典を挙行。 <sup>642</sup>	
2000/5/12	平成12年 薬学部が北京大學薬学院（中国）と部局間交流を締結。 <sup>642</sup>	
2000/5/12	平成12年 「水淵韻文学の里」で金子曾政元学長の歌碑除幕式が挙行。 <sup>642</sup>	
2000/5/26	平成12年	文部省、国立大学と大学共同利用機関の独立行政法人化を行う方針を正式に表明。 <sup>882</sup>
2000/6/2	平成12年	人事院、国立大学教官が民間企業の役員を兼任することを初めて承認。 <sup>883</sup>
2000/6/13	平成12年	韓国の金大中大統領が北朝鮮を訪問、金正日総書記と会談。 <sup>885</sup>
2000/6/14	平成12年 理学部は、理数科教育の振興を目的として	

西 暦	(年号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
2000/6/16	平成12年	県立3校(小松高校、金沢泉丘高校、七尾高校)及び県教育センターと教育研究連携委員会を設置。 <sup>644</sup>	
2000/6/23	平成12年	環境保全センターが20周年記念式典・記念講演会を挙行。 <sup>644</sup>	
2000/7/1	平成12年	第609回評議会で、初めて金大の基本理念と目標を設ける。基本理念は「人類の知的遺産の継承と革新を目指す、地球と世界に開かれた大学・未来を志向して、変革し続ける大学」、目標は「1. 課題探求能力をもった国際教養人の育成、2. 世界に向けて情報発信する研究志向型の大学、3. 主体的に地域と交流するアカデミア、4. 地域から社会へ、5. 人間性を重視した高度先進医療の推進、6. 能力・資質をもった意欲的学生の発掘」となる。 <sup>647</sup>	
2000/7/5	平成12年	学内共同利用施設として技術支援センターが発足。 <sup>648</sup>	
2000/7/**	平成12年	「みんなで若者会社をつくろう」をテーマに、共同研究センターは、(財)石川県産業創出支援機構と共催で「アントレプレナー in 金沢大学」を開催。 <sup>648</sup>	文部省は、研究課題や大学運営のあり方など長期的視点にたった大学政策を検討する審議機関を創設する方針を固める。 <sup>888</sup>
2000/8/17	平成12年	ルブリン工科大学(ポーランド)と大学間交流協定を締結(1984/7/3に、工学部とルブリン工科大学が学部間交流協定を締結)。 <sup>146・350・603・649</sup>	
2000/8/18	平成12年		伊豆諸島・三宅島で大規模な噴火し、住民が避難。 <sup>889</sup>
2000/8/21	平成12年	ヘルシンキ工科大学(フィンランド)と大学間交流協定を調印。 <sup>648</sup>	
2000/8/23	平成12年	スロバキア工科大学(スロバキア共和国)と大学間交流協定を調印。 <sup>648</sup>	
2000/8/24	平成12年		文部省が、国立大学の教員養成系学部の再編や統合を進める方針を明らかにする。 <sup>890</sup>
2000/9/2	平成12年	石川県社会教育センターで、「金沢大学サテライト・プラザ」のオープンセレモニーが挙行。ミニ講演「これまでの大学・これからの大学」を開催。 <sup>650</sup>	
2000/9/11	平成12年		国立大学協会第2常置委員会は、大学入試センター試験で、国立大学の全受験生に5教科7科目の受験を義務づけるよう求める提言を発表。 <sup>891</sup>
2000/9/24	平成12年		シドニー五輪女子マラソンで、高橋尚子が日本女子陸上初の金メダル。 <sup>892</sup>
2000/9/26	平成12年	釜山国立大学校(大韓民国)と大学間交流協定を調印(1995/3/13にがん研究所が釜山国立大学校自然科学大学分子生物学部、1995/3/27がん研究所が釜山国立大学校遺伝工学研究所、1998/12/23薬学部が釜山国立大学校薬学大学と部局間交流協定を締結)。 <sup>350・603・650</sup>	
2000/9/29	平成12年	大学院医学系研究科保健学専攻修士課程設置記念式典・祝賀会を挙行。 <sup>650</sup>	
2000/11/3	平成12年	工学部80周年記念式典・祝賀会を挙行。 <sup>651</sup>	
2000/11/22	平成12年	ロシア科学アカデミー極東支部と交流協定を締結。 <sup>651</sup>	



西 暦	(年 号)	金 沢 大 学 関 係	地 域 社 会
2000/11/22	平成12年		大学審議会、大学入試センター試験の年2回実施や成績の次年度利用、成績の本人開示などの提言をまとめ答申。 <sup>895</sup>
2000/11/26	平成12年	ノーベル賞受賞者利根川進博士(マサチューセッツ工科大)が医学部十全講堂で講演。 <sup>651</sup>	
2000/12/22	平成12年		教育改革国民会議は、教育基本法見直しや奉仕活動の実施など「17の提案」を盛り込んだ報告をまとめ、首相に手渡す。 <sup>896</sup>
2000/12/**	平成12年	金沢大学「校章」・「校旗」に関する規程を制定(校章はアカンサスの葉を図案化、校旗は茄子紺色地の中央に校章をあしらう)。 <sup>652</sup>	
2001/1/**	平成13年	総合移転第 期計画事業角間南地区大学院研究棟着工決定。 <sup>653</sup>	

# 出 典 表

- |    |  |    |  |
|----|--|----|--|
| 1  | 『石川県教育史 1巻』(石川県教育委員会 1974) P1224                 | 40 | 『石川県教育史 1巻』 P1245                          |
| 2  | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』(財界評論新社 1972) P21             | 41 | 『石川県教育史 1巻』 P362~363                       |
| 3  | 『県史17 石川県の歴史』(山川出版社 2000) P15 (頁数は本文ではなく「付録」の頁数) | 42 | 『石川県教育史 1巻』 P1247                          |
| 4  | 『石川県教育史 1巻』 P1226                                | 43 | 『金沢大学医学部百年史』 P777                          |
| 5  | 『県史17 石川県の歴史』 P16                                | 44 | 『石川県教育史 1巻』 P1248                          |
| 6  | 『医学部年表』(50年史編纂室に提出分)                             | 45 | 『石川県教育史 1巻』 P1249                          |
| 7  | 『金沢大学医学部百年史』(金沢大学医学部創立百年記念会 1972) P775           | 46 | 『石川県教育史 1巻』 P1250                          |
| 8  | 『石川県教育史 1巻』 P1227                                | 47 | 『石川県教育史 1巻』 P1252                          |
| 9  | 『石川県教育史 1巻』 P1229                                | 48 | 『石川県師範教育史』(金沢大学教育学部明倫同窓会 1953) P62         |
| 10 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P22                          | 49 | 『金沢大学医学部百年史』 P778                          |
| 11 | 『石川県教育史 1巻』 P1230                                | 50 | 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P4                    |
| 12 | 『石川県教育史 1巻』 P1231                                | 51 | 『石川県教育史 1巻』 P1253                          |
| 13 | 『石川県教育史 1巻』 P1232                                | 52 | 『石川県教育史 1巻』 P1255                          |
| 14 | 『金沢の百年(明治編)』(金沢市 1965)                           | 53 | 『石川県教育史 1巻』 P1256                          |
| 15 | 『実録石川県史1868~1989』(能登印刷出版部 1991)                  | 54 | 『石川県教育史 1巻』 P1257                          |
| 16 | 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』(金沢医科大学 1947) P1             | 55 | 『金沢大学医学部百年史』 P779                          |
| 17 | 『石川県教育史 1巻』 P1233                                | 56 | 『石川県教育史 1巻』 P1258                          |
| 18 | 『金沢大学医学部百年史』 P776                                | 57 | 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月(第四高等学校 1942)』 P3 |
| 19 | 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P2                          | 58 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P270                   |
| 20 | 『石川県教育史 1巻』 P1234                                | 59 | 『県史17 石川県の歴史』 P17                          |
| 21 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P23                          | 60 | 『石川県教育史 1巻』 P1260                          |
| 22 | 『石川県教育史 1巻』 P1235                                | 61 | 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P5                    |
| 23 | 『石川県教育史 1巻』 P1236                                | 62 | 『学制百年史 資料編』(文部省 1972) P675                 |
| 24 | 『石川県教育史 1巻』 P299                                 | 63 | 『石川県教育史 1巻』 P1261                          |
| 25 | 『石川県教育史 1巻』 P1237                                | 64 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P25                    |
| 26 | 『石川県教育史 1巻』 P301                                 | 65 | 『四高八十年』(第四高等学校同窓会 1967) P474               |
| 27 | 『石川県教育史 1巻』 P337                                 | 66 | 『学制百年史 資料編』 P672                           |
| 28 | 『石川県教育史 1巻』 P338                                 | 67 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P30                    |
| 29 | 『石川県教育史 1巻』 P1238                                | 68 | 『石川県教育史 1巻』 P1262                          |
| 30 | 『石川県教育史 1巻』 P1239                                | 69 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P26、30~31              |
| 31 | 『石川県教育史 1巻』 P158                                 | 70 | 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P4              |
| 32 | 『石川県教育史 1巻』 P373                                 | 71 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P31                    |
| 33 | 『石川県教育史 1巻』 P302                                 | 72 | 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P27~28          |
| 34 | 『石川県教育史 1巻』 P1240                                | 73 | 『石川県教育史 1巻』 P1263                          |
| 35 | 『石川県教育史 1巻』 P1241                                | 74 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P32                    |
| 36 | 『石川県教育史 1巻』 P1242                                | 75 | 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』                        |
| 37 | 『石川県教育史 1巻』 P1243                                |    |  |
| 38 | 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P3                          |    |  |
| 39 | 『石川県教育史 1巻』 P1244                                |    |  |

- P33
- 76 『金沢大学医学部百年史』 P780
- 77 『石川県教育史 1巻』 P1264
- 78 『学制百年史 資料編』 P670
- 79 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P34
- 80 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P5
- 81 『石川県師範教育史』 P94、114
- 82 『石川県教育史 1巻』 P1265
- 83 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P35
- 84 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P271
- 85 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』  
P6
- 86 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P37
- 87 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P36
- 88 『石川県教育史 1巻』 P1268
- 89 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P6
- 90 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P39
- 91 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P40
- 92 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P41
- 93 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P43
- 94 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P44
- 95 『石川県教育史 1巻』 P1270
- 96 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P28
- 97 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P47
- 98 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P48～49
- 99 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P50
- 100 『石川県教育史 1巻』 P1272
- 101 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P51
- 102 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P7
- 103 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P52
- 104 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P54
- 105 『石川県教育史 1巻』 P1274
- 106 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P57
- 107 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P58
- 108 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P8
- 109 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P59
- 110 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P60
- 111 『金沢大学医学部百年史』 P781
- 112 『石川県教育史 1巻』 P1278
- 113 『学制百年史 資料編』 P652
- 114 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P61
- 115 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P63
- 116 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P272
- 117 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P62
- 118 『石川県教育史 1巻』 P1279
- 119 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P9
- 120 『石川県教育史 1巻』 P1280
- 121 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P65
- 122 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P67
- 123 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P68
- 124 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P69
- 125 『県史17 石川県の歴史』 P18
- 126 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P71～72
- 127 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P10
- 128 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P73
- 129 『石川県教育史 1巻』 P1284
- 130 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P74～75
- 131 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P76～78
- 132 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P11
- 133 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P79
- 134 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P80
- 135 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P81
- 136 『石川県教育史 1巻』 P1285
- 137 『金沢大学医学部百年史』 P782
- 138 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』

- P7
- 139 『金沢大学十年史』(金沢大学 1960) P133
- 140 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P82~83
- 141 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P12
- 142 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P84~85
- 143 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P273
- 144 『金沢大学工学部50年史』(金沢大学工学部50周年記念事業会 1970) P2、317
- 145 『金沢大学工学部50年史』 P5~6
- 146 「工学部略年表」(『金沢大学50年史 部局篇』付録)
- 147 『石川県年表 大正編』(石川県教育委員会 1956)
- 148 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P97
- 149 『石川県教育史 2巻』(石川県教育委員会 1975) P1093
- 150 『金沢大学医学部百年史』 P783
- 151 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P88
- 152 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P89
- 153 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P13
- 154 『金沢大学教育学部付属小学校百年史』(金沢大学教育学部付属小学校百年史刊行委員会 1974) P1204
- 155 『石川県教育史 2巻』 P1092
- 156 『金沢大学工学部50年史』 P11、317
- 157 『石川県教育史 2巻』 P1094
- 158 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P14
- 159 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P92~94
- 160 『金沢大学工学部50年史』 P14、317
- 161 『金沢大学工学部50年史』 P15
- 162 『石川県教育史 2巻』 P262、1095
- 163 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P98
- 164 『石川県教育史 2巻』 P1097
- 165 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭和19年』(金沢高等工業学校 1943) P2
- 166 『学制百年史 資料編』 P620
- 167 「官報」2497号
- 168 『金沢大学工学部50年史』 P18、317
- 169 『金沢大学工学部50年史』 P17、318
- 170 『金沢大学工学部50年史』 P25、318
- 171 『石川県教育史 2巻』 P1098
- 172 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭和19年』 P3
- 173 『金沢大学工学部50年史』 P17
- 174 『金沢大学工学部50年史』 P30~31、318
- 175 『金沢大学工学部50年史』 P40、318
- 176 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P99~100
- 177 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P15
- 178 『金沢大学医学部百年史』 P784
- 179 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P8
- 180 「保健学科年表」(50年史編纂室に提出分)
- 181 『金沢大学医学部百年史』 P600
- 182 『石川県教育史 2巻』 P1099
- 183 『四高八十年』 P475
- 184 『学制百年史 資料編』 P614
- 185 『学制百年史 記述編』(文部省 1972) P504
- 186 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P102
- 187 『金沢大学工学部50年史』 P318
- 188 『金沢大学工学部50年史』 P31~35、318
- 189 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭和19年』 P4
- 190 『金沢大学工学部50年史』 P68、318
- 191 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P9
- 192 『金沢大学医学部百年史』 P785
- 193 『石川県教育史 2巻』 P1100
- 194 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P104
- 195 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P274
- 196 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』 P16
- 197 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P106
- 198 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P111
- 199 『石川県教育史 2巻』 P1101
- 200 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』 P10
- 201 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭和19年』 P5
- 202 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P108
- 203 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』 P107
- 204 『石川県年表 昭和編 1巻』(石川県教育委員会 1957)
- 205 『金沢大学工学部50年史』 P40

- 206 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P110
- 207 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P17
- 208 『県史17 石川県の歴史』 P19
- 209 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P114
- 210 『金沢大学医学部百年史』 P786
- 211 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』  
P12
- 212 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P115
- 213 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P117
- 214 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P116
- 215 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P18
- 216 『学制百年史 資料編』 P600
- 217 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P230
- 218 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P19
- 219 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P122
- 220 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭  
和19年』 P8
- 221 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P124
- 222 『金沢大学工学部50年史』 P43、319
- 223 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭  
和19年』 P9
- 224 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P127
- 225 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P129
- 226 『石川県教育史 2巻』 P1111
- 227 『石川県教育史 2巻』 P1112
- 228 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P136 ~ 137
- 229 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P132
- 230 『金沢大学工学部50年史』 P82、319
- 231 『金沢大学工学部50年史』 P319
- 232 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P275
- 233 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P131
- 234 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P19 ~ 20
- 235 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P132 ~ 133
- 236 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P135
- 237 『金沢大学医学部百年史』 P788
- 238 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』  
P17
- 239 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭  
和19年』 P10
- 240 『石川県教育史 2巻』 P1113
- 241 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P138
- 242 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P139
- 243 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P234
- 244 『金沢大学工学部50年史』 P83 ~ 84、  
319
- 245 『石川県教育史 2巻』 P1114
- 246 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』  
P18
- 247 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭  
和19年』 P11
- 248 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P141 ~ 142
- 249 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P142 ~ 143
- 250 『金沢大学工学部50年史』 P193、319
- 251 『金沢大学工学部50年史』 P83、319
- 252 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P145 ~ 146
- 253 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P148
- 254 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和  
18年3月』 P21
- 255 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P150 ~ 151
- 256 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P146
- 257 『金沢大学教育学部付属小学校百年史』  
P1213
- 258 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P152
- 259 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P153
- 260 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭  
和19年』 P12
- 261 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P154
- 262 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P156
- 263 『金沢大学工学部50年史』 P320
- 264 『石川県年表 昭和編 2巻』(石川県  
教育委員会 1958)
- 265 『金沢大学医学部百年史』 P789
- 266 『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』  
P19
- 267 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭

- 和19年』P13
- 268 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P162
- 269 『金沢大学工学部50年史』P83、320
- 270 『石川県教育史 2巻』P1120
- 271 『学制百年史 資料編』P582
- 272 『石川県教育史 2巻』P645
- 273 『石川県教育史 2巻』P1121
- 274 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P167
- 275 『石川県教育史 2巻』P1122
- 276 『石川県教育史 2巻』P1123
- 277 『金沢高等師範学校一覧 昭和19年度』  
(金沢高等師範学校 1944) P1
- 278 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P276
- 279 『石川県教育史 3巻』(石川県教育委  
員会 1977) P1200
- 280 『事務通報』第2巻第4号(金沢大学庶  
務部庶務課)(以下、「事務通報」の巻数、  
号数は「事務通報」-2-4と略記)
- 281 『金沢大学工学部50年史』P83、104、  
320
- 282 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P170~171
- 283 『石川県教育史 2巻』P1124
- 284 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P179
- 285 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P183
- 286 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P182
- 287 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P189
- 288 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P184
- 289 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P186
- 290 『金沢大学工学部50年史』P113、320
- 291 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P186~188
- 292 『金沢大学医学部百年史』P790
- 293 『石川県教育史 3巻』P1203
- 294 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P190~192
- 295 『金沢大学工学部50年史』P321
- 296 『金沢大学教育学部附属小学校百年史』  
P1216
- 297 『金沢大学十年史』P134
- 298 『四高八十年』P476
- 299 『金沢大学工学部50年史』P115~118、  
321
- 300 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P201
- 301 『金沢大学一覧(昭和46年度)』(金沢大  
学事務局庶務部) P2
- 302 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P2~3
- 303 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P199
- 304 『金沢大学医学部百年史』P601
- 305 『石川県教育史 3巻』P1207~1208
- 306 『県史17 石川県の歴史』P20
- 307 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P3
- 308 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P202
- 309 『金沢大学十年史』P135
- 310 『北国毎日新聞』1949年5月17日
- 311 『平成12年度 金沢大学概要』(金沢大  
学経理部) P3、7、13、17、21、23、31、  
32、33、37
- 312 『金沢大学 現状と課題1993』(金沢大  
学庶務部庶務課 1993) P13~14
- 313 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P204
- 314 『金沢大学医学部百年史』P791
- 315 『北国毎日新聞』1949年6月16日
- 316 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P4
- 317 『石川県教育史 3巻』P1210
- 318 『金沢大学十年史』P136
- 319 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P205
- 320 『事務通報』-2-2
- 321 『金沢大学工学部50年史』P134、321
- 322 『金沢大学概要 平成12年度版』(金沢  
大学総務部企画広報室 2000) P1
- 323 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P206
- 324 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P207
- 325 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P5
- 326 『石川県教育史 3巻』P1212
- 327 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P6
- 328 『金沢大学医学部百年史』P792
- 329 『石川県教育史 3巻』P1213
- 330 『平成12年度 金沢大学概要』P33
- 331 『石川県教育史 3巻』P1214
- 332 『金沢大学十年史』P137
- 333 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P7
- 334 『平成12年度 金沢大学概要』P7
- 335 『金沢大学 現状と課題1993』P14
- 336 『金沢大学工学部50年史』P322
- 337 『金沢大学工学部50年史』P193、322
- 338 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P8
- 339 『金沢大学十年史』P138
- 340 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P9
- 341 『事務通報』-4-11
- 342 『金沢大学医学部百年史』P793
- 343 『平成12年度 金沢大学概要』P23

- 344 『平成12年度 金沢大学概要』 P17  
345 『金沢大学十年史』 P139  
346 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P10  
347 『石川県教育史 3巻』 P1218  
348 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P11  
349 「アカンサスニュース」(金沢大学庶務部 2000年4月からは金沢大学総務部) 12号  
350 「交流協定大学等一覧」(『交流協定書 2000年版』所収 金沢大学庶務部国際交流課)  
351 「事務通報」-7-3  
352 「事務通報」-7-4  
353 『金沢大学医学部百年史』 P794  
354 「事務通報」-7-5  
355 「事務通報」-7-9  
356 「事務通報」-7-8  
357 「事務通報」-7-11  
358 『金沢大学十年史』 P140  
359 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P12  
360 『平成12年度 金沢大学概要』 P31  
361 『石川県教育史 3巻』 P1222  
362 『平成12年度 金沢大学概要』 P13  
363 「事務通報」-8-5  
364 「事務通報」-8-8  
365 「事務通報」-8-7  
366 『金沢大学十年史』 P141  
367 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P13  
368 「事務通報」-9-9  
369 『平成12年度 金沢大学概要』 P3  
370 『石川県年表 昭和編 3巻』(石川県教育委員会 1970)  
371 『石川県教育史 3巻』 P1225  
372 「事務通報」-9-7  
373 「事務通報」-9-10  
374 「事務通報」-9-11  
375 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P14  
376 『金沢大学50年史 通史編』第4章6節  
377 『金沢大学十年史』 P142  
378 『金沢大学医学部百年史』 P794~795  
379 「事務通報」-10-3  
380 「事務通報」-10-6  
381 「事務通報」-10-5  
382 「事務通報」-10-10  
383 「事務通報」-11-1  
384 『金沢大学工学部50年史』 P323  
385 「北国新聞」1959年9月29日  
386 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P15  
387 『金沢大学医学部百年史』 P795  
388 『金沢大学工学部50年史』 P161、323  
389 『金沢大学工学部50年史』 P155、323  
390 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P16  
391 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P17  
392 『平成12年度 金沢大学概要』 P34  
393 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P18  
394 『平成12年度 金沢大学概要』 P39  
395 『金沢大学工学部50年史』 P171、323  
396 「事務通報」-12-12  
397 『平成12年度 金沢大学概要』 P8  
398 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P19  
399 「事務通報」-13-8  
400 「事務通報」-13-9  
401 『石川県教育史 3巻』 P1232  
402 『金沢大学工学部50年史』 P202、323  
403 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P20  
404 『金沢大学50年史 部局篇』(金沢大学創立50周年記念事業後援会 1999) P372  
405 『平成12年度 金沢大学概要』 P24  
406 「事務通報」-14-8  
407 「事務通報」-14-9  
408 「事務通報」-14-10  
409 「事務通報」-15-2  
410 『金沢大学工学部50年史』 P159、323  
411 『金沢大学工学部50年史』 P160、323  
412 「事務通報」-15-4  
413 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P21  
414 『平成12年度 金沢大学概要』 P21  
415 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P22  
416 『平成12年度 金沢大学概要』 P37  
417 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P21~22  
418 『平成12年度 金沢大学概要』 P32  
419 「事務通報」-15-5  
420 「事務通報」-15-6  
421 「事務通報」-15-12  
422 「事務通報」-15-11  
423 『金沢大学工学部50年史』 P161、324  
424 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P23  
425 「事務通報」-16-4  
426 『金沢大学工学部50年史』 P186、324  
427 「事務通報」-16-6  
428 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P24  
429 「事務通報」-16-7  
430 「事務通報」-16-9  
431 「事務通報」-16-10  
432 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P25  
433 『金沢大学工学部50年史』 P324  
434 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P26  
435 『平成12年度 金沢大学概要』 P25  
436 『金沢大学一覧(昭和46年度)』 P25~26  
437 「事務通報」-17-5  
438 「事務通報」-17-8  
439 「事務通報」-17-9  
440 「事務通報」-17-10  
441 「事務通報」-17-11  
442 「事務通報」-17-12

- 443 「事務通報」-18-1  
444 「事務通報」-18-4  
445 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P27  
446 『金沢大学工学部50年史』P155～156、324  
447 『金沢大学50年史 部局篇』P380  
448 「事務通報」-18-5  
449 『平成12年度 金沢大学概要』P18  
450 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P27～28  
451 「事務通報」-18-9  
452 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P28  
453 『金沢大学工学部50年史』P172、324  
454 「事務通報」-18-10  
455 「事務通報」-18-11  
456 「事務通報」-18-12  
457 『学制百年史 資料編』P515  
458 「事務通報」-19-4  
459 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P29  
460 「事務通報」-19-5  
461 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P30  
462 『金沢大学工学部50年史』P161～162、324  
463 「事務通報」-19-12  
464 「事務通報」-20-1  
465 「事務通報」-20-2  
466 「事務通報」-20-3  
467 『平成12年度 金沢大学概要』P22  
468 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P32  
469 『金沢大学工学部50年史』P162、324  
470 『石川県年表 昭和編 4巻』(石川県教育委員会 1981)  
471 「事務通報」-21-1  
472 「がん研究所年表」(50年史編纂室に提出分)  
473 「事務通報」-21-4  
474 「事務通報」-21-5  
475 「事務通報」-22-1  
476 『平成12年度 金沢大学概要』P4  
477 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P33  
478 『金沢大学一覧(昭和46年度)』P34  
479 『平成12年度 金沢大学概要』P38  
480 『平成12年度 金沢大学概要』P35  
481 『金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み』(金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み刊行会 1993)P316  
482 『平成12年度 金沢大学概要』P26  
483 『金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み』P317  
484 「アカンサスニュース」5号  
485 「事務通報」-25-2  
486 「教育学部附属学校園年表」(50年史編纂室に提出分)  
487 『金沢大学50年史 部局篇』P1093  
488 『平成12年度 金沢大学概要』P15  
489 『平成12年度 金沢大学概要』P19  
490 『平成12年度 金沢大学概要』P9  
491 「事務通報」-27-1  
492 「アカンサスニュース」1号  
493 「事務通報」-28-1  
494 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』(金沢大学事務局 1997)P2  
495 「事務通報号外-将来計画に関する広報1-」昭和52年9月  
496 「事務通報号外-将来計画に関する広報2-」昭和53年1月  
497 『平成12年度 金沢大学概要』P35～38  
498 『金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み』P319  
499 「事務通報号外-将来計画に関する広報4-」昭和53年10月  
500 「事務通報」-29-1  
501 「事務通報-将来計画に関する広報5-」号外54年2月  
502 「事務通報-将来計画に関する広報5-」号外54年2月  
503 「北国新聞」1979年1月15日  
504 「北国新聞」1979年3月5日  
505 「事務通報」-30-3  
506 『平成12年度 金沢大学概要』P27  
507 「事務通報-将来計画に関する広報8-」号外54年5月  
508 「事務通報-将来計画に関する広報11-」号外54年11月  
509 「事務通報-将来計画に関する広報12-」号外55年2月  
510 「事務通報」-31-1  
511 『平成12年度 金沢大学概要』P4～5、11～12  
512 『石川県年表 昭和編 5巻』(石川県教育委員会 1993)  
513 「環境保全センター年表」  
514 「事務通報」-31-4  
515 「臨時評議会(昭和55・11・17開催)」(『評議会記録(抄録)』)  
516 『平成12年度 金沢大学概要』P208  
517 「事務通報」-32-1  
518 「事務通報」-32-7  
519 『金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み』P322  
520 「事務通報号外-将来計画に関する広報17-」昭和57年7月  
521 「事務通報」-33-3  
522 「事務通報」-33-2  
523 「事務通報」-33-6  
524 「事務通報」-34-3  
525 「事務通報」-34-7  
526 『平成12年度 金沢大学概要』P12



- 527 「事務通報」-35-10  
528 「事務通報」-35-8  
529 「教育学部年表」(50年史編纂室に提出分)  
530 「事務通報」-36-1  
531 「アイソトープ理工系実験施設年表」(50年史編纂室に提出分)  
532 「事務通報」-37-5  
533 「事務通報」-38-1  
534 『平成12年度 金沢大学概要』P16、22、30  
535 『平成12年度 金沢大学概要』P28  
536 『平成12年度 金沢大学概要』P30  
537 『金沢大学 現状と課題1993』P15  
538 『金沢大学50年史 部局篇』P1138  
539 「事務通報」-38-3  
540 「事務通報」-38-8  
541 「事務通報」-39-1  
542 『平成12年度 金沢大学概要』P10  
543 「事務通報」-39-3  
544 「事務通報」-39-8  
545 「事務通報」-39-7  
546 「事務通報」-39-11  
547 「事務通報」-41-6  
548 「事務通報」-40-5  
549 「事務通報」-40-6  
550 「事務通報」-40-7  
551 「事務通報」-40-8  
552 「事務通報」-40-10  
553 「事務通報」-40-11  
554 「事務通報」-40-12  
555 「事務通報」-41-4  
556 「事務通報」-41-5  
557 「事務通報」-41-7  
558 「事務通報」-41-8  
559 「アカンサスニュース」19号  
560 「事務通報」-42-3  
561 「事務通報」-42-4  
562 「事務通報」-42-7  
563 「アカンサスニュース」39号  
564 「アカンサスニュース」8号  
565 「アカンサスニュース」13号  
566 「事務通報」-42-9  
567 「事務通報」-43-5  
568 「事務通報」-42-11  
569 「事務通報」-42-12  
570 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』P13  
571 『金沢大学50年史 部局篇』P1239  
572 「事務通報」-43-2・3合併号  
573 「事務通報」-43-4  
574 「事務通報」-43-6  
575 「事務通報」-44-4  
576 「事務通報」-44-1  
577 『平成12年度 金沢大学概要』P30、104~105  
578 「事務通報」-44-3  
579 「事務通報」-44-2  
580 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』P17  
581 「事務通報」-44-5・6合併号  
582 「アカンサスニュース」18号  
583 「事務通報」-44-7  
584 「事務通報」-44-9  
585 「事務通報」-45-2  
586 「事務通報」-45-5・6合併号  
587 「事務通報」-45-11・12合併号  
588 「事務通報」-46-1~6合併号  
589 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』P14  
590 『平成12年度 金沢大学概要』P20、38  
591 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』P9  
592 『平成12年度 金沢大学概要』P29  
593 『平成12年度 金沢大学概要』P5  
594 『平成12年度 金沢大学概要』P11  
595 『平成12年度 金沢大学概要』P16  
596 「アカンサスニュース」2号  
597 「事務通報」-47-2  
598 「事務通報」-47-3  
599 「アカンサスニュース」7号  
600 「アカンサスニュース」9号  
601 「アカンサスニュース」10号  
602 「アカンサスニュース」16号  
603 国際交流課に照会し確認  
604 「アカンサスニュース」11号  
605 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』P15  
606 『平成12年度 金沢大学概要』P30、106~110  
607 「アカンサスニュース」14号  
608 「アカンサスニュース」15号  
609 「事務通報」-48-1・2  
610 「事務通報」-48-3  
611 「事務通報」-48-4  
612 「アカンサスニュース」17号  
613 「アカンサスニュース」20号  
614 「アカンサスニュース」22号  
615 「アカンサスニュース」23号  
616 「事務通報」-49-1  
617 『平成12年度 金沢大学概要』P20  
618 「アカンサスニュース」24号  
619 「事務通報」-49-2  
620 「アカンサスニュース」25号  
621 「アカンサスニュース」27号  
622 「アカンサスニュース」28号  
623 「アカンサスニュース」29号  
624 「事務通報」-49-4

- 625 「アカンサスニュース」30号  
626 「アカンサスニュース」31号  
627 「アカンサスニュース」32号  
628 「事務通報」-50-1  
629 「アカンサスニュース」33号  
630 「アカンサスニュース」34号  
631 『平成12年度 金沢大学概要』P36  
632 「アカンサスニュース」35号  
633 「アカンサスニュース」36号  
634 「事務通報」-50-2  
635 「アカンサスニュース」37号  
636 「アカンサスニュース」38号  
637 「アカンサスニュース」43号  
638 「アカンサスニュース」40号  
639 「アカンサスニュース」41号  
640 「アカンサスニュース」42号  
641 「アカンサスニュース」44号  
642 「アカンサスニュース」47号  
643 「アカンサスニュース」45号  
644 「アカンサスニュース」48号  
645 『平成12年度 金沢大学概要』P40  
646 「アカンサスニュース」46号  
647 「評議会録」(第609回)  
648 「アカンサスニュース」49号  
649 「事務通報」-35-6  
650 「アカンサスニュース」50号  
651 「アカンサスニュース」52号  
652 「アカンサスニュース」53号  
653 「アカンサスニュース」54号  
654 『学制百年史 資料編』P706  
655 『学制百年史 記述編』P85~86  
656 『近代日本総合年表 第三版』(岩波書店 1991)  
657 『学制百年史 資料編』P707  
658 『学制百年史 記述編』P85  
659 『学制百年史 記述編』P86  
660 『学制百年史 資料編』P704  
661 『学制百年史 記述編』P113~114  
662 『学制百年史 資料編』P705  
663 『学制百年史 資料編』P703  
664 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P8  
665 『学制百年史 資料編』P701  
666 『学制百年史 資料編』P699  
667 『学制百年史 資料編』P697  
668 『学制百年史 資料編』P690  
669 『学制百年史 資料編』P689・691  
670 『学制百年史 資料編』P688  
671 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P11  
672 『学制百年史 資料編』P689  
673 『学制百年史 資料編』P687  
674 『石川県教育史 1巻』P1251  
675 『学制百年史 資料編』P685  
676 『学制百年史 記述編』P153・155  
677 『学制百年史 資料編』P682  
678 『学制百年史 記述編』P158  
679 『学制百年史 記述編』P228  
680 『学制百年史 資料編』P680  
681 『学制百年史 資料編』P678  
682 『学制百年史 記述編』P159  
683 『学制百年史 資料編』P677  
684 『学制百年史 資料編』P674  
685 『学制百年史 資料編』P671  
686 『学制百年史 資料編』P668  
687 『学制百年史 資料編』P669  
688 『石川県教育史 1巻』P1266  
689 『学制百年史 資料編』P662  
690 『学制百年史 資料編』P663  
691 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P45  
692 『学制百年史 資料編』P658  
693 『学制百年史 資料編』P659  
694 『学制百年史 資料編』P655  
695 『学制百年史 記述編』P370  
696 『学制百年史 資料編』P651  
697 『学制百年史 資料編』P649  
698 『学制百年史 資料編』P648~649  
699 『石川県教育史 1巻』P1281  
700 『学制百年史 資料編』P642  
701 『学制百年史 資料編』P641・643  
702 『学制百年史 資料編』P641  
703 『学制百年史 資料編』P636  
704 『学制百年史 資料編』P637  
705 『学制百年史 資料編』P632  
706 『学制百年史 資料編』P627  
707 『学制百年史 資料編』P626  
708 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P16~17  
709 『学制百年史 資料編』P625  
710 『学制百年史 記述編』P487  
711 『学制百年史 資料編』P623  
712 『学制百年史 資料編』P621  
713 『学制百年史 資料編』P619  
714 『学制百年史 資料編』P611  
715 『学制百年史 資料編』P610  
716 『学制百年史 資料編』P608  
717 『学制百年史 資料編』P609  
718 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P113  
719 『学制百年史 資料編』P607  
720 『金沢高等工業学校一覽 昭和18年-昭和19年』P6  
721 『石川県教育史 2巻』P1106  
722 『学制百年史 資料編』P603  
723 『学制百年史 資料編』P601  
724 『学制百年史 資料編』P599・601  
725 『石川県教育史 2巻』P1109

- 726 『学制百年史 資料編』 P597  
727 『学制百年史 資料編』 P595・597  
728 『学制百年史 資料編』 P595  
729 『学制百年史 資料編』 P593  
730 『学制百年史 資料編』 P592  
731 『学制百年史 資料編』 P590  
732 『学制百年史 資料編』 P591  
733 『学制百年史 資料編』 P588  
734 『学制百年史 資料編』 P589  
735 『学制百年史 資料編』 P586・588  
736 『学制百年史 資料編』 P586  
737 『学制百年史 資料編』 P587  
738 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P155  
739 『学制百年史 資料編』 P585  
740 『学制百年史 記述編』 P560  
741 『学制百年史 資料編』 P583  
742 『学制百年史 資料編』 P581  
743 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P160  
744 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P164~166  
745 『学制百年史 資料編』 P580  
746 『学制百年史 資料編』 P579  
747 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P168~169  
748 『学制百年史 資料編』 P578  
749 『学制百年史 資料編』 P577  
750 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P172  
751 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P174  
752 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P175  
753 『学制百年史 資料編』 P576  
754 『学制百年史 資料編』 P575  
755 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P177  
756 『学制百年史 資料編』 P573  
757 『学制百年史 資料編』 P572  
758 『学制百年史 資料編』 P571  
759 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
P193  
760 『学制百年史 資料編』 P569  
761 『金沢医科大学一覽 昭和21年-22年』  
P22  
762 『学制百年史 資料編』 P566  
763 『学制百年史 資料編』 P567  
764 『学制百年史 資料編』 P565  
765 『学制百年史 資料編』 P564  
766 『学制百年史 資料編』 P562  
767 『学制百年史 資料編』 P563  
768 『学制百年史 資料編』 P562~563  
769 『学制百年史 資料編』 P560  
770 『学制百年史 資料編』 P559  
771 『学制百年史 資料編』 P558  
772 『学制百年史 資料編』 P557  
773 『学制百年史 資料編』 P556  
774 『学制百年史 資料編』 P555  
775 『学制百年史 資料編』 P554  
776 『学制百年史 資料編』 P552  
777 「事務通報」-4-4  
778 「事務通報」-4-5  
779 『学制百年史 資料編』 P553  
780 『学制百年史 資料編』 P550  
781 『学制百年史 資料編』 P551  
782 『学制百年史 資料編』 P548  
783 『学制百年史 資料編』 P547  
784 『学制百年史 資料編』 P544  
785 『学制百年史 資料編』 P542  
786 『学制百年史 資料編』 P537  
787 『学制百年史 資料編』 P534  
788 『学制百年史 資料編』 P535  
789 『学制百年史 資料編』 P533  
790 『学制百年史 資料編』 P532  
791 『学制百年史 資料編』 P529  
792 『学制百年史 資料編』 P528  
793 『学制百年史 資料編』 P527  
794 『学制百年史 資料編』 P526  
795 『学制百年史 資料編』 P524  
796 『学制百年史 資料編』 P525  
797 『学制百年史 資料編』 P523  
798 『学制百年史 資料編』 P521  
799 『学制百年史 資料編』 P520  
800 「北国新聞」1966年7月18日  
801 『学制百年史 資料編』 P516  
802 『学制百年史 資料編』 P517  
803 『学制百年史 資料編』 P514  
804 『学制百年史 資料編』 P512・514  
805 『学制百年史 資料編』 P513  
806 『学制百年史 資料編』 P510  
807 『学制百年史 資料編』 P511  
808 『学制百年史 資料編』 P508  
809 『学制百年史 資料編』 P507  
810 『学制百年史 資料編』 P505  
811 「北国新聞」1972年3月11日  
812 「北国新聞」1972年8月7日  
813 『学制百二十年史』（文部省 1992）  
P813  
814 『学制百二十年史』 P814  
815 『学制百二十年史』 P817  
816 『学制百二十年史』 P819  
817 『学制百二十年史』 P823  
818 『学制百二十年史』 P825  
819 『学制百二十年史』 P827  
820 『県史17 石川県の歴史』 P21  
821 『学制百二十年史』 P829  
822 「北国新聞」1979年4月6日

823 『学制百二十年史』P828  
 824 『学制百二十年史』P833  
 825 『学制百二十年史』P835  
 826 『学制百二十年史』P839  
 827 『学制百二十年史』P841  
 828 「北国新聞」1985年7月12日  
 829 『学制百二十年史』P843  
 830 『学制百二十年史』P845  
 831 『学制百二十年史』P847  
 832 「北国新聞」1987年4月13日  
 833 「朝日新聞」1987年6月18日  
 834 『学制百二十年史』P849  
 835 『学制百二十年史』P851  
 836 「朝日新聞」1989年4月1日  
 837 『学制百二十年史』P853  
 838 「朝日新聞」1990年8月2日  
 839 「朝日新聞」1990年10月2日  
 840 「朝日新聞」1990年10月3日  
 841 「北国新聞」1990年11月19日  
 842 「朝日新聞」1991年1月17日  
 843 「北国新聞」1991年3月20日  
 844 『学制百二十年史』P859・861  
 845 『学制百二十年史』P861  
 846 「朝日新聞」1991年6月4日  
 847 「朝日新聞」1991年12月9日  
 848 『学制百二十年史』P863  
 849 「朝日新聞」1992年5月1日  
 850 「朝日新聞」1992年5月7日  
 851 「朝日新聞」1992年5月20日  
 852 「朝日新聞」1992年7月18日  
 853 「朝日新聞」1992年7月30日  
 854 「朝日新聞」1993年3月29日  
 855 「朝日新聞」1993年9月17日  
 856 「朝日新聞」1994年3月8日  
 857 「北国新聞」1994年3月28日  
 858 「朝日新聞」1994年9月7日  
 859 「朝日新聞」1995年1月17日  
 860 「朝日新聞」1995年9月19日  
 861 「朝日新聞」1995年12月30日  
 862 「朝日新聞」1996年10月1日  
 863 「朝日新聞」1996年10月29日  
 864 「朝日新聞」1997年1月30日  
 865 「朝日新聞」1997年8月30日  
 866 「朝日新聞」1998年2月7日  
 867 「朝日新聞」1998年4月11日  
 868 「朝日新聞」1998年8月7日  
 869 「朝日新聞」1998年10月23日  
 870 「朝日新聞」1998年10月27日  
 871 「朝日新聞」1999年1月1日  
 872 「朝日新聞」1999年3月25日  
 873 「朝日新聞」1999年7月9日  
 874 「朝日新聞」1999年7月18日  
 875 「朝日新聞」1999年9月15日  
 876 「朝日新聞」1999年10月1日

877 「朝日新聞」1999年12月22日  
 878 「朝日新聞」1999年10月8日  
 879 「北国新聞」2000年1月3日  
 880 「北国新聞」2000年4月6日  
 881 「北国新聞」2000年4月20日  
 882 「朝日新聞」2000年5月27日  
 883 「朝日新聞」2000年6月3日  
 884 「北国新聞」2000年6月7日  
 885 「朝日新聞」2000年6月14日  
 886 「朝日新聞」2000年7月13日  
 887 「北国新聞」2000年7月29日  
 888 「朝日新聞」2000年7月5日  
 889 「朝日新聞」2000年8月19日  
 890 「朝日新聞」2000年8月25日  
 891 「朝日新聞」2000年9月12日  
 892 「朝日新聞」2000年9月25日  
 893 「朝日新聞」2000年10月16日  
 894 「毎日新聞」2000年11月5日  
 895 「朝日新聞」2000年11月23日  
 896 「朝日新聞」2000年12月23日  
 897 『金沢大学医学部百年史』P27  
 898 『学制百年史 資料編』P512  
 899 「朝日新聞」1969年1月23日  
 900 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』  
 P14

年表の各項目の末尾に記載されている出典番号(数字)によって典拠資料は検索する。出典資料後の( )内は発行者と発行年、または所収資料名を表記。発行者、発行年等は初出のときのみ表記、二回目以降は略した。資料が年表形式になっているものは資料名のみ表記し、それ以外はページ数をも表記した。典拠資料には、年表本文を十分に満たしていなくても事項に関して何らか触れているものも挙げた。例えば、日付が欠落したものなど。その場合は(資料番号)と表記した。明治5年の太陽暦採用以前の年代表記は、その出典資料に依った。また、太陰暦と太陽暦が併記されている場合(『学制百年史 資料編』)、明治5年以前においては太陰暦を使用した。月日不明の場合は\*印とした。

#### 主な典拠資料一覧

金沢大学関係  
 『平成12年度 金沢大学概要』(金沢大学経理)  
 『金沢大学十年史』(金沢大学 1960)  
 『金沢大学一覽 (昭和46年度)』(金沢大学事務局庶務部 1972)  
 『金沢大学 現状と課題 1993』(金沢大学庶務部庶務課 1993)

『金沢大学50年史 部局篇』(金沢大学創立50周年記念事業後援会 1999)  
 『工学部略年表』(『金沢大学50年史 部局篇』付録)  
 『医学部年表』(50年史編纂室に提出分)  
 『教育学部年表』(50年史編纂室に提出分)  
 『保健学科年表』(50年史編纂室に提出分)  
 『がん研究所年表』(50年史編纂室に提出分)  
 『教育学部附属学校園年表』(50年史編纂室に提出分)  
 『アイソトープ理工系実験施設年表』(50年史編纂室に提出分)  
 『アカンサスニュース』(金沢大学庶務部 2000年4月からは金沢大学総務部 )  
 『評議会録』(金沢大学)  
 『事務通報』(金沢大学庶務部)  
 『事務通報 将来計画に関する広報』号外  
 『交流協定書 2000年版』(金沢大学庶務部国際交流課)  
 『金沢大学総合移転(角間キャンパス)』(金沢大学事務局 1997)  
 『金沢大学概要 平成12年度版』(金沢大学総務部企画広報室 2000)  
 『金沢大学教育学部附属小学校百年史』(金沢大学教育学部附属小学校百年史刊行委員会 1974)  
 『金沢大学医学部百年史』(金沢大学医学部創立百年記念会 1972)  
 『金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み』(金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み刊行会 1993)

#### 前身校関係

『金沢医科大学一覧 昭和21年-22年』(金沢医科大学 1947)  
 『第四高等学校一覧 昭和17年4月-昭和18年3月』(第四高等学校 1942)  
 『金沢高等師範学校一覧 昭和19年度』(金沢高等師範学校 1944)  
 『金沢高等工業学校一覧 昭和18年-昭和19年』(金沢高等工業学校 1943)  
 『北の都に秋たけて-第四高等学校史-』(財界評論新社 1972)  
 『四高八十年』(第四高等学校同窓会 1967)

#### 石川県関係

『実録石川県史 1868~1989』(能登印刷出版部 1991)  
 『県史17 石川県の歴史』(山川出版社、2000)  
 『石川県教育史 1巻』(石川県教育委員会 1974)  
 『石川県教育史 2巻』(石川県教育委員会 1975)  
 『石川県教育史 3巻』(石川県教育委員会 1977)  
 『石川県師範教育史』(金沢大学教育学部明倫同窓会 1953)  
 『金沢の百年(明治編)』(金沢市 1965)

『石川県年表 大正編』(石川県教育委員会 1956)  
 『石川県年表 昭和編 1巻』(石川県教育委員会 1957)  
 『石川県年表 昭和編 2巻』(石川県教育委員会 1958)  
 『石川県年表 昭和編 3巻』(石川県教育委員会 1970)  
 『石川県年表 昭和編 4巻』(石川県教育委員会 1981)  
 『石川県年表 昭和編 5巻』(石川県教育委員会 1993)

#### その他

『学制百年史 記述編』(文部省 1972)  
 『学制百年史 資料編』(文部省 1972)  
 『学制百二十年史』(文部省 1992)  
 『近代日本総合年表 第三版』(岩波書店 1991)

(年表作成: 松岡信一郎)